



入学試験に関するお問い合わせ

国立大学法人 三重大学 学務部入試チーム

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

TEL (059) 231-9063 URL: <http://www.mie-u.ac.jp/exam/>



三重大学
大学案内 2015



MIE UNIVERSITY GUIDE BOOK 2015

三重大学

<http://www.mie-u.ac.jp/>



GUIDE TO MIE UNIVERSITY 2015



CONTENTS

■ 三重大学の概要

- 01 ■ 大学全景
- 03 ■ 学長からのメッセージ
- 04 ■ 三重大学のアドミッションポリシー
- 05 ■ 学生数及び教員数
- 06 ■ 三重大学の生い立ち(沿革)
- 07 ■ 三重大学の教育・研究組織
- 08 ■ 学内共同教育研究施設
- 09 ■ 学部・学科INDEX
- 11 ■ Campus Map
(三重大学 上浜キャンパス)
- 13 ■ 教育の特色
- 13 ■ PBLって何?
- 14 ■ eラーニングとeコミュニケーション
- 15 ■ 教養教育
- 15 ■ 2015年4月教養教育新カリキュラム
スタート

■ 学部・学科紹介

- 19 ■ 人文学部
- 20 ■ 文化学科
- 21 ■ 法律経済学科
- 23 ■ 教育学部
- 25 ■ 学校教育教員養成課程
- 27 ■ 人間発達科学課程
- 29 ■ 医学部
- 30 ■ 医学科
- 31 ■ 看護学科
- 33 ■ 工学部
- 34 ■ 機械工学科
- 35 ■ 電気電子工学科
- 36 ■ 分子素材工学科
- 37 ■ 建築学科
- 38 ■ 情報工学科
- 39 ■ 物理工学科
- 41 ■ 生物資源学部
- 42 ■ 資源循環学科
- 43 ■ 共生環境学科
- 44 ■ 生物圏生命科学科
- 47 ■ 大学院
地域イノベーション学研究所

■ 就職情報

- 49 ■ キャリア支援(就職支援)
- 50 ■ インターンシップ
- 51 ■ 就職支援
- 52 ■ 学部別主な就職先一覧
- 52 ■ 都道府県別就職状況
- 53 ■ 就職状況
- 54 ■ 学部別就職状況

■ 国際交流

- 55 ■ 国際交流協定締結校
- 56 ■ ダブルディグリープログラム
(複学位制度)

■ キャンパスライフ

- 57 ■ 三重大学のイベント
- 59 ■ 三重大生の一日常
- 61 ■ 学生寮・アパート
- 62 ■ 福利厚生施設・設備
- 63 ■ 三重大学附属図書館
- 64 ■ 環境・情報科学館<メープル館>
- 65 ■ 学生支援システム
- 66 ■ 経済援助システム

■ Activities, Clubs and Circles

- 67 ■ 課外活動
- 68 ■ 自治会活動
- 68 ■ サークル活動

■ トピックス

- 70 ■ 世界一の環境先進大学を目指して

■ 入試情報

- 71 ■ 平成27年度入試日程
- 71 ■ 平成27年度入学定員(募集人員)
- 72 ■ 入試状況
- 73 ■ 三重大学へのアクセス
- 75 ■ 学生募集要項等の入手方法
- 76 ■ 学生納付金一覧表



三重の力を世界へ

地域に根ざし、世界に誇れる
独自性豊かな教育・研究成果を生み出す。
人と自然の調和・共生の中で

三重大学の教育目標

幅広い教養の基盤に立つた高度な専門知識や技術を有し、地域のイノベーションを推進できる人材を育成するために、「4つの力」、すなわち「感じる力」、「考える力」、「コミュニケーション力」、それらを総合した「生きる力」を養成する。

上空より三重大学を臨む
2014.5.7 撮影

三重大学の概要	教育の特色	教育教育	人文学部	教育学部	医学部	工学部	生物資源学部	大学院 地域イノベーション研究科	就職情報	国際交流	キャンパスライフ トピックス	入試情報	三重大へのアクセス	学生募集要項等の入手方法	学生納付金一覧表
---------	-------	------	------	------	-----	-----	--------	------------------	------	------	----------------	------	-----------	--------------	----------

学長からのメッセージ

地域と世界をつなぐ人財を目ざそう

Message from the President

急速な勢いで押し寄せてきているグローバル化の波は、私たちの日常生活にも影響を与え、わが国が、地域が、そして一人ひとりが激しい競争の渦中にあることを実感させられます。このような環境の中でこそ自らのアイデンティティーを認識することが必要となります。三重大大学のミッション「三重の力を世界へ：地域に根ざし世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す。～人と自然の調和・共生の中で～」は、地域社会に貢献できると同時に世界に通用する独自性を有する「人財」を育成することです。それは「感じる力」「考える力」「コミュニケーション力」「生きる力」という4つの力を身につけることによって達成されるでしょう。

世界の変化に敏感に感じとり、社会の問題点を鋭く見つめる感性が必要です。また、競争社会であればあるほど、逆に他者の心を感じ取って共感できる力や、お互いに助け合う公共心、そして社会の規範を遵守しようとする誠実な気持ちがますます大切になります。これが「感じる力」です。

物事の本質を見抜くことのできるクリティカルな思考力や、既成の概念を打破する新しいパラダイムやイノベーションを創造できる発想力をつけてほしいと思っています。そのためには失敗をすることです。そこでなぜ失敗したかを考えるようになるでしょう。「考える力」が身につきます。

他者との良好なコミュニケーション力は、あらゆる社会活動の基盤です。特に、グローバル競争社会では、国際的なコミュニケーション力や情報通信技術を最大限に活用できる力が欠かせません。

これらの3つの力を合わせて、次々と生じる問題を解決し、強い意思をもって行動し、目標を達成しなければなりません。そのためには個々の専門的知識や技術を身につけ、自分が社会の中でどのような位置にあり社会のために何ができるかを知ること、あるいは知ろうと努力することが大切です。これが「生きる力」です。

皆さんが、4つの力を効果的に身につけるために、三重大大学では、通常の講義や実習のほかに、さまざまな形の課題探求型授業、プロジェクト達成型授業、実践型授業を行っています。

緑の木々に囲まれたキャンパスから望むことができる素晴らしい景観（“鈴鹿や布引の樹々”のみどり、“伊勢湾の波”のみどり、“幸せの風を運ぶ空”のみどり）を表現した本学の伝統である「三翠」には、「人と自然の調和・共生の中で」という言葉とともに、環境を大切にしようという思いが込められています。本学の学生たちも率先して環境活動に取り組み、教員、職員と学生が一体となって「世界一の環境先進大学」を目指しましょう。

三重大学長

内田淳正



三重大大学のアドミッションポリシー

三重大大学は、学術文化の発信・受信拠点として、「人と自然の調和・共生」を大切にしながら、地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出すことをめざしています。

そのために、「感じる力」「考える力」「生きる力」がみなぎり、地域に根ざし、また国際的にも活躍出来る人材の育成を目標にしています。すなわち、基盤となるコミュニケーション力を培い、問題発見力、課題探求心、論理的思考力、実践的問題解決能力を身につけて社会に貢献しようとする学生を育てることをめざしています。したがって、三重大大学は次のような学生を求めます。

三重大大学が求める学生像

- 人や自然そして社会に対する豊かな感受性と幅の広い関心を備えた学生。
- 日本語や英語などの基礎的な語学能力を身につけ、さらに多様で豊かな表現力やコミュニケーション力を培おうとする学生。
- 旺盛な学習意欲を持ち、新しい課題に積極的にチャレンジしようとする学生。
- 基礎的な知識を持つと同時に、広い視野や多様な視点からものごとをとらえ、主体的・論理的に考えようとする学生。
- 企画力や実行力などの実践的問題解決能力や独創性を身につけ、社会に貢献したいという意欲を持った学生。

学生数及び教員数

学生数

平成26年5月1日現在 ()内は、外国人留学生数を内数で示す

学部	学科・課程	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		合 計		
		定員	在籍者	定員	在籍者	定員	在籍者	定員	在籍者	定員	在籍者	定員	在籍者	定員	在籍者	
人文学部	文化学科	100	103(2)	100	111(2)	110	113(1)	110	141(2)					420	468(7)	
	社会科学学科								4						4(0)	
	法律経済学科	165	178(1)	165	181(1)	185	199(2)	185	233(1)					700	791(5)	
	計	265	281(3)	265	292(3)	295	312(3)	295	378(3)					1,120	1,263(12)	
教育学部	学校教育教員養成課程	180	188(1)	145	155(1)	145	148	145	166					615	657(2)	
	情報教育課程			20	20	20	19	20	22					60	61(0)	
	生涯教育課程			15	17	15	18	15	19					45	54(0)	
	人間発達科学課程	20	23(1)	20	22(1)	20	22(1)	20	26(2)					80	93(5)	
	計	200	211(2)	200	214(2)	200	207(1)	200	233(2)					800	865(7)	
医学部	医学科	125	125	125	128	125	131	125	127	125	126	120	122	745	759(0)	
	看護学科	80	80	80	83	90	83	90	89					340	335(0)	
	計	205	205	205	211	215	214	215	216	125	126	120	122	1,085	1,094(0)	
工学部	機械工学科	80	86	80	87(2)	90	91(1)	90	129(6)					340	393(9)	
	電気電子工学科	80	84(3)	80	82(1)	90	92(2)	90	116(2)					340	374(8)	
	分子素材工学科	100	105	100	100(1)	100	98(2)	100	121					400	424(3)	
	建築学科	40	44	40	43(1)	50	56	50	67(1)					180	210(2)	
	情報工学科	60	61	60	60(1)	60	57	60	81(2)					240	259(3)	
	物理工学科	40	42(1)	40	42(1)	40	40	40	55					160	179(2)	
	計	400	422(4)	400	414(7)	430	434(5)	430	569(11)					1,660	1,839(27)	
生物資源学部	資源循環学科	60	64	60	64	63	68	63	80					246	276(0)	
	共生環境学科	85	89	85	96	88	96	88	111(1)					346	392(1)	
	生物圏生命科学科	95	101	95	101	99	107	99	110					388	419(0)	
	計	240	254	240	261	250	271	250	301(1)					980	1,087(1)	
合 計		1,310	1,373(9)	1,310	1,392(12)	1,390	1,438(9)	1,390	1,697(17)	125	126	120	122	5,645	6,148(47)	
大学院	人文社会科学研究科	修士課程	15	14(6)	15	23(7)								30	37(13)	
	教育学研究科	修士課程	41	35(10)	41	54(11)								82	89(21)	
	医学系研究科	修士課程(医科)	15	6	15	9									30	15(0)
		修士課程(看護)	16	15	16	27									32	42(0)
		博士課程	45	48(3)	45	51(2)	45	44(4)	60	45(5)					195	188(14)
	工学研究科	博士前期課程	216	227(4)	216	237(5)									432	464(9)
		博士後期課程	16	9(3)	16	15(6)	16	26(3)							48	50(12)
	生物資源学研究科	博士前期課程	88	87(15)	88	97(9)									176	184(24)
		博士後期課程	12	9(4)	12	12(4)	12	23(9)							36	44(17)
	地域イノベーション学研究科	博士前期課程	10	8(3)	10	12									20	20(3)
		博士後期課程	5	6(1)	5	8(1)	5	3							15	17(2)
計		479	464(49)	479	545(45)	78	96(16)	60	45(5)	0	0	0	0	1,096	1,150(115)	

教員数

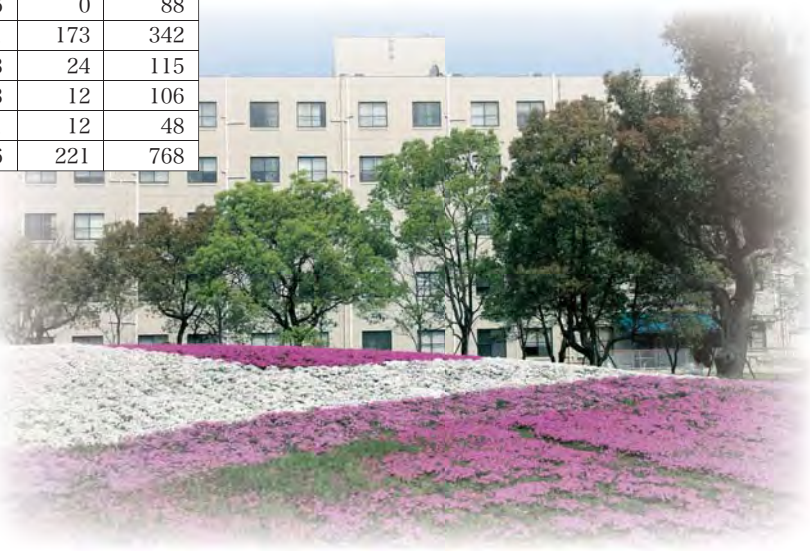
平成26年5月1日現在

	教 授	准教授	講 師	助 教	計
人文学部	37	30	2	0	69
教育学部	55	27	6	0	88
医学部	52	46	71	173	342
工学部	47	41	3	24	115
生物資源学部	50	41	3	12	106
学内共同教育研究施設等	20	15	1	12	48
計	261	200	86	221	768

*医学部寄附講座の教員は除く

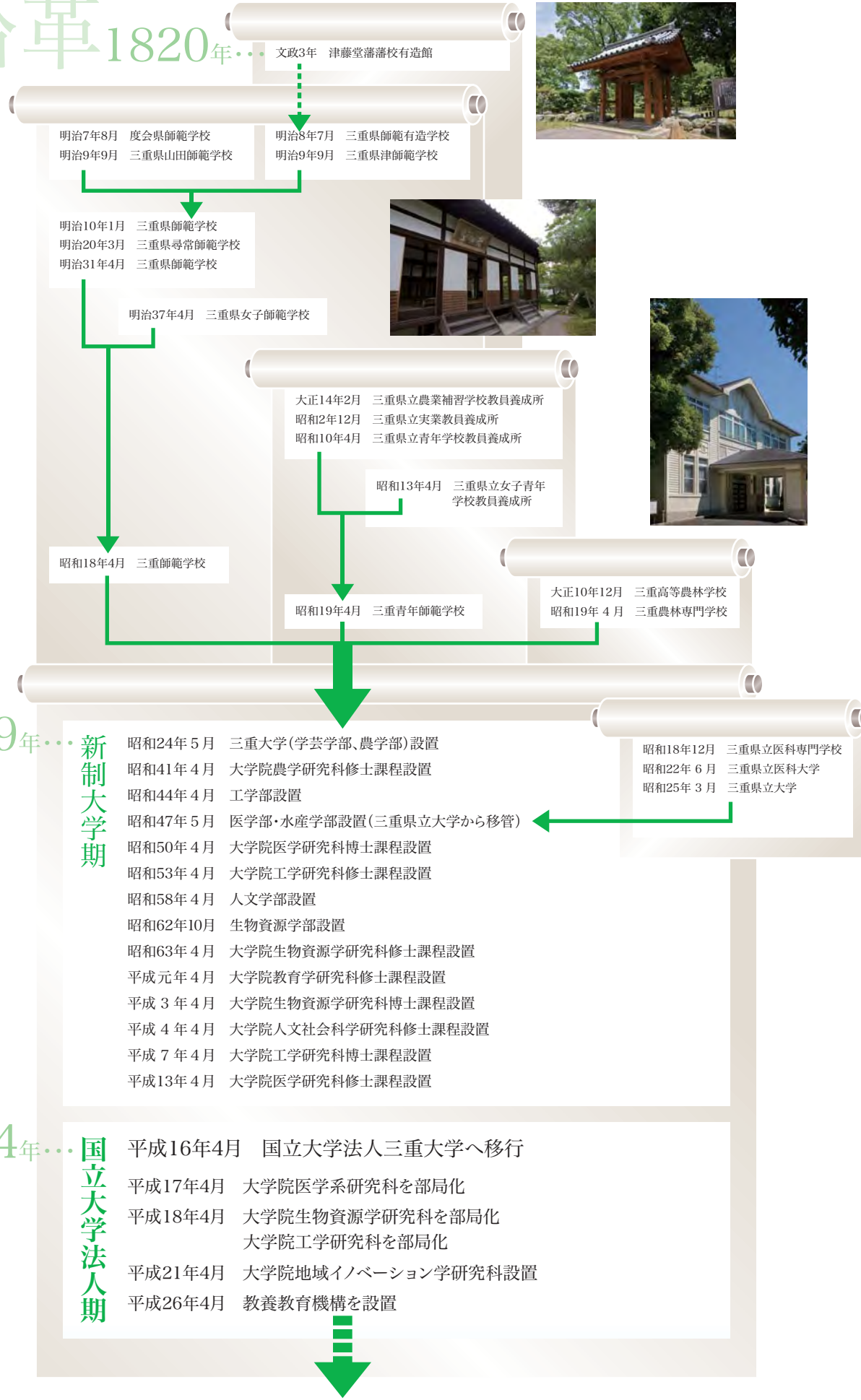
学びのサポート

学部における教員1名あたりの学生数は9名です。
充実した教員と学生の密接な関係の中で、
高度な教育・研究を進めています。



三重大大学の生い立ち

沿革1820年…



1949年…

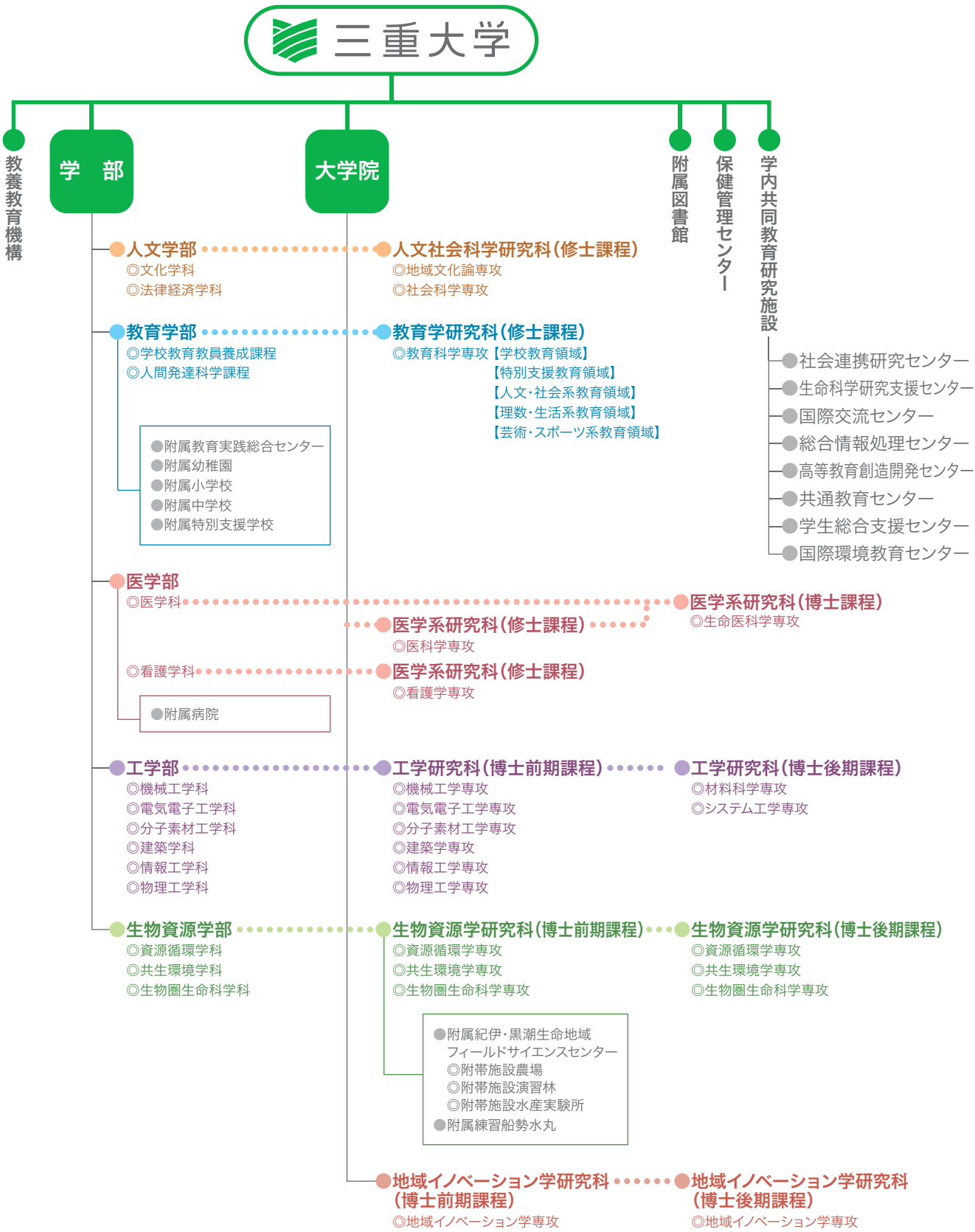
新制大学期

2004年…

国立大学法人期

三重大学の教育・研究組織

三重大学は、2004(平成16)年4月1日から「国立大学法人三重大学」としてスタートしました。
現在、5学部6研究科のほか、教養教育機構、附属図書館、学内共同教育研究施設、附属病院、附属学校等があります。
5学部は全て1キャンパスにあります。また、本学の総面積は約53万平方メートル、
教職員は約1,850人、学生数は約7,300人(うち外国人留学生約160人)です。(平成26年4月1日現在)



学内共同教育研究施設

社会連携研究センター

<http://www.crc.mie-u.ac.jp/>

社会連携研究センターは、産学官の連携を深め、三重大学の知的財産活用や独創的な研究開発の推進等を図ることにより、三重大学の研究、教育の進展、我が国および地域社会の産業、文化、福祉の向上に資することを目的とします。

【センターの活動】

- 研究における外部機関との連携・協力の推進
- 研究成果の民間事業者への技術移転の推進
- 知的財産の創出、管理および活用
- 新産業創出のための独創的な研究開発の推進
- 高度な専門的職業能力を持つ創造性豊かな人材の育成
- ベンチャー企業の育成および支援等



生命科学研究支援センター

<http://www.lsrc.mie-u.ac.jp/>

生命科学研究支援センターは、3つの研究分野からなり、その中に7つの研究部門と5つの実験施設があり、三重大学及びこの地域の多様な生命科学研究を総合的に支援する教育研究推進センターとして活動を展開しています。



国際交流センター

<http://www.cie.mie-u.ac.jp/>

国際交流センターは、三重大学の国際化の要となることを目指し、2005年10月1日に留学生センターを改編し、学内共同教育研究施設として設置されました。現在34カ国・地域90大学・機関と学術交流協定を締結し、学生の派遣・受入を行っています。

また外国人留学生のための日本語教育、英語等による国際教育、国際キャリアアッププログラムなどを実施しています。



総合情報処理センター

<http://www.cc.mie-u.ac.jp/>

総合情報処理センターは、情報システムの日々の管理運用を行いつつ、これからの大学における情報基盤システムの構築並びに維持発展のための情報基盤の戦略策定を行っています。

ITを通して教育の支援を行っており、教育端末室(パソコン教室)を学内数か所に開設してパソコンを利用する講義や学生の自習に活用できるようにしています。ノートパソコンを持ち込んで大学のネットワークに接続することもできます。

また、情報リテラシー、情報倫理の講義を行ったり、資格試験対策やソフトウェアの使い方等を学ぶ「IT講習会」を実施したりしています。



高等教育創造開発センター

<http://www.hedc.mie-u.ac.jp/>

高等教育創造開発センターは、三重大学の教育目標(「感じる力」「考える力」「生きる力」がみなぎり、地域に根ざし国際的にも活躍できる人材を育成する。)の達成に向け、教育諸活動の創造、開発、促進、支援を先導的に進めることを目的として、平成17年4月に学内共同教育研究施設として設置されました。

センターは、教育開発部門、教育情報システム部門、教育評価部門、教育連携部門、全学教育部門、入試広報部門及び、入学者選抜方法研究部門の7部門から構成され、三重大学の教育目標の達成に向けた教育諸活動の創造、開発推進及び支援を行います。



学生総合支援センター

<http://www.mie-u.ac.jp/life/>

「三重大学学生支援方針」に従って、学生たちの中に眠る宝を発見し、その宝が輝く姿を思い描き、夢実現のステップをデザインし、宝が輝くための支援をします。「学生生活支援室」、「障がい学生支援室」、「学生なんでも相談室」、「キャリア支援センター」では、専門的な技能をもった教職員たちによって支援活動が行われています。

また、「ピアサポーター学生委員会」は、本学のカリキュラムを通して訓練を受けた学生たちが、学生たちに寄りそった活動をしています。本学は、教員、職員、学生が一体となって、学生を支援します。



学部・学科 INDEX

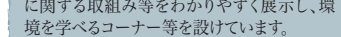
三重大学での学びと進路から、あなたの「学びたい!」が見つかる

学部	学科・課程	学べる内容	取得可能な免許・資格	平成26年4月1日現在
人文学部 P19～P22	文化学科	日本、アジア・オセアニア、ヨーロッパ・地中海、アメリカの文化について、言語・文学・思想・歴史・社会・民族・地誌・環境等の視点から研究します。	【教員免許】●中学校教諭一種(国語・社会・英語) ●高等学校教諭一種(国語・地理歴史・公民・英語) 【その他】●図書館司書 ●学校図書館司書教諭 ●学芸員	P20
	法律経済学科	法学・政治学・経済学・経営学の学習を通して、現代社会の抱える諸問題の解決に取り組めます。また、専門的知識を獲得することにより、複雑で高度に専門化した現代社会に対する的確な判断力・対応力を身につけます。		P21
教育学部 P23～P28	学校教育教員養成課程	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園の教員としてふさわしい専門的知識と指導力を身につけます。	【教員免許】●幼稚園教諭一種 ●小学校教諭一種 ●中学校教諭一種(国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語) ●高等学校教諭一種(国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・保健体育・家庭・情報・工業・英語) ●特別支援学校教諭一種	P25
	人間発達科学課程	「現実の教育問題解決能力を育成する」観点から、教育現場での活動を行う人間発達実地研究や基本的コミュニケーション能力育成のためのコミュニケーション実習などを学びます。	【その他】●学校図書館司書教諭 ●学芸員 ●認定心理士(人間発達科学コースに限る)	P27
医学部 P29～P32	医学科	生命医科学研究を実践する能力を涵養し、医療、保健、福祉の担い手となる力を修得します。地域基盤型の実習を通して医療と社会の関係を学び、国際的な学習環境のなかで広い視野を身につけます。	【受験可能な国家資格】●医師	P30
	看護学科	看護の定義や役割、問題解決思考を学習し、看護学の実践者としての基礎を学びます。あらゆる健康レベルにある個人・家族・地域社会に対する看護を実践できるよう、専門知識や看護技術、コミュニケーション技術を修得します。	【受験可能な国家資格】●看護師 ●保健師(選択科目履修) ●助産師(選択科目履修) 【取得可能な免許】●養護教諭二種	P31
工学部 P33～P40	機械工学科	先進的なものづくりに必要な機械工学に関する講義と実技を通して、基礎(機械力学、熱力学、流体力学、材料力学、量子力学等)、応用(設計、生産加工等)、新分野(ロボット工学、生体力学、環境エネルギー機械等)が学べます。	【実務経験年数等により取得できる資格】●ボイラー・タービン主任技術者(1種、2種) ●安全管理者	P34
	電気電子工学科	LED・有機ディスプレイ・電子顕微鏡・電気自動車・自然エネルギー発電システム・ロボット・モバイル端末・医療機器など、今日の社会を支え、また、これからの社会を創る電子デバイス・電気機器・情報システムを研究開発する能力を身につけます。	【卒業すれば資格取得が有利になるもの】●電気主任技術者(試験科目免除) ●電気通信主任技術者(試験科目一部免除) ●無線従事者免許 【実務経験年数等により取得できる資格】●安全管理者	P35
	分子素材工学科	新物質・新素材を開発して科学技術を発展させ、社会に貢献するために必要な、化学の基礎と実験法を学びます。これによって、エネルギー、環境、バイオ、医療などの分野に役立つ知識と実践力を身につけることができます。	【卒業すれば資格取得出来るもの】●毒物劇物取扱責任者 【実務経験年数等により取得できる資格】●安全管理者	P36
	建築学科	建築スケールから都市スケールに至る生活空間を対象に、建築の設計に必要な専門知識(建築計画分野、建築構造・材料工学分野、建築環境設備工学分野)の習得、建築設計図面や建築模型の製作技術の習得をめざします。	【卒業すれば資格取得が有利になるもの】●二級建築士(受験資格) ●木造建築士(受験資格) 【実務経験年数等により取得できる資格】●一級建築士(受験資格) ●安全管理者	P37
	情報工学科	コンピュータの仕組み(ハードウェア)や、コンピュータを用いた情報処理技術(アルゴリズムの設計とプログラミング)を学びます。企業などで、すぐに使える即戦力となる、高度な技術習得をめざします。	【卒業すれば資格取得が有利になるもの】●情報処理技術者試験(基本情報技術者、応用情報技術者、データベーススペシャリスト 他) 【実務経験年数等により取得できる資格】●安全管理者	P38
	理工学科	近年多方面から注目されているナノテクノロジーを理解するための物理学を学ぶとともに、機械設計・製図、電気電子回路といった機械工学、電気電子工学の基礎科目を習得することができます。	【実務経験年数等により取得できる資格】●安全管理者	P39
生物資源学部 P41～P46	資源循環学科	生物資源の持続的利用と循環型社会の実現をめざしています。分子などのミクロレベルから人間の社会活動といったマクロレベルまでの循環について、生物、化学、物理、経済学的な視点から学び研究できます。	【教員免許】●高等学校教諭一種(理科・農業) 【その他】●食品衛生管理者 ●食品衛生監視員 ●樹木医補 ●学芸員	P42
	共生環境学科	自然と共存できる環境の保全・修復の理論と技術開発をめざした教育研究活動を行っています。環境に配慮した新素材やエネルギー問題、国土デザインや防災など、自然と調和した地球環境を考える研究をしています。	【教員免許】●高等学校教諭一種(理科・農業) 【その他】●測量士補 ●樹木医補 ●修習技術者(JABEE)(地域保全工学講座) ●学芸員	P43
	生物圏生命科学科	生命科学の基礎と生物生産に関する応用技術の開発をめざした教育研究活動を行っています。遺伝子レベル・細胞レベルでの生命活動の仕組みから、動植物の行動や生態までをふくめて、広く"いのち"について研究しています。	【教員免許】●高等学校教諭一種(理科・農業・水産) 【その他】●食品衛生管理者 ●食品衛生監視員 ●樹木医補 ●学芸員	P44

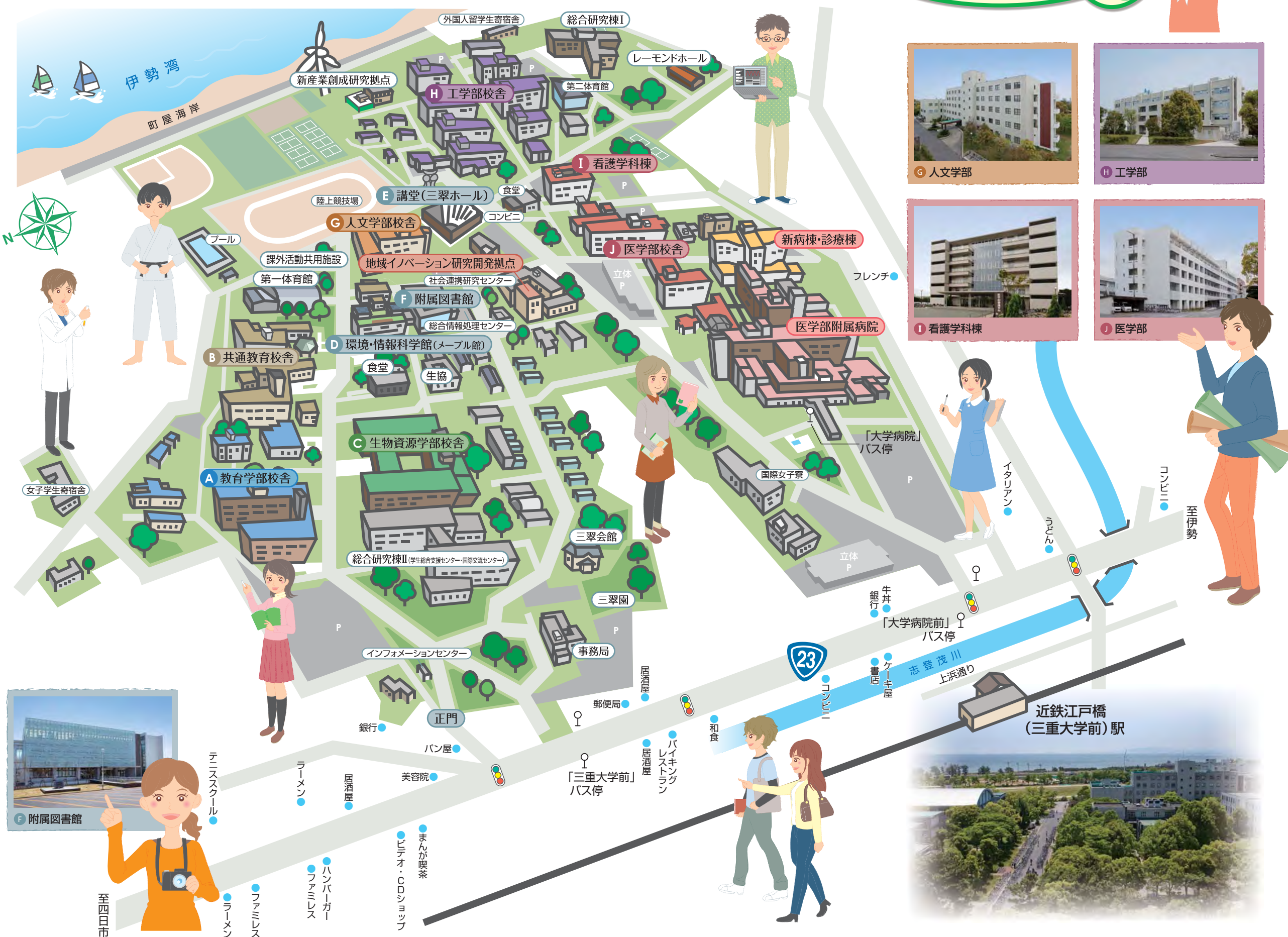
※資格等は、卒業に伴い取得出来るものではありません、詳しくは該当学部にご相談ください。

三重大学 上浜キャンパス

伊勢湾を望むシーサイドキャンパス



E 講堂 (三翠ホール)
屋根が貝殻のデザインで入学式や学位記授与式のほかいろいろなイベント会場として利用されています。



教育の特色

PBLって何？

講義中心ではなく、学生の主体的な学習が中心の授業です。
教員は、学生の学習を支援し、議論を活性化する役割を担います。

PBL: Problem-based Learning; Project-based Learning

PBLの主な授業タイプの紹介

1. 問題提示型PBL (事例シナリオ活用を含む)

学習の契機になる問題との出会いを教員が提示することによって学習が展開します。

学習課題の設定や学習の進行は学生の自己決定によります。

多人数あるいは少人数での授業、事例シナリオを活用した授業などの形態があります。

2. 問題自己設定型PBL

学習の契機になる問題も学習課題もすべて学生自身が設定することによって学習が展開していきます。共通教育授業、専門指向型授業のどちらでも可能です。またグループ全体で問題を探求したり、あるいは個人毎に探求する形態もあります。

3. プロジェクト型PBL

学内外の要請や課題設定に基づいて、ある企画の遂行・達成をめざして問題解決的な学習を行います。つまり問題解決及び課題達成の志向性が強く、企画や課題の内容や遂行方法によって、イベントなどの課題実践遂行タイプ、制作やものづくりを課題とするタイプ、問題解決のための提案をしていくタイプなどがあります。

4. 実地体験型PBL

様々な場での実地体験を通して、問題との出会い、問題・課題の発見、問題解決を進める学習です。ただし、何よりも体験することに重きを置いているため、問題解決の成果をもとめるよりも、実地での体験を重視します。主眼とする学習内容によって、学習課題の発見を重視するタイプ、専門的な基礎技能を習得するタイプ、実際の問題解決過程に参加するタイプなどがあります。

PBLの特徴は？

PBL授業は、次のような点が特徴です。

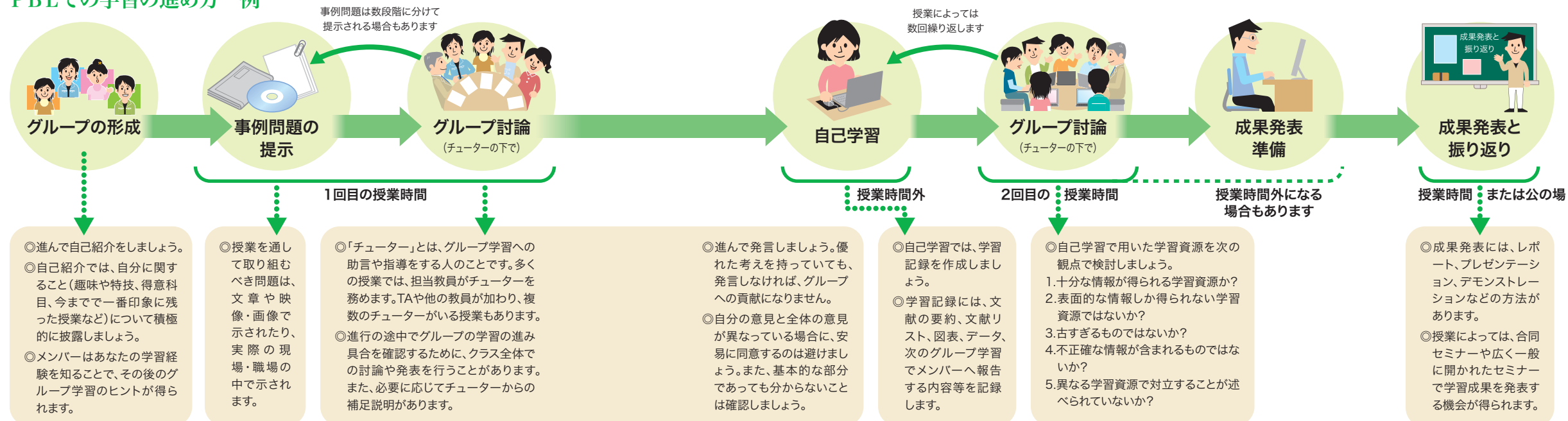
- 数人の学生で1つのグループを作り、学習に取り組む
- 授業時間外に個人で自己学習を進める
- 予備知識に関わらず取り組むべき問題事例が示される
- 学習に必要な学習資源(文献・資料)も自分で適切なものを選択する
- グループで問題解決のための学習計画を立てる

PBL授業での学習の進め方

PBL授業を受けた学生から、「仲間が増えた」「プレゼンがうまくなった」「自分で調べ物ができるようになった」「学習が楽しくなった」という声が聞かれます。

なぜでしょうか？その主なものとして、PBLは学生が主役の授業形態であることがあげられます。

PBLでの学習の進め方一例



eラーニングと eコミュニケーション

コンピュータやネットワークを利用して教育を行うことをeラーニングといいます。eラーニングは英会話学校などがインターネットを通じて教育サービスを提供しているほか、企業の社内研修、予備校の録画授業でも用いられています。

本学では、対面型の授業だけでなく、「ムードル(Moodle)」というツールを使って、ネットを活用したeラーニングやeコミュニケーションを進めています。

ムードルを使えば、自宅から授業の資料を見たり、レポートを提出したりできます。また、ムードルのフォーラム(電子掲示板)やチャットで、学生どうし、学生と先生が、どこからでもコミュニケーションできます。



教養教育

2015年4月教養教育新カリキュラムスタート

— 三重大大学の教育が変わります —

三重大大学入学後、学部・学科の授業とは別に、全学共通の授業を受講します。その共通授業のカリキュラムが、変化し続ける社会に対応できるように、2015年度から大きく変わります。キーワードは、「自律的・能動的な学修力」と「グローバル化への対応」です。

自律的・能動的学修力の育成

単に知識だけを持っていても常に変動する社会に対応することはできません。自律的・能動的に学ぶ習慣を身につけ、それを基盤に主体的に問題を発見し解を見いだしていく力が必要です。これにより不測の事態にも対応できる社会人の育成を目指します。

グローバル化に対応できる人財の育成

国際社会で活躍できる人財、グローバルな視点で地域を活性化できる人財の育成を目指します。ただし、真にグローバルな人財とは、外国語ができるだけではなく、世界的視野で物事を考えるとともに、多様な個別文化も尊重し、理解できる眼を持つ人財です。それによって自らの社会や文化も相対化することができ、地域に根ざすグローバルな人財となりえるからです。

教養教育共通カリキュラムの理念

三重大学理念 三重の力を世界へ

地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す
～人と自然の調和・共生の中で～

幅広い教養の基盤に立った高度な専門知識や技術を有し、
社会に積極的に貢献できる人財を育成

自律的・能動的
学修力の育成

グローバル化に
対応できる人財の育成

教養教育

共通カリキュラム

目的別カリキュラム

専門教育

共通カリキュラム

教養基盤科目	アクティブ・ラーニング	スタートアップセミナー 教養ワークショップ
	外国語教育	英語
	異文化理解	異文化理解基礎 異文化理解演習
	健康科学	スポーツ健康科学
教養統合科目	地域理解・日本理解	
	国際理解・現代社会理解	
	現代科学理解	

教養教育カリキュラムは、三重大大学生が共通に履修する共通カリキュラムとそれぞれの学部の理念・目的に基づく目的別カリキュラムから成り立っています。ここでは共通カリキュラムについて説明しています。

アクティブ・ラーニング

「スタートアップセミナー」は前期に開講され、4つの力(感じる力、考える力、コミュニケーション力、生きる力)の育成のための特色ある科目です。後期には少人数の「教養ワークショップ」が置かれます。スタートアップセミナーが「聞く」「話す」能力の育成に中心を置くのに対し、「教養ワークショップ」では「読む」「書く」能力の育成のため、学生が自分で書籍を読んで書評を書き、お互いに批評し合う授業を行います。このような少人数のセミナーを年間を通して行うことにより、自律的・能動的学修力の育成を行います。

外国語教育

外国語教育として英語を履修します。英語力の指標としてTOEICを用いています。自律的な学修とグローバル化に対応した人財の育成をめざし、新たな授業の方式を導入します。

入学時のTOEICの成績上位の学生のために「英語特別プログラム」を開始します。スタートアップセミナー、教養ワークショップ、教養統合科目の定められた単位も英語で受講し、短期留学に参加できるようにします。

異文化理解

多様な文化を理解するグローバル人財育成のための科目です。ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語のいずれかの言語を手段として、その言語が使用される文化圏の文化、歴史、生活等を理解する科目を履修します。

健康科学

自律的・能動的学修力の基盤とするため「健康科学」を共通カリキュラムとしています。体育の実技と健康科学等の講義を組み合わせた新たな授業により、健康的な生活ができる自己管理能力を育成します。

教養統合科目

地域理解・日本理解

「地域に根ざし国際社会で活躍できる人材の育成」という大学の目標の実現のため、地域を理解し、それを地域において活用することを目指す科目、バランスのとれた国際人となるよう日本を理解する科目を履修します。

国際理解・現代社会理解

今後の複雑な国際社会に対応できる人財を育成するため、英語力増強、異文化理解に加えて、東西の歴史や思想、政治・経済・社会のしくみ、現代の国際情勢などを学ぶ科目を履修します。

現代科学理解

国際的に活躍するため、国際社会を理解するために必要な情報科学、環境とエネルギー、生命科学などさまざまな科学的問題の基本的知識とそれらについて合理的・科学的に考える力を育成する科目を履修します。

*ここで説明した科目名や内容は2015年度に予定されているもので現在準備中です。実際には一部変更されることもあります。

学部・学科紹介

人文学部

教育学部

医学部

工学部

生物資源学部

大学院 地域イノベーション学研究科



人文学部

■文化学科 ■法律経済学科

知識欲を満たす2学科の扉が開く



アドミッション・ポリシー

このような人を求めます

- ◎人間の文化、または、社会の動きやしぐみに強い関心・好奇心を持っている人。
- ◎積極的・人間的に生きるために、人間の文化や社会について深く理解することを望む人。
- ◎現代社会における諸問題を理解し、解決策を探究しようとする意欲がある人。
- ◎そのために必要な基礎学力、論理的思考力、読解力、表現力を持ち、これらの力をさらに高めようとする意欲にあふれる人。

このような人を育てます

人文学部は、人間が創り出してきた文化や社会を、より広く深く理解するための多様な知的探求を行います。

人文学や社会科学のさまざまな研究分野にふれ、それらの理論のもとで、人間社会のかかえる問題を見いだす“感性”を、その問題の適切な解決へのアプローチを学ぶことによって、分野の壁をこえて文化や社会をとらえる総合的な視点や、古い枠にとらわれない“思考力”を育てます。また、このような学びの場を通じて、現代社会を“生きぬく”ための知的立脚点の獲得をめざします。そして、いつの時代にも変わらぬ人間の本質を見つめつつ、複雑化する現代世界と激しく変化する人間社会を正しく認識し、次々と生じる問題に立ち向かい創造性あふれる提言ができる“コミュニケーション力”を培います。卒業後は、企業、官庁、教育界からNPO、起業などの新たな分野に至るまで、地域においても国際的にも幅広く活躍できる人材を育成します。

三重大学人文学部では、入学してから、広い視野で学び、本当の自分の関心を高めることができるようになっています。「これだ!」というものを見つけて、精一杯に学び、有意義な学生生活を送れるよう工夫されています。

文化学科では「世界各地の固有の文化」を学びます。法律経済学科では、法律、政治、経済および経営について「問題を探究する」ことを学びます。人文学部の学びの中で最も特徴的な少人数の演習では、授業で得た知識をもとに様々な課題を「考える力」、授業外の社会見学等で社会に生じている問題を「感じる力」、そして、仲間と討論する「コミュニケーション力」を伸ばすことができます。



人文学部長 後藤 基

Department of Humanities

文化学科

さまざまな地域の文化について、言語、文学、哲学・思想、歴史、社会、地誌など人文科学の観点から研究します。1年次末に、4つの地域—日本、アジア・オセアニア、ヨーロッパ・地中海、アメリカ—のいずれかを研究対象地域として選びます。2年次以降、その地域の文化について幅広く学びます。同時に深く専門的に研究するために、2年次後期には人文科学の専門分野を決めます。ある地域の文化を多面的・総合的に学ぶことを、専門性を高めることで強化する、それが文化学科のカリキュラムの考え方です。

学びの特色

世界各地域の文化を総合的に理解し、専門的に追究するカリキュラム

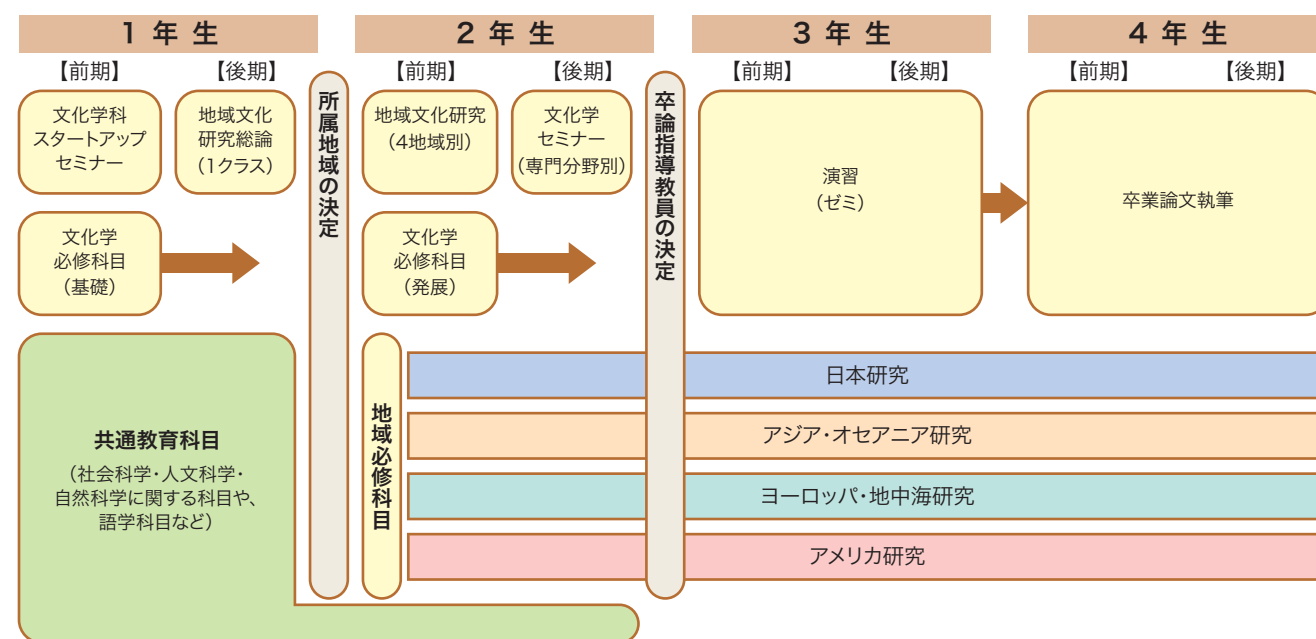
日本、アジア・オセアニア、ヨーロッパ・地中海、アメリカという4地域の言語・文学・歴史・思想・社会・民族・地誌などの科目から幅広く学び、その中のある特定の分野については専門的な方法論を修得することで、文化について、広い視野にたった深い思考ができ、それを表現することができるようになります。

少人数で充実した外国語教育

ネイティブによる英語、ドイツ語、フランス語、中国語の少人数の授業や留学制度によって高度な語学力を獲得し、その言語や文学を専門的に探求することもできます。

学部には世界各地からの留学生も多数在籍しています。さらに、その言語が話される地域の社会や文化を平行して学ぶことにより社会に出て活躍できる真のコミュニケーション力が身につきます。

文化学科教育カリキュラム



特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

アジア・オセアニア思想演習
(サンスクリット語文法)

サンスクリット語はインドの古典語です。インドの思想や文化を知るためには不可欠な言語ですが、東アジア・東南アジアをはじめ、他地域にも大きな影響を及ぼしました。また、ヨーロッパの諸言語の起源とも深い関係があります。

この授業では、サンスクリット語の文字と文法を学び、基本的な文章の読解能力を身につけます。



サンスクリット文字を書いてみる

STRONG POINTS

文化学科のここに注目!

現地に出向いての実践的演習
— 一生の文化財に触れる学び —

三重県には歴史的な文化財や文芸資料が豊富に遺されており、日本の地域文化を研究する格好の地です。大学で基礎的な技能を学んだ上で、文化財調査や遺跡発掘、聞き取り調査などを、地元の人たちと一緒にしています。こうした経験を活かして、行政の文化財担当や学芸員として働く卒業生もいます。



県立博物館にて、市民グループと共同で行った襖の下貼り古文書の調査風景

人とともに育ち、それを喜びとする職業人に



アドミッション・ポリシー

このような人を求めます

- ◎子どもの発達や心理、教育環境(学校・地域・社会)に関心をもち、情熱を持って教育にあたろうという意欲のある人。
- ◎総合的な基礎学力を有し、教育課題に対する専門性を高めようと努める人。
- ◎教育問題に対して関心をもち、その解決に協同で粘り強くあたるとともに、コミュニケーション力を磨こうとする人。
- ◎自分の成長を振り返り、自己決定のもとに、よりよい学びを創りだそうと努める人。

このような人を育てます

- ◎教育をめぐる現実的課題について、専門的知識に基づいて適切な対応を考えることができる。
- ◎教育に関する課題を意識した実践を企画・運営し、関係者と協力して問題解決に取り組むことができる。
- ◎教育に関わる職業人に求められる使命感・責任感を持ち、異文化、多世代の人と連携・協力することができる。
- ◎自律的な学習者として、主体的に学び、振り返ることができる。



教育学部長 藤田 達生

戦前・戦後を通じて、三重県内を中心に幾多の有為な人材を教育界に輩出してきた教育学部ですが、平成26年度に教員採用数の増加に対応して学部改組を行いました。そのポイントをご紹介しますと、学校教員養成課程の学生定員の145人から180人への増加、各教科コースに初等教育選修と中等教育選修を設けたことなどがあげられます。

教育学部は、教科・教職に強い専門性の高い教員養成をめざしています。

教育実践力を身につける

1・2年次	児童・生徒の理解を深めるカリキュラム(教員養成コア科目群)が設定されており、児童・生徒との交流を中心とした体験を通して、児童・生徒を注意深く観る姿勢を身につけます。
2年次	教育実習生(先輩)の授業を参観することで、授業運営について考え、3年次の教育実習にむけての素養を身につけます。
2・3年次	授業運営のサポート・教科指導を通して、児童・生徒の理解や教科指導について実践的な指導を受けます。 また、小学校教員をめざす学生のために、外国語活動、教育の情報化、ものづくり教育といった、近年小学校で求められている現代的な課題に応える科目を学びます。
3年次	教育実習があります。教育実習では、それまでに蓄積してきた知識と教育実践力をもとに、4週間にわたり教育現場での生徒理解・教科指導・授業運営について学ぶことができます。
4年次	授業科目「教職実践演習」などを通じて、3年次までに身につけてきた教員としての基本的な力が、確かな実践的指導力として形成されているかを確認し、教員生活のより円滑なスタートに結びつけます。
小学校教員や 中学校教員等をめざす	小学校教員になりたい、中学校教員になりたいといった将来の希望とそれをめざす目的意識にそって、コースや併願方法を選択できます。

専門分野の力を伸ばす

教科に関して充実した専門知識を持つことは、教科指導・授業運営の質を向上させる上で重要な要因です。本学部では、教科別コース制であるため、比較的少人数で、各専門教員による質の高い指導を受けることができ、教科に関する高い専門能力を身につけることができます。

一般入試の併願

一般入試では、前後期とも、出願時にコースを3つまで併願できます*。
学校教育教員養成課程では、コース内で初等教育選修(小学校教員養成)・中等教育選修(特に中学校教員養成)を希望順に併願できます*。

*併願には一部例外があります。

入試の詳細は、平成27年度入学者選抜要項及び学生募集要項をご覧ください。

平成27年度入学定員(募集人員)

課程	入学定員	コース	募集人員	選修	募集人員
学校教育教員養成課程	180	国語教育コース	15	初等教育選修 中等教育選修	8 7
		社会科教育コース	16	初等教育選修 中等教育選修	9 7
		数学教育・ 情報教育コース	20	初等教育選修 中等教育選修	10 10
			10	中等教育選修	10
		理科教育コース	18	初等教育選修 中等教育選修	9 9
		音楽教育コース	9	初等教育選修 中等教育選修	6 3
		美術教育コース	8	初等教育選修 中等教育選修	5 3
		保健体育コース	16	初等教育選修 中等教育選修	8 8
		技術・ものづくり教育コース	9	初等教育選修 中等教育選修	4 5
		家政教育コース	12	初等教育選修 中等教育選修	7 5
		英語教育コース	10	初等教育選修 中等教育選修	3 7
		特別支援教育コース	18		
		幼児教育コース	10		
		学校教育コース	9		
人間発達科学課程	20	人間発達科学コース	10		
		日本語教育コース	10		
合計	200				

学校教育教員養成課程

教職への意欲、社会人としての教養や常識、ならびに教育と学問に対する専門性やコミュニケーション能力を高め、現代の教育現場において強く求められている適切な判断力、十分な実践力、豊かな独創性、そして総合力を備えた教員となることを目指します。教員免許の取得を卒業要件としています。



13の専門コース

13の専門コースに分かれ、コース専攻の専門的知識、技能を身につけます。国語、社会科、数学*、情報*、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の各教科への専門的理解を深める10コースと、知的障害・肢体不自由・病弱のある人々の教育に必要な知識と技術を修得する特別支援教育コース、子どもたちが豊かに過ごして成長できるための幼稚園教育の理論と実践を学ぶ幼児教育コース、教育学および教育心理学を基礎とした教育実践を行いながら、教育全般に関わる諸問題を体系的に学び研究する学校教育コースがあります。

*数学教育・情報教育コースには、数学教育専攻と情報教育専攻があります。

コースの概要

国語教育コース

ことばと心を育む教育を追究する

私たちは、ことばで考え、ことばで知り、ことばで感じ、ことばで発信しています。国語科は、ことばを学び、ことばを探究する教科です。国語教育コースでは、教員としてそれを実現するための様々な知見を得ることができます。

社会科教育コース

教育現場に必要な社会を見る目を養おう

現代の社会構造は複雑化しており、学校教育の現場でもより高度な分析力と対応力が求められています。本コースでは、歴史学、地理学、政治学、経済学、哲学・倫理学、社会科教育学の幅広い分野から、社会に適應できる教科力を養います。

数学教育・情報教育コース 数学教育専攻

「数学」と「教育」で未来創造！

数学は豊かな未来のために欠かせない普遍の真理です。数学を深く学び、学校現場とも連携し、算数・数学教育の理論的・実践的能力をもった教員になることを目指します。数学で真理を探究し、数学教育で未来を創造しましょう。

学びの特色

教育実践力を身につける

教科及び教職に関する専門的科目の学習以外にも、学校現場での実地的な学習と省察を通して、実践的な教育力を身につけることが求められています。そのために、1年次の必修科目である「教育実地研究基礎」をはじめとして、4年間を通した系統的な学校現場体験及び教育実習によって、教育現場に通用する資質・能力としての教育実践力を身につけるためのカリキュラム（教員養成コア科目群）が設定されており、体系的な学びを進めていくことができます。

附属学校園での実地活動

教育学部には4つの附属学校園（附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校、附属幼稚園）があります。各附属学校園では主に教育実習を行います。それだけでなく、そこでの日常的な教育活動（学習支援、自習監督、運動会等の補助、クラブ活動の支援等）に指導補助者として参加することができ、実地活動として学部教員からきめの細かい実践的な指導を受けることができます。

地域の学校・社会との連携

教育学部に隣接する一身田校区の5校園（白塚幼、栗真小、白塚小、一身田小、一身田中）及び橋北校区の6校園（北立誠小、南立誠小、北立誠小、南立誠小、西が丘小、橋北中）と連携しています。各学校園の教育活動に指導補助者として参加し、教育実践力を身につけることができます。その活動は、学習支援・理科実験・体育活動・幼児教育支援・食教育・音楽祭など、多岐にわたっています。

美術教育コース

美術の魅力を知りそれを教育に活かす

1年次から絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史の各分野の制作と理論の追究と、美術教育の実践と理論の探求を通して専門的能力を身につけ、同時に学校などの教育現場で求められる高度な実践力を備えた教育者を養成します。

保健体育コース

健康で運動好きな子どもを育てよう！

運動の楽しさや面白さ、精一杯体を動かすことの気持ちよさを味わえる、健康や運動に関する正しい知識と実践力を持つ子ども。本コースではそのような児童、生徒を育てる教員を養成するためのカリキュラム（理論・実技）があります。

技術・ものづくり教育コース

ものづくり教育のエキスパート養成

将来、技術立国日本を支える子どもたちに、ものづくりの楽しさと、技術の素晴らしさを伝えることのできる教師を目指し、技術・ものづくり教育を支える学問の理論と技能を総合的に学習します。

家政教育コース

広い視野から生活と環境を探究する

家庭教育、家庭経営学、被服学、食物学、住居学、保育学の領域からなります。生活に関わる様々な事象について、広範な視点と分野から理論的・実践的に研究しつつ、それらを家庭科に生かす教員になることをめざして学びます。

英語教育コース

国際共通語としての英語を教えるために

国際化の時代にふさわしい実践的な英語力を身につけるとともに、「英語学」「英米文学」「英語教育」「異文化理解」の観点から英語について総合的に学び、確かな言語感覚、国際感覚に裏打ちされた英語教員を育成します。

特別支援教育コース

子どものミカタになれる教員を目指す

発達遅れ、人とかかわりの苦手さ、学習の遅れ、身体の動きの制約、疾患による制約や後遺症の影響など、課題や困難を抱える子どもたちの味方になれる、そのためには子どもの側に立った想像のできる、教員を育てるコースです。

幼児教育コース

子ども時間をともに過ごしてみませんか

幼児教育者は、子どもの豊かな成長と発達に大きな役割を果たしています。このコースでは、高い専門性と実践力のある幼児教育者を育成するために、講義や演習、実習などを通して必要な専門的知識や方法を体系的に学ぶことができます。

学校教育コース

広い視野から学ぶ教育の本質

学校教育が抱える諸問題はもとより、家庭や地域にまで視野を広げ、教育本来の姿を多面的に考察します。教育哲学、教育方法学、教育社会学、教育経営学、教育心理学、学習心理学、社会心理学、学校臨床心理学等の分野があります。

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

教育実地研究基礎

「教育実地研究基礎」は、1年次に位置づけられている必修科目であり、附属学校園および近隣の小中学校等において、授業参観、学習支援、文化祭支援、イベントのサポートなど、教育に隣接する「現場」に入って子どもたちとのふれあいを通して、自らの学習を発見する体験実践です。この科目をスタートとして、3年次の4週間の教育実習に向けて準備を進めていきます。



特別支援教育入門

今日、学校現場では、子どもたち一人ひとりのニーズに応じた適切な教育を行う特別支援教育が求められています。この授業では、特別支援教育の理念や制度とともに、特別支援学校、小・中学校等の教育現場に求められている具体的な指導内容や方法等について学びます。さらにこの授業を通して、介護等体験のより深い理解と実践につながることを目指しています。



STRONG POINTS

学校教育教員養成課程のここに注目！

教職入門

教師の仕事、役割とはどのようなものでしょうか。教職の導入科目に位置づけられているのが「教職入門」です。教職という仕事の性格・特徴を理解し、また三重で働く教育関係者の講演を通じて、教師がどのような状況の下で日々「教える」という営みを行っているかを学びます。そして、実際の教師の生き方にもふれながら、自分自身にとって教職の持っている意味を問い直します。



PBL教育

三重大大学では、PBL（Problem/Project based Learning）を推進しています。PBL教育では、グループで問題解決のための学習計画を立て、学習資源（文献・資料）を選択します。知識伝達型の授業とは異なり、教員は学びの支援者としての姿勢が求められ、学生は自律した学習者としての姿勢が求められます。



人間発達科学課程

人間発達科学課程は、人間発達科学コースと日本語教育コースに分かれます。人間発達科学コースでは、教育や発達に関わる幅広い知識を身につけ、子どもを支えることができる人材の育成を目指します。日本語教育コースでは、「日本語」に関わる幅広い知識を身につけ、海外や地域の国際化に対応できる人材の育成を目指します。

学びの特色

人間の発達を広い視野から支援できる総合的カリキュラム

教育学・教育心理学から人の発達に関わる知見を紹介する理論的な授業とともに、それを現場で生かすための実践的な科目が準備されています。これらを通して優れた実践力を育成します。また人間の発達を支援する基盤となる力を育てる科目も準備されています。

「日本語」からの新発見

日本語ってどんな言語でしょう？日本語でのコミュニケーションにはどんな特徴があるのでしょうか？日本語教育コースでの学びは、皆さんが日々何気なく使用している日本語を「一つの言語」として客観的に見直すことから始めます。このような視点を持つことで、日本語・日本文化・コミュニケーションのあり方・外国語教育と学習など様々な分野で、今まで気が付かなかった、新しい発見ができるはずです。ぜひ一緒に新発見を体験してみましょう。

専門コース

人間発達科学コース

確かな人間理解のために

広い視野から発達を支援するために、教育の諸問題、人間の心理的特性や発達について理論と実践から学びます。教育哲学、教育方法学、教育社会学、教育経営学、教育心理学、学習心理学、社会心理学、学校臨床心理学等の分野があります。

日本語教育コース

「日本語」で広がる世界

多様化する日本語学習者に適切な日本語教育実践ができる基礎力を身に付けるため、日本語学、日本語教授法・言語習得、日本の文化・社会、異文化理解等を幅広く学びます。中国語等の外国語学習や留学生との交流にも力を入れています。

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

コミュニケーション実習Ⅱ

今、社会ではコミュニケーション力が求められています。では、「コミュニケーション」とは、具体的には何を指すのでしょうか。授業では、友達の会話を観察したり、話をするとき気持ちのいい、人との距離を測ったり、ゲームをしたりします。勉強しつつ、体も使うことによって今まで気づけなかったことが発見できるでしょう。



日本語教育実習

日本語教育実習では、「日本語で日本語を教える」方法を学びます。絵教材の作り方や示し方、教師の発話など、様々なことに配慮しながら、模擬授業を行います。教師と学習者の立場をお互いに経験しながら、より効果的な教え方を考えていきます。



STRONG POINTS

人間発達科学課程のここに注目！

- ◎ 学校と連携・協力できる地域住民を目指す
- ◎ 教職にこだわらず発達やその支援を見つめる

人間発達科学コースでは、学校現場だけでなくスクールカウンセラーや児童相談所なども含めた地域から子どもの発達を支えることができる人材を育成します。子どもの学びや成長などに関する幅広い専門的な知識を身につけることを目指します。卒業後には教育・心理・福祉などの多様な機関や一般企業での人材育成などの分野で活躍が期待されます。



- ◎ 国際的視野で「日本語教育」を学ぶ
- ◎ 多岐に渡る分野から日本語教育にアプローチ

日本語教育コースでは、日本語という言語だけでなく、日本語を支える文化や社会、言語習得と教授法、異文化コミュニケーション、中国語等の幅広い学びを通し、国際的視野を持つ人材を育成します。留学生と共に学ぶ機会もあり、国際感覚が深まります。卒業後には国内外での日本語教師や国際交流の分野で活躍が期待されます。



将来のVISION ～教育学部で目指す主な進路～

進学・就職状況

柔軟なサポートで学生を支援

近年、全国的に教員採用数が増えています。講師への需要も高く、卒業生も教育の現場での就職が可能で、教員免許が必修の学校教育教員養成課程の学生は6割以上が教員となっています。

教員以外では公務員や一般企業への内定が決まり、教育学部全体で見ると就職内定率は9割以上になります。

教育学部全体の就職率

就職希望者に対する就職内定率

97.2%

学校教育教員養成課程の学生の教員採用率

大学院進学者と保育士を母数から除いた率

71.0%

就職者の6割以上が、教員として採用

62.0%

平成25年3月卒業生データ

過去の就職・進学先一覧

- 三重県公立学校
 - 愛知県公立学校
 - 名古屋市公立学校
 - 他府県公立学校
 - 市町村幼稚園
 - 市町村保育園
 - 私立学校
 - 三重県庁
 - 三重県内市役所
 - 三重県警
 - 中部電力
 - 百五銀行
 - 三重銀行
 - 三菱東京UFJ銀行
 - 名古屋銀行
 - 三重信用金庫
 - 三重電子計算センター
 - 国立大学法人三重大学
 - 鈴鹿英数学院
 - NTT西日本 他
- 【大学院進学】三重大学大学院、名古屋大学大学院、筑波大学大学院、神戸大学大学院、広島大学大学院、鹿児島大学大学院、University of Australia(大学院)など

大学院で学ぶ

大学院教育学研究科は1つの専攻を持ち、5つの教育領域によって構成されています。研究科は、人間の発達及び教育に関する高度な専門的研究を進めるとともに、教育現場における諸問題の解決にリーダーシップを発揮できる人間性豊かな教員の養成のための高度な教育・研究を行うことを目的としています。学部卒業生だけでなく、他大学から多くの現職教員の方々が学んでいます。

大学院教育学研究科

教育学研究科

教育科学専攻
(修士課程・2年間)

- 学校教育領域
- 特別支援教育領域
- 人文・社会系教育領域
- 理数・生活系教育領域
- 芸術・スポーツ系教育領域

特色ある制度

“長期履修制度”

大学院の標準的な修業年限は2年ですが、職業を有しているなどの事情により2年間で修了することが困難な学生のために、修業年数を3年間ないしは4年間で設定できる長期履修制度を設けています。また、本研究科では、この長期履修制度を利用して教育職員免許状を取得することができます。教育職員免許状を持たないが教育に

強い関心を持つ学生を対象に、学部の授業を受講し、単位を取得することで希望する校種・教科の教員免許状を取得できます。職業を有している等の事情のある方、あるいは教育職員免許状の取得を希望する方など長期履修制度を利用したい方に対しては、出願前に可否審査を行います。詳しくは募集要項をご覧ください。

人との出会いとつながりで自分が成長できる。

三重大学教育学部は、人との出会いがたくさんあり、かつ、人とのつながりがとても強い学部です。15の専門コースは少人数であり、それぞれのコースならではの行事があります。普段の生活からゼミ室などで一緒に勉強したり話したりするので、横と縦の関係がより強くなります。

また、教育学部の授業では、他コースの学生や先輩・後輩と一緒に受けることができるものがたくさんあるので、色々な考え方にふれることができます。私は、2年次に学校教育コースの学生たちが主に受ける授業を取りましたが、そこでしか学べない内容もありましたし、他コースの人と関係を築けたことで、授業がよりいっそう楽しく感じられました。このように、教育学部では、自分の所属しているコース以外の授業も受けられるので、自分の考えを多面的な視点から深めることができます。3年次、4年次にある教育実習では、さらに他コースの人と関わることが多くなり、仲間と支え合って励まし合って乗り越えることができたので、自分のコース内のつながりもいっそう強くなりました。

教育学部は、同じ目標を持った学生が集まっています。学生同士は、お互いに高め合うことができる良い仲間であり、ライバルとなるので、教師としての意識がとても高くなります。

このように、人とのつながりによって学生同士がお互いに高め合うことができるのが教育学部の魅力だと思います。

社会科教育コース 4年 杉浦 早奈恵 さん

VOICE 学生からのメッセージ



優れた知識と技術、そして豊かな
人間性を兼ね備えたプロフェッショナルに！



医学科アドミッション・ポリシー

このような人を求めます

医学科の教育方針は、問題探索力と解決力を養成する教育、協同学習・生涯学習能力を高める教育、地域社会と国際社会を学びの場とする教育、診療現場での実践的な教育にあります。これらの教育方針のなかで学習に主体的に取り組むことができる学生を求めており、入学者選抜の方針(アドミッション・ポリシー)として以下の3項目を提示しています。

- ◎人間性に優れた人。
 - ◎困難に立ち向かう力強さを備えた人。
 - ◎人類の健康と福祉の向上のため、地域および国際社会に貢献できる人。
- さらに、三重県の地域医療に貢献する強い意志を持つ人材を求めています。

このような人を育てます

三重大学医学部は、建学の基本理念として、「確固たる使命感と倫理観をもつ医療人を育成し、豊かな想像力と研究能力を養い、人類の健康と福祉の向上につとめ、地域および国際社会に貢献する」ことを掲げています。この基本理念の下、臨床医学、医学・生物学研究、あるいは公衆衛生の領域で、地域社会、あるいは国際社会に貢献する人材の養成を目指します。

そのために、コミュニケーション能力、探索した問題を論理的かつ科学的思考によって解決する能力、幅広い医学知識、優れた診療技術を修得するための教育を実施します。

看護学科アドミッション・ポリシー

このような人を求めます

看護学科では特に以下の人を求めます。

- ◎人間性に優れた人。
- ◎困難に立ち向かう力強さを備えた人。
- ◎人類の健康と福祉の向上のため、地域および国際社会に貢献できる人。

このような人を育てます

看護学科では、誕生から死に至るまでの様々な健康状態にある人たちの健康と生活の質の向上にむけた支援ができるよう、Heart(こころ)・Head(専門知識)・Hand(専門技術)を伸ばす教育を通して、広く保健・医療に携わる看護職者を育成します。倫理観と責任感を備え、協調性のある豊かな人間性と国際的感覚をもち、地域医療・保健に貢献できる看護職者の育成に努めます。

医療は技術と心で支えられています。本学医学部では確固たる使命感と倫理観を持つ医療人を育成し、課題を探索し解決する能力の涵養や倫理を含む臨床実践力の体得に向けた独自カリキュラムに力を注いでいます。平成24年の附属病院新病棟の完成を経て、現在附属病院の新外来棟が完成されようとしています。地域を愛しつつ世界に羽ばたく心の翼をもった医療人、医学研究者の育成によって地域と社会に医学で貢献していきたいと思っています。



医学系研究科長・医学部長 緒方 正人

Department of Medicine

医学科

入学から第2学年前期まで、社会人としての教養と医療人に求められる専門職意識(プロフェッショナルリズム)を身に付けるための共通教育と初期医学教育とが行われます。第2学年後期から第3学年前期に基礎医学教育(解剖学や生理学などの講義、実習)を受け、第3学年後期から第4学年前期まで研究室研修と問題基盤型(PBL:problem-based learning)チュートリアル教育に参加します。研究室研修では、学生が個別に研究室に配属され、教員や大学院生とともに医学研究活動に従事します。PBLチュートリアル教育では、学生が主体的に学習する能力、仲間と協力して学習する能力の養成を図りながら、臨床医学と基礎医学との関係を学びます。第4学年には、診療技能を学ぶ基本的臨床技能教育が行われ、その実習終了後には、共用試験実施機構(全国80大学医学部により組織された試験統括機関)によるコンピュータ支援学力試験と客観的臨床能力試験を受験します。これらの試験に合格すれば、第4学年後期からの病院実習に参加することができます。病院での臨床実習では、平成24年に開設された新しい附属病院と地域の協力病院、海外の交流病院での実践的な教育が行われます。

問題基盤型チュートリアル教育

第3学年後期・第4学年後期には、問題基盤型チュートリアル教育が行われます。これは、少人数グループによる協同学習と自学自習を通じて、学生が能動的な学習能力を向上させる学習方法です。実際の患者診療をシミュレーションした課題から、学生自らが学習課題を発見し、基礎医学教育で学んだ知識を駆使して問題解決をはかります。

学びの特色

実践的な臨床医学教育

臨床医学教育は、臨床課題を使用した問題基盤型チュートリアル教育から始まり、基本的臨床技能教育、診療参加型臨床実習に繋がっていきます。マナーやコミュニケーション能力を指導する専任教員が配置され、多くの診療シミュレーターが設置されています。

医学研究を志向する学生のためのカリキュラム

6年間を通して研究活動に参加する新医学専攻コースが選択コースとして提示されています。3-4年次には、全員が研究活動に参加する研究室研修があります。卒業後は、大学院医学研究科への進学が可能です。

国際性豊かな学習環境

多くの海外交流大学からの交換学生が、本学での臨床実習に参加しており、国際的な学習環境が提供されています。また、早期海外体験実習、海外臨床実習など海外で学ぶ機会も多くあります。

地域を学びの場とした教育

入学後早期から、三重県や市町と連携した地域基盤型保健医療教育が実践されています。第4-6学年の臨床実習では、大学附属病院、地域病院、診療所での実習に参加します。

診療参加型臨床実習

第4学年後期・第6学年前期には、附属病院、および関係教育病院での1年6ヶ月の臨床実習に参加します。従来の見学型臨床実習から脱却した診療参加型臨床実習であるクリニカル・クラークシップ方式を三重大学医学部医学科では他大学に先駆けて導入しています。医療チームの一員として患者さんに接することによって生まれる使命感を大切に、実地診療の場で、病気の診断・治療、患者さんへの生活支援を学んでいきます。第4、5学年学生は、全診療科のローテーション実習、第6学年学生は、各診療科の専門領域、地域病院、海外の交流大学附属病院での選択実習に参加します。

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

地域基盤型保健医療実習

入学後から2年次まで、医師に求められるプロフェッショナルリズムを理解し、地域貢献に求められる基本的な態度を学ぶための「地域基盤型保健医療実習」の授業があります。授業は、学内での講義と保健医療機関や地域コミュニティでの体験型学習により構成されます。この授業を通して、困難を持つ人々への共感的態度、医療倫理、医療と生活の関わりを理解する能力、コミュニケーション力などを修得します。



看護学科

看護師、保健師（選択科目履修）、助産師（選択科目履修）として必要な専門知識や看護技術、価値観、倫理観、これらを講義、演習、実習を通し段階的に学びます。主体的な学習が中心のPBL教育も多く取り入れられており、特徴的なものに学内演習やゼミナール教育があります。

学内演習では、看護技術やコミュニケーション技術を模擬体験により学びます。また、看護実践の基本となる問題解決能力を磨くため、事例学習により問題解決の展開プロセスを体験し、論理的な思考法と看護の実践場面への適用法を学習します。

少人数による学習の場であるゼミナール教育では、主体的・能動的な学習態度を養い、選択した看護領域の学びを深めます。健康問題や看護の専門知識について文献をもとに学習します。討論や質疑応答を通し批判的な思考能力や論理的な表現能力を伸ばし、学生同士の相互作用により創造的な問題解決能力を高めます。



1年生のPBL教育

臨地実習

医療や保健・福祉の現場で、看護の対象（患者、入所者、地域住民）と向き合いながら看護の実践力を高めます。附属病院での基礎看護学実習特（1年生）と基礎看護学実習臨（2年生）を経て、3年生の後期から病院や高齢者施設で母性、小児、成人、老年、精神の領域別臨地実習を行います。4年生では各自が選んだ専門領域で行う統合実習特・臨があり、学年進行にあわせて段階的に実習内容を深め、看護の専門性、対象や家族との関係づくり、医療や保健の現場における連携について実践的に学びます。



助産学実習前の演習（助産課程専攻）

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

成人看護学Ⅲ（専門教育科目、3年次前期）

成人看護学Ⅲでは、成人期にある人の事例から情報を整理し、既習の理論や考え方をういて情報を分析統合し、看護問題（課題）を見出し、個別性のある看護計画を立案することや、特定の健康障害をもつ人の看護に必要な基礎的看護技術の演習をPBLの学習形態のなかで学びます。事例展開にはグループワークを取り入れ、メンバー間での討議を大切にしています。討議することで、自分では気付かなかった新たな発見をし、学びを豊かにすることができます。3年次後期より始まる領域別実習に向けて、事例をもとに模擬患者さんとの実践的な演習も行っています。



学びの特色

広い知識と豊かな人間性を養う恵まれた環境

全学部が1つのキャンパスに統合され、共通教育やクラブ活動などを通して他学部との交流・情報交換を深めることができます。

医学科と看護学科の連携した教育・研究体制

医療は日々進歩しているため、豊富な講師陣が最新の医学や看護学の知識を教育・研究に提供しています。

隣接する附属病院を中心とした実習体制

看護学の臨地実習は長期にわたりますが、隣接する高度先進医療を担う附属病院での実習を続けることができます。

活発な国際交流

国際インターンシップ制度等を利用した海外での研修や学内での講義等を通じて国際社会で幅広く活躍できる能力を養う機会があります。



将来のVISION ～医学部で目指す主な進路～

進学・就職状況

医学科

卒業生の進路

全員が医師、医学研究者、保健行政担当者として活躍しています。

三重大学医学部附属病院、国立三重中央医療センター、三重県立総合医療センター、三重県立志摩病院、市立四日市病院、名張市立病院、松阪市民病院、市立伊勢総合病院、伊勢赤十字病院、済生会松阪総合病院、鈴鹿中央総合病院、松阪中央総合病院、山本総合病院、鈴鹿回生病院、三重病院、伊賀市立上野総合市民病院、尾鷲総合病院、紀南病院、東京大学医学部附属病院、国立がんセンター、国立国際医療センター、聖路加国際病院、トヨタ記念病院、三重県健康福祉部、国立感染症研究所、St. Jude Children's Research Hospital, Scripps Research Institute, Indiana University School of Medicine, Mayo Clinic など

看護学科

全員が看護師、保健師、助産師等として活躍しています。

最近の卒業生の進路

看護師、助産師

三重大学医学部附属病院、国立病院機構三重病院、済生会松阪総合病院、名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学医学部附属病院、東京医科歯科大学病院、虎ノ門病院、聖路加国際病院、日本赤十字社伊勢赤十字病院、市立四日市病院、藤田保健衛生大学病院、大阪医科大学附属病院 等

保健師・養護教諭

三重県内市町村、三重県内学校、愛知県内市町村、愛知県内学校、大阪府内市町村、大阪府内学校 等

進学

三重大学大学院医学系研究科、岡山大学（養護教諭特別別科）、金沢大学（養護教諭特別別科）、和歌山医科大学（助産師課程）、浜松医科大学（助産専攻科）

大学院で学ぶ

医学科

大学院医学系研究科

医科学専攻（修士課程・2年間）

生命科学・医科学の理論と応用の教育・研究指導により、医学や医療産業に貢献する優れた研究・実践能力を有する人材を育成します。

生命医科学専攻（博士課程・4年間）

生生命科学・医科学の理論と応用の教育・研究指導により、地域及び国際社会において指導性を発揮する人材を養成し、かつ優れた研究成果を世界に発信します。

看護学科

大学院医学系研究科

看護学専攻（修士課程・2年間）

看護学専攻修士課程は、社会の要請に応えるべく、専門知識・技術を備え、科学的判断・論理的思考に基づく看護介入が出来る高度看護実践者、あるいは看護ケア・看護教育・看護システムの改善において指導性を発揮できる看護専門職者を育成します。3つの教育研究領域と9つの専門分野から構成され、修士論文コースと専門看護師（CNS）コースがあります。CNSコースはがん看護と老年看護が開設されています。

出会い、吸収、理想とする医師像

三重大学に入学してから一般教養、基礎医学、臨床医学を学んできて、今は臨床実習に向けての準備段階です。本学医学部では1年生から地域基盤型保健医療実習があり、早期から地域や病院に足を運ぶことで学習意欲が一層沸き立ちます。さらに、小児科病棟でのボランティア活動や三重大学病院での学童保育を通して、子どもや親の気持ち・医師に求めるものは何か、といったことを学生の視点で学びました。部活や研究室研修では、尊敬できる先輩・理想とする先輩、喜怒哀楽を共にした信頼できる仲間に出会いました。私にとって三重大学とは、有意義な学生生活を過ごしながら多くの人たちから知識・人間性を吸収し、自分のなりたい理想像・人に必要とされる医師像を追求できる場所です。あなたもぜひ一緒に三重大学で学びませんか？



医学科 4年 石川 真衣 さん

VOICE

学生からのメッセージ

様々な交流の中で見つけた理想

三重大学は総合大学であるため、様々な学部の人と交流を持つ機会があります。

授業や部活動を通して、異なる学部の友人と交流することで、視野がとても広がりました。

また本学には、学内だけでなく他大学や地域、海外と交流する機会もたくさんあります。

長期の看護実習では、広い視野が看護にとっても大切であることに気付くと同時に、友人や看護師さん、患者さんから更にはたくさんの知識や考え方を学びました。

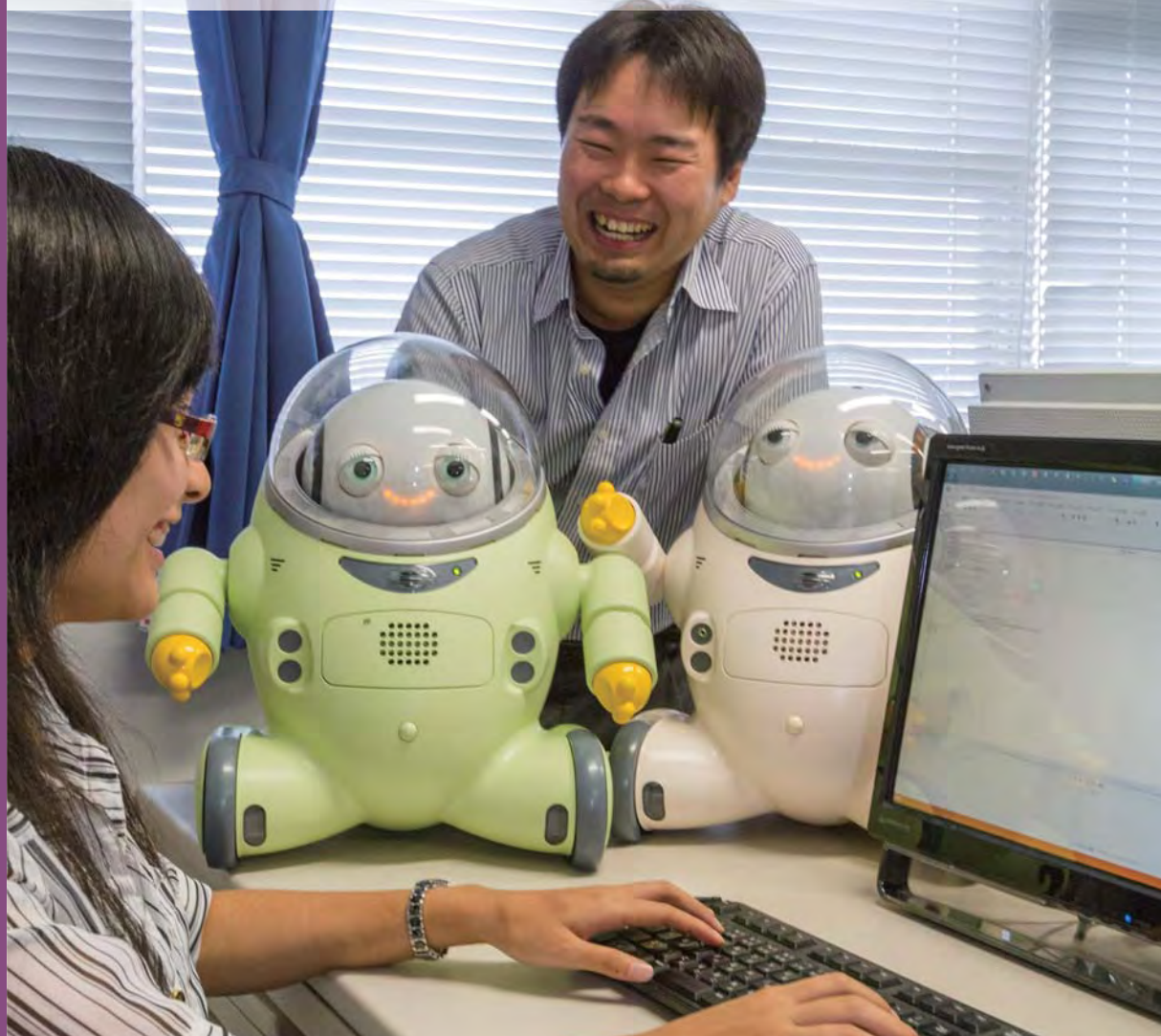
このような人との関わりの中で、私は「なりたい自分、理想の看護師像」を見つけることができました。

三重大学でのたくさんの出会い、人との繋がりにとても感謝しています。



看護学科（25年度卒業） 藤見 奈央 さん

Face to Face による丁寧な教育で 実践的なものづくりの力を！



アドミッション・ポリシー

このような人を求めます

- ◎自然、社会、文化等に対して幅広い関心を持ち、それらの基礎学力を持った人。
- ◎工学を理解するために必要な数学、理科に興味を持ち、それらを応用する能力と自主的に学ぶ意欲を持った人。
- ◎工学とその周辺分野に対する旺盛な好奇心を持ち、真摯に問題を探究し続ける姿勢を持った人。
- ◎工学における問題解決の実践に情熱をもち、社会に貢献しようという気概を持った人。

このような人を育てます

工学部は、科学技術の分野における先端的、創造的な職業能力はもとより、自然、社会、文化等に対する深い見識を育むことを目指して、学生と教員のふれあいを重視した教育を行っています。特に演習、実験、卒業研究等、研究室での少人数教育を通して、世界に通用する学問及び社会の進歩を支えるものづくりに不可欠な技術の修得と、社会で活躍するための実践力や表現力を養います。



工学部長 伊藤 智徳

工学部とは、人類に役立つ「もの」を創る(作る、造る)技術について教育・研究をするところです。「もの」というのは手に触って見ることが出来るものばかりでなく、一つの概念であったり、システムであったりもします。そこから生まれた技術が、ゲーム機のように生活を楽しむものの生産に役立ち、発電所のように生活の基盤を支える技術につながります。そのような分野で積極的に物事を解決できる、広い視野と高度な専門知識や指導力を持つ研究者や技術者を養成するのが、工学部の目的です。

Department of Mechanical Engineering

機械工学科

レオナルド・ダヴィンチがヘリコプターで空を飛ぶことを夢見たように、機械は豊かな生活を築き上げるために必要とされてきました。現在では、人体から宇宙まで守備範囲は広がっています。機械工学科では、講義・演習、工場見学、企業でのインターンシップを通じて、社会に貢献する創造的設計・製造に不可欠な知識・技術を習得します。

学びの特色

専門分野をしっかりと身につけるカリキュラム

大学での講義に必要な基礎的な物理、数学の導入教育の実施、専門分野を自主的に学習し応用力を高めるための演習付き科目の充実、設計能力、問題解決能力を開花させるための創成型科目、卒業研究の実施を通して、専門的な能力を着実に修得するカリキュラムが用意されています。

社会で活躍できる人材の育成

機械技術者、研究者として成長することを早期に自覚するため、入学初年度から工場見学、合宿研修が実施されています。専門知識の修得に加え、教員による綿密な研究指導、学科独自のポスター発表会によりコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を修得し、社会で通用する総合的な能力が身につけられます。

■ 量子・電子機械講座

量子力学に基づいた材料開発や機械的な現象の解明、医療分野への展開を目指した心臓や脊椎の力学的機能評価や生体模倣機能性材料の開発を行っています。また、知能ロボットや介護ロボットの創出を目的とした、知能機械システムやロボット制御技術の研究を行っています。

■ 機能加工講座

もの作りの基礎である、材料から必要な形状を作り出す加工技術に関する研究を行っています。材料を削って必要な形にする除去加工や通電加熱を利用した変形加工、レーザを用いた溶接や切断、異なる材料間での接合について、そのメカニズムの解明と新加工法の開発を行っています。

■ 環境エネルギー講座

流体工学や熱工学に基づいた、新しいエネルギーの開発やエネルギーフローの効率化による環境配慮型の資源利用の達成を目的として、風力発電や燃料電池に関わる技術開発や、自動販売機や空調の高性能化・省エネ化技術の開発、これらの機器の要素開発に不可欠である複雑乱流や混層流のシミュレーション及び実験技術の開発を行っています。

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

機械工学セミナー

機械工学の果たす社会的役割、技術論について、小グループに分かれて課題調査を行い、意見の取りまとめ、発表並びに意見交換を行うことで、自主性、協調性、指導力、並びに発表力を養います。また、ある題材に対して、構想、設計、製作まで一貫して行うことで、モノ作りを体感すると共に、試行錯誤を交えた“創成能力”を育成します。

そのほかこのような研究をしています。



レーザ切断機で製作した小さい歯車



風洞による流れの可視化実験

STRONG POINTS

機械工学科のここに注目！

メカトロニクス研究室

メカトロニクス研究室では、人間と機械の共生を実現するロボット制御技術を開発し、社会に貢献できる機械システムや知能ロボットを創出することを研究目標としています。特に、ロボット技術の活躍が期待されている生命・医療・福祉の分野における支援ロボットの開発に力を入れています。(写真は上肢が不自由な方でも車いすが使用できるようになる上肢支援ロボットです。)



電気電子工学科

テレビなどの家電製品のみならず、携帯電話、自動車、さらには進展が著しいロボット技術やディスプレイ技術は、エレクトロニクスによって支えられています。また、太陽電池などの環境技術、ナノテクなどの最先端科学も電気電子工学の技術者が活躍する分野です。電気電子工学科では、広く社会から求められているエレクトロニクス分野で活躍する技術者を育てます。



学びの特色

自ら考える力をつけ、技術者に必要な基本的スキルを学ぶ

1・2年生では、工学に必要な数学や物理、化学などの自然基礎科目とともに、電気電子工学の重要な基礎科目である電気回路論、電子回路論、電磁気学および計算機基礎などを学びます。これらの科目では講義のみならず演習も取り入れることにより、自ら考える力を身につけます。また3年生では、電気システム、情報・通信、電子物性の3つの専門分野について本格的に学びます。専門的な講義に加えて、実験や実習を数多く取り入れることにより、計測技術や報告書の書き方といった技術者として基本的なスキルも習得します。

先端研究に従事して、もの作りと仕組み作りを理解します

4年生では、電気電子工学の技術者として必須である専門英語やプレゼンテーション技法について学ぶとともに、各研究室に配属されて最先端の研究活動に従事します。卒業研究を通して、修士の先輩・仲間とのコミュニケーション能力を養い、工学としての「ものづくり」、「仕組み作り」を理解します。

■ 電気システム工学講座

介護やリハビリ支援までもこなせる自律性の高いロボットや、温度・負荷などの環境変化への適応能力をも備えた自動制御システム・機器への需要がますます高まっています。また、電子材料をナノレベルで分析する高度な技術も求められています。電気システム工学講座では、自律ロボット、自然エネルギー利用発電などの研究・開発によりこれら課題に取り組んでいます。

■ 情報・通信システム工学講座

情報をデジタル化し処理する技術は様々な分野で応用され、人々の生活環境向上に大きく貢献しています。また、高度に洗練された情報通信端末が広く浸透し、だれもが、どこでも、地球の裏側の相手とでも瞬時に情報をやり取りできる時代が到来しています。情報・通信システム工学講座では、情報処理技術の医学・教育分野への応用、次世代通信方式の研究・開発に取り組んでいます。

■ 電子物性工学講座

あらゆる電子機器の中には、半導体・誘電体・磁性体・超伝導体などの電子材料が様々なかたちで使われています。それら電子材料の機能を最大限に発現させる上で、基礎物性に関する深い知見や、素子作製プロセスの確立は欠かすことができません。電子物性工学講座では、エレクトロニクスを支える電子材料を広範に扱った研究・開発に取り組んでいます。

分子素材工学科

分子素材工学とは、化学の観点から有用で新しい機能をもった物質を研究・開発して科学技術を発展させ、社会に貢献する分野です。これによって、エネルギー変換技術の確立、環境問題の解決、バイオテクノロジーや医薬開発による医療分野の発展、新材料による情報通信の高速・大容量化などを実現します。本学科では、こうした社会で大きな期待が寄せられている分野で活躍するための、知識と実践力を身につけることができます。

学びの特色

化学関連分野の基礎的・系統的な教育

1-2年次では分析化学、有機化学、無機化学、物理化学、生物化学の5つの基礎教科を学び、更により専門的な化学関連教科を系統的かつ総合的に網羅し学びます。講義で修得した専門知識に基づいて2-3年次では化学実験を行い、実験技術および実験結果の解析法を学びます。卒業年次(4年)には研究室に配属され、最先端の実験研究を行います。卒業後は研究者・技術者として化学関連分野において創造的な活動に従事し活躍できる力が身につきます。

国内外の関連学会での活発な研究発表

卒業年次(4年)および卒業後に進学できる大学院工学研究科(博士前期課程)分子素材専攻では教育活動と並んで、研究活動も盛んです。学生は化学関連分野において、より専門的な視野に立った研究能力を身につけるため、分析化学、有機化学、高分子化学、無機材料化学、物理化学、電気化学、生化学、環境化学などの国内・国外での関連学会に積極的に参加し研究成果を発表します。

■ 分子設計化学講座

新規モノマーおよび重合反応の研究を基に機能性高分子材料を創製する高分子設計化学研究室、環境に優しい反応手法を開発してファインケミカルズを合成する有機精密化学研究室、有機活性分子の特性解明を通じて有用な機能材料を開発する有機機能化学研究室、量子化学計算により化合物の物性および化学反応をシミュレーションして予測する計算化学研究室から構成されています。

■ 生物機能工学講座

機能性セラミックスとその電気化学的応用を研究するエネルギー変換化学研究室、ナノカーボンや関連複合ナノ物質の形成および応用研究を行うレーザー光化学研究室、超微量の金属元素や有機物質の計測技術、サステイナブルな環境を指向した環境負荷低減化技術を開発する分析環境化学研究室、DNA・タンパク質・脂質などの生物化学を基盤としてメディカル・ライフサイエンスに有益なものづくりをめざす分子生物工学研究室から構成されています。

■ 素材化学講座

高分子・界面活性剤・液晶などのソフトマテリアルを混合した複雑系材料の製造と構造解析、新機能の開発を研究する有機素材化学研究室、環境に配慮した触媒、非線形光学材料、エコガラスなどの新規な無機素材物質の製造、物性評価、機能創生を研究する無機素材化学研究室、細胞や組織の画像および分子生物学的情報を統合した解析を用いて、生体組織が再生・修復する機構を研究する生体材料化学研究室から構成されています。

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

電気電子工学基礎実験

電気電子工学分野を専門に扱う技術者にとって、各種計測機器を駆使した実験、実験データの適切な整理・分析、そして第三者への適切な情報伝達は大切な素養となります。「電気電子工学基礎実験」では、基本的な電子回路の動作確認などの基礎実験を通し、電気諸量の基本的な測定原理・手法を習得します。さらに実験レポートの作成を通して、技術報告書の書き方を体得します。



STRONG POINTS

電気電子工学科のここに注目！

世界に一つだけの分析装置開発

量子エレクトロニクス研究室では、ナノテクノロジーを支える物性計測技術の高性能化を目的に、高輝度量子(電子、イオン、X線、etc.)ビーム源の開発を行っています。量子ビーム源を普段の生活で目にすることはまれですが、様々な工業製品の品質保証や高性能化に必要不可欠です。開発した量子ビーム源の性能を評価するためのユニークな評価装置開発を通じて、ものづくりの楽しさや喜びを体感できます。



特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

化学基礎

1年生は、11研究室のグループに分かれ、各教員と密着した少人数によるPBL教育により化学に関する基礎知識を学習します。口頭発表のための資料作成、実際の発表と討論を通して、主体的学習のモチベーションを維持し、向上させることができます。また、各研究室での指導により、大学教育環境へスムーズに適応することをサポートします。



STRONG POINTS

分子素材工学科のここに注目！

新薬や新たな機能性化合物の創製

有機精密化学研究室では、人に優しいファインケミカルズの次代を見つめ、新薬や新たな機能性化合物の創製を促進させる、環境に優しい合成法や有機化合物の開発に取り組んでいます。

新しい無機素材物質の創製を目指して

無機素材化学研究室では、新規な無機素材物質の製造、物性評価、機能創成を研究しており、環境に配慮した触媒、非線形光学材料、エコガラスの開発に成功しています。

建築学科

二十世紀の成長する都市の時代から二十一世紀の成熟社会の時代へ。人口減少、超高齢社会、大規模災害、地球温暖化などの諸問題に対応した新しい建築像・発想が求められています。建築学科では、建築スケールから都市スケールに至る生活空間を取り上げ、建築の設計に必要な専門知識、建築設計図面や建築模型の製作技術などの習得を目指します。

学びの特色

実習を通じて学びます

歴史的建築物や伝統的な町並みが残る地域でのフィールドワークを通じて、環境と共生する新しい建築の可能性について学びます。

幅広い分野を総合的に解釈し、自分の作品をつくりながら学びます

建築は幅広い知識が必要とされる学問です。そのため、歴史、文化、芸術、都市、環境、構造など様々な分野について学びます。建築学科で学んだこれらの知識は、すべて自らの建築作品を設計するための基礎となります。戸建住宅、ギャラリー、図書館、小学校、集合住宅、複合ビル・・・多様な作品を設計することで確かな知識と技術を身につけていきます。

建築計画系

各種建築物の機能およびそのマネジメント手法、都市ならびに地域の計画や景観保全、私たちが受け継いでいる歴史文化、さらに建築形態を構想する際の思考技術など、建築物のデザイン・計画のための多彩な研究が行われています。自ら設計した作品について、学外に



てプレゼンテーションする機会も設けられています。

建築環境設備系

環境設備デザイン講座では、建築内空間のみならずその周辺環境下での熱・空気・音・光環境を適切に制御し、人間・建築空間および地球環境にとって、より望ましい環境を実現するための研究を行っています。



密集市街地街路から見た天空

建築構造系

建築物の構造設計法、建築材料の品質・耐久性評価、建築生産などに関する教育を担当しています。研究テーマとしては、鋼・鉄筋コンクリート・木の各種構造の耐震性能および材料特性に関する研究や、地震などの自然災害に対する地域防災に関する研究などを行っています。



情報工学科

情報工学科は、情報化が進展する社会の中で、情報技術分野での有能で即戦力となる人材を育成するとともに情報工学の進歩に貢献することを目的としています。カリキュラムには、情報を扱うための基礎理論をはじめ、コンピュータの仕組み、コンピュータを用いた情報処理技術を学ぶ授業科目があり、専門的な知識を身につけるとともに、論理的な思考力とコミュニケーション能力を養うことができます。

学びの特色

資格試験にも対応した「標準」カリキュラム

ICT (Information and Communication Technology) が広く普及した今日の社会で、ICT技術者が活躍するステージはますます広がっています。このためハードウェア・ソフトウェア・通信事業・インターネット・自動車など様々な分野で多数のICT技術者が必要とされています。情報工学科では卒業生がICT技術者としてどんな分野にもスムーズに入っていけるよう、情報工学の基盤となる能力の形成に必要な十分な情報処理学会推奨の「標準」カリキュラムによる教育を推し進めています。

また、このカリキュラムはICT技術者の技能レベル国家資格である「情報処理技術者試験」にも対応しており、多くの学生が卒業までに「基本情報技術者」や、その上位の資格(応用情報技術者、データベーススペシャリスト 他)を取得しています。

応用力の身につく実習・演習の充実

情報工学科のカリキュラムの特徴は充実した実習、演習科目の存在です。もちろん講義で様々な理論や原理を学ぶことは非常に重要ですが、原理を知っているだけでそれを活用できないのではエンジニアとしての活躍は望めません。そこで、情報工学科では、プログラミングやプロセッサ設計など実務に近い実習・演習を充実させて、応用力の養成に力を注いでいます。また、これら実習、演習には先輩(大学院生)がティーチングアシスタント(TA)として多数参加しています。受講生は、身近な存在である先輩TAからフレンドリーな指導とサポートが受けられます。

コンピュータサイエンス講座

コンピュータサイエンス講座は、コンピュータソフトウェア、コンピュータネットワーク、コンピュータアーキテクチャの3研究室から構成されています。情報処理に必要な不可欠なアルゴリズムやプログラミングシステムの開発、情報伝達のためのネットワークの構築、それらを支える先進的なハードウェアの設計といった研究を行っています。

智能工学講座

智能工学講座は、パターン情報処理、人間情報、ヒューマン・インタフェースの3研究室から構成されています。認知、行動・ジェスチャ、音声言語といった人と関わりの深い情報を各種センサーにより観測し統合処理することで、安全で豊かな生活を実現するための研究を行っています。



特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

建築企画設計

4年間の学習の集大成として、学生自らが敷地や用途を設定し、それに相応しい建築を設計し、図面や模型にして表現します。建築学科では毎年、市民に公開する展覧会でその成果を発表しています。



卒計展(三重県総合文化センターにて)

STRONG POINTS

建築学科のここに注目!

コンペ(建築設計競技)への取り組み

建築のアイデアを全国の建築系学生が競う各種のコンペでは、例年、上位入賞する学生を輩出しています。



防災の取り組み

地方自治体と連携して、地域の防災力を高める「美し国おこし・三重さきもり塾」および「三重大学地域圏防災・減災研究センター」の活動にも建築学科の教員が参加しています。

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

情報工学概論(1年生・前期)

この授業では4人のチームで、「マイコン」と呼ばれる小型コンピュータで動作するプログラムを作成します。どのようなプログラムをどうやって作るかはそれぞれのチームが自分たちで自由に決定します。コンピュータの動作原理を理解するのはもちろん、ものづくりの大変さと面白さを体験し、ものづくりにおけるチームの重要性、チームに貢献できる姿勢とスキルを学びます。



STRONG POINTS

情報工学科のここに注目!

見えないところからも社会を便利にする三重大学の低電力技術

携帯電話や携帯ゲーム機が1回の充電でもっと長い時間使えたら、と思ったことはありませんか? 我々の研究室では、アプリ起動中やゲーム中には高い性能を発揮し、待ち受けやポーズ状態など、性能があまり必要でない時にはハードウェアを変化させることで無駄な電力消費を抑制する新しいCPU(中央演算処理装置:コンピュータの脳)の研究開発を行っています。



物理工学科

技術立国日本が世界に誇る産業分野はいくつもありますが、自動車や航空機、ロボットなど多くの業界において、機械工学と電気電子工学の両方に通じた技術者が求められています。物理工学科のカリキュラムには量子力学、物性物理学などの物理学科目とともに、機械設計、材料力学などの機械工学科目、電気回路、電子回路などの電気電子工学科目がバランスよく組み込まれていますので、機械工学、電気電子工学両方の専門性を身に付ける事ができます。

学びの特色

物理学、機械工学、電気電子工学、そしてナノテクノロジーを学びます

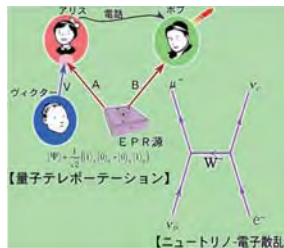
ナノテクノロジーとは1ナノメートル、つまり原子・分子レベルで構造を制御してナノメートルサイズのシステムを作製する技術のことで、現在では半導体に代表される電子デバイスや情報通信、化学、バイオの分野でも活用されるようになってきています。物理工学科では最先端のナノテクノロジーまで、数学・物理学の基礎を学び、それに基づいて電気電子工学や機械工学を無理なく習得できるカリキュラムが組まれています。

ものづくりの大切さを体得するカリキュラム

物理工学科では、ものづくりの大切さを、体験を通して認識していただくため、新入生対象の講義「物理工学セミナー」にロボット製作実習を取り入れています。2年時からは機械設計や回路設計といった、ものづくりの体系的な知識を学びます。さらに機電工学実験を通じて、実践的な知識を体得することができます。

量子工学講座

非平衡統計力学、複雑系科学、量子情報熱力学、素粒子論、超伝導、ソフトマターなど分野を含む理論物理学の多様な問題の研究を展開しています。また、単一電子トランジスタのナノデバイスや液晶などへの応用研究も行っています。



ナノ工学講座

世界に先駆けたナノマテリアルデザイン計算法の開発、センシング技術、通信技術、各種磁性材料、ナノマイクロ計測加工などの研究を行っています。半導体・磁性体を使った新しい機能性材料創成のための計算機シミュレーション、微小な音や信号に対する各種センシング技術の開発、ハードディスクおよび磁性微粒子の研究、バイオ・ナノ加工および分子機械としての潤滑油の研究などを行っています。



特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

物理工学セミナー (ロボット製作実習)

新入生対象の授業「物理工学セミナー」では、ロボットの製作実習で、実際に「モノづくり」を体験します。



STRONG POINTS

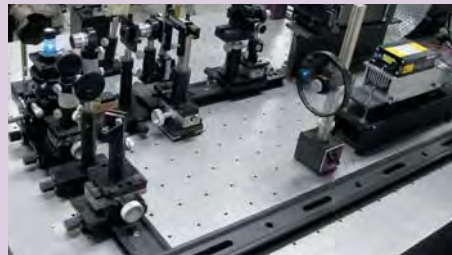
物理工学科のここに注目！

基礎から応用まで



音声波形分析装置
(ダミーヘッド音声収録装置と
コンピュータ波形収集システム)

研究室で試作されたバイノーラル録音用ダミーヘッドです。これを用いて部屋の音響特性を測定したり、様々な機械音の感性評価を行ったりしています。



潤滑油の機械性能評価のための固体レーザー光散乱光子相関装置

潤滑油は人間の血液と同様機械に不可欠で、ナノスケールの分子機械と考えられ、ダイヤモンドを使った超高压装置や写真の固体レーザー光散乱光子相関装置など独自の物理計測技術を駆使して、新開発潤滑剤の超高压極限状態のレオロジー(変形流動)特性を評価しています。

将来のVISION ～工学部で目指す主な進路～

進学・就職状況／過去2年間の卒業生の進路 (学部卒及び大学院卒)

学部卒業後に、すぐに就職し技術者として活躍するか、さらに大学院(修士課程)で2年間知見を深めた後に就職するかを、選択することになります。多くの企業では修士採用に重点を置くようになり、近年では5～6割の学生が大学院へ進学します。学部卒、修士卒のどちらも、就職希望者は毎年、ほぼ100%就職しています。大学院の博士前期課程(修士)修了後、博士後期課程(博士)に進学すれば、研究所等での基礎研究や大学教員への可能性も開けます。

また、工学部では、各学科での勉学内容が異なるため、就職先も学科ごとに異なる場合が多くあります。詳しい就職状況は、別冊子『工学部案内』を参照して下さい。

【機械工学科】
アイシン・エイ・ダブリュ、アイシン精機、豊田自動織機、トヨタ紡織、スズキ、日本特殊陶業、住友電装、パナソニックエコシステムズ、大同特殊鋼、地方公務員
【電気電子工学科】
トーエネック、中部電力、JR東海、住友電装、三菱ビルテクノサービス、アイシンAW、JR西日本、豊田自動織機、トヨタ紡織、スズキ、三菱電機エンジニアリング、地方公務員
【分子素材工学科】
アイシン・エイ・ダブリュ、参天製薬、JSR、スズキ、住友電装、ダイセル、デンソー、東海ゴム工業、東洋ゴム工業、豊田自動織機、トヨタ紡織、フタバ産業、ユニチカ、地方公務員
【建築学科】
NTTファシリティーズ、久米設計、大林組、鹿島建設、三機工業、清水建設、

積水ハウス、大建設、大成建設、大和ハウス工業、高砂熱学工業、竹中工務店、東畑建築事務所、日本設計、安井建築設計事務所

【情報工学科】
トヨタ自動車、デンソー、富士機械製造、トヨタコミュニケーションシステム、日立システムズ、住友電工情報システム、富士通関西中部ネットテック、三菱電機情報ネットワーク

【物理工学科】
アイシン・エイ・ダブリュ、アスモ、アドヴィックス、シンフォニアテクノロジー、スズキ、住友電装、大同特殊鋼、デンソーテクノ、日立製作所、地方公務員

【大学院進学】(6学科分を、まとめて記載)
三重大学大学院、京都大学大学院、大阪大学大学院、東京工業大学大学院、筑波大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学 など

大学院で学ぶ

高校卒業後の4年間での勉強は、授業を受けることが中心です。しかし、学部4年間を終え修士課程への進学後、すなわち大学院では、教授の指導や学生自らの希望により研究テーマを決め、自ら実験や調査、思考などを繰り返して新しい発見をし、学会で発表するという研究活動が日々の中心となります。工学研究科(工学部の大学院)では、修士課程2年間の間に、9割以上の学生が国内学会で発表し、また、大きな研究成果が得られた場合には、国際会議において英語による発表も行っています。

大学院工学研究科

博士前期課程(修士課程・2年間)

機械工学専攻

建築学専攻

電気電子工学専攻

情報工学専攻

分子素材工学専攻

物理工学専攻

博士後期課程(博士課程・3年間)

博士前期課程(修士課程)修了後に、3年間学びます。

材料科学専攻

分子素材工学、機械工学、電気電子工学、建築学、物理工学専攻修了者向

システム工学専攻

情報工学、機械工学、電気電子工学、建築学、物理工学専攻修了者向

出来たときの達成感！

工学部では、学年が上がるにつれ専門科目が増えていきます。最初は、C言語やJavaといったプログラミング言語を理解することも出来ませんでした。段々と理解出来るようになり、やがて自分でプログラムを作れるようになりました。思い通りの動作をした時には達成感を得ることが出来ます。

情報工学科では、学科の学生のみが使えるPC室もあり、勉強したい時自由に使えます。このような環境の中、多くのことが出来るようになったことを実感し、苦労もありますが、とてもやりがいを感じながら勉強しています。



情報工学科 4年 清水 映里 さん

VOICE

学生からの
メッセージ

様々な知見を広める学生生活

三重大大学では工学系、理学系のみならず経済、哲学、心理学等、様々な分野の知見を広めることができます。学びたいと思えば大体のことは学ぶことができるのか総合大学の強みです。

また広まった知見は自分の進路及び卒業研究のテーマに大きく影響します。

建築に興味があつて入ったが折り紙に潜む数理に興味に移ったり、物理学を勉強する一方で経済に興味を持って経済物理学を研究テーマにしたりと、人それぞれです。私も素粒子か半導体の研究をやろうとここに来ましたが、今では量子コンピュータの実現の基礎として10nm～ μm 程度のナノスケールの物理学に興味を持っています。

このように波瀾万丈にみえる学生生活も、学業に真摯に取り組めば何とかなるものです。そうなれば楽しい学生生活が待っています。



物理工学専攻 1年 岡田 大輝 さん

21世紀の食・環境・バイオを担う
人材を育てます

アドミッション・ポリシー

このような人を求めます

- ◎自然を愛し、生物資源の適正な開発・利用と保全に関心のある人。
- ◎自然科学に関心を持ち、その基礎的学力のある人。
- ◎自ら行動し、生物資源に関する問題の解決能力を身につける意欲のある人。
- ◎幅広い学力と、基礎的な語学能力を持ち、さらに国際的に通用する基礎能力およびコミュニケーション力を身につける意欲のある人。

このような人を育てます

生物資源学部は、地域に根ざしたグローバルな視点に立ち、自然との共存を図り、生物資源の適正な開発・利用と保全を追求するための基礎的・応用的な科学技術に関する教育・研究成果を生み出すことを目指しています。

そのために、生物資源に関連のある生物学、化学、物理学、社会科学、情報科学など幅広い講義や実験・実習を通し、独創性と専門性を兼ね備え、広い視野を持ち、自らの力で問題解決ができる知識と能力を身につけ、国際的にも活躍できる人材の育成を目標にしています。

今、生物資源学部は、地域自治体、企業、経済界など、各界からあらためて注目されてきています。地域社会の美しい自然や風土を大切に、食糧生産、生態環境の保全、生物資源の利用など、地域社会を支える基盤産業の発展を担い、グローバル社会や長寿高齢社会における新たな課題を解決できる人材育成の実績を有し、将来においても大きく期待されているからです。生物資源の利用は人類の基本の営みであり、原点重視に対する私たち姿勢が問われています。

生物資源学部において最新の科学技術を学修し、その成果を広い視野、思考力、人的ネットワークへと結びつけて、社会が抱える課題、難題を解決する力を身につけてください。1)優れた学術性と独創性、2)冷静な判断力、柔軟な発想力、根気強い思考力、3)卓越したコミュニケーション(プロフェス)力、4)積極的、指導的な実行力、5)礼節、忠義、規範を重んずる高い精神性、6)社会の希望と活力となることを使命とする高い志を磨き、地域社会や国際社会に役立つことをめざして行きましょう。

「資源循環学科」、「共生環境学科」、「生物圏生命科学科」の3学科の魅力あふれるカリキュラムや、フィールドサイエンスセンター、練習船「勢水丸」での実践学習を通じて、「全体知」、「考えし尽くす」強い体力と意志を養って、皆さんの大きな可能性を育てませんか？教職員一同は、皆さんと一緒に成長することを喜びにしています。たくさんの学生諸君が入学希望されることを期待しています。

生物資源学部は、平成27年度に改組を予定しています(申請中)。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している内容が変更となる可能性があります。詳細については、学部ホームページ(www.bio.mie-u.ac.jp)をご確認ください。

生物資源学部長
後藤 正和

資源循環学科

人類は光合成によって植物が蓄積した太陽エネルギーを食物連鎖のかたちで取り込み、生命活動を続けています。この活動に利用できる生物体を私たちは生物資源と呼んでいます。この生物資源を効率よく循環的に利用する方法を教育・研究するのが、「資源循環学科」です。

学びの特色

多面的な資質・能力を育むきめ細やかな教育

教育の特徴は、幅広い専門科目を「資源循環」をキーワードに関連づけつつ、専門の異なる教員が協力しながら取り組む点です。入学から卒業までの継続的な英語教育や情報教育も重視しています。たとえば、3年生のScienceEnglishの授業では、5〜6名ずつの少人数クラスを延べ20名近くの教員が担当し、アメリカの小中学校のScienceの教科書を読みながら、英語によるプレゼンテーションの練習などを行います。

物質循環学講座

循環型社会の実現には、太陽エネルギーを駆動力とする物質の循環と生態系の機能を理解し、循環するエネルギーや物質を有効に利用することが必要です。このような物質循環と生物資源の有効利用について、大きな規模の生態系から個体レベル、さらに微生物からDNAレベルまでのミクロなスケール、また生物、化学、物理的な様々な側面から、幅広く学びます。そして、人間と他の生物が共存できる持続可能な社会の構築について考えます。

循環生物工学講座

食品やバイオマスなどの生物資源を生物工学的手法(バイオテクノロジー)を用いて解析し、利用することを目指している研究室が集まっています。生物資源の持つ情報と機能を分子・遺伝子・細胞・個体・集団のレベルで効果的に引き出すことで、食品や生物資源の持続的生産が可能になります。この「生物の情報と機能」を私たちの生産活動に生かすためのバイオテクノロジーの知識と技術について学ぶことができます。

循環社会システム学講座

農産物、水産物などの食料資源の持続的利用を目指した生産・流通・消費などのフードシステムのあり方、ますます深刻化する食料問題、食品の安全性問題、生産と生活の場たる地域、流域・沿岸海域などの環境保全問題に関して、食料・農業経済学、農業経営学、水産経済学、環境政策学などの社会科学の分野から教育・研究を行っています。

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

循環社会システム学講座
社会科学チュートリアル

社会科学的思考の基礎の学習、農業・農村の現場での実習、グループワークによる問題解決案の策定と現場との意見交換、レポート作成を通じて、循環型社会の構築に向けた問題解決型学習を行います。

具体的には、野菜の生産・出荷作業、地物を使用した加工・調理実習、農産物を用いた新たな商品開発提案などに取り組んでいます。



STRONG POINTS

資源循環学科のここに注目！

食料安全保障強化に向けた
国際研究プロジェクト

江原 宏 教授 生態環境学研究室

世界人口の増加、食料不足、気候変動、地下資源の減少といった問題が深刻化するなかで、いかに食料安全保障の強化を図るのか、極めて重要な課題です。私達の研究グループでは東南アジアや南太平洋に自生するサゴヤシという植物に注目しています。海水が混じる水でも育ち、やせ地や酸性土壌にも適応するこの植物は、幹に約300kgもの澱粉を蓄積することができます。

三重大学では、サゴヤシがどのようにして塩害土壌や酸性土壌に適応しているか、そのメカニズムの解明に取り組むとともに、フィールドでの生育追跡調査を通じて、安定的栽培管理技術の開発に当たっています。また、澱粉を抽出した後の残さから糖をつくり、それをさらにエタノールに変換したりする技術の開発や技術の現地化、さらには、そのような新技術が社会に与えるインパクトの推定に取り組んでいます。



共生環境学科

自然と共存できる環境の保全・修復の理論と技術開発をめざした教育研究活動を行っています。環境に配慮した新素材やエネルギー問題、国土デザインや防災など、自然と調和した地球環境を考える研究をしています。

学びの特色

科学的思考に基づく環境教育プログラム

環境の現状を知り、その人間との関わりを正しく把握するためには、概念的な理解では不十分です。観察や実験を通じて得られるデータを定量化した上で、既存の知見との比較検討および考察が必要となります。当学科のカリキュラムでは、卒業時までにはこのような科学的思考力が身につく、社会で応用できるよう配慮して構成しています。

■ 地域保全工学講座

食料生産基盤の創造に直接関わるとともに、メダカが棲む水路や素晴らしい景色の田畑など、日本の原風景を創り・守ることに手助けしている教育研究分野で、人と自然との「共生と調和」を考え、美しく豊かで安全な住みやすい地域を築くための教育研究を行っています。

■ 環境情報システム工学講座

「創造力」をキーワードとして学生の教育、および研究の促進を行っています。当講座において教育・研究の対象となるものは、生物・環境を含め多種多様で、なにか一つのものに限定されることはありません。その代わり新しく、価値のあるものを創り出すこと、すなわち無駄が無く、環境に負荷を与えない最先端の技術やシステムを創り出すことを目指して教育・研究を行っています。

生物圏生命科学科

地球上に原始生命が誕生してから、38億年が過ぎました。その後の長い年月を経て、現在私たちが目にする生物に進化しました。本学科では、これらの海や陸の生物について生命科学と生命工学の基礎と、分子・細胞・個体・生物群集の特徴を研究し、生物生産や生物資源の有効利用に役立てる技術を習得します。

学びの特色

社会的、国際的ニーズを意識した教育

本学科では、学習・教育目標の「多面的な思考能力と素養」、「技術者倫理」、「基礎および専門の知識とその応用能力」、「問題解決のデザイン能力」、「コミュニケーション能力」、「自主的継続的学習能力」および「制約下での仕事の推進・統括能力」と授業科目の関係をシラバスに明示し、これらが身につくようにカリキュラムを充実させています。各専門科目はもちろん、科学技術倫理や科学英語科目を充実させ、社会人として国内外で活躍することを意識した、レベルの高い教育体制を整えています。

■ 生命機能科学講座

分子細胞生物学・分子生物情報学・生理活性化学・生物機能化学・食品機能化学の5つの分野(研究室)があり、生命現象の仕組みや、それに関連する鍵となる物質の構造と働きなどを、分子・遺伝子・細胞・個体のレベルで明らかにし、その成果を、新しい機能をもつ分子の開発や、種々の生命現象の調節、機能性食品・医薬品・化粧品などに応用して、私たちの快適な生活・健康維持・疾病予防などに役立てる科学を学びます。

■ 海洋生物科学講座

遺伝子から生物群集、生態系までさまざまなスケールで海洋生物を探索する科学—マリンバイオサイエンス—を学びます。対象となる生物もバクテリアからプランクトン、藻類、底生生物、魚類まで非常に広範囲にわたっています。さらに、海洋生物を調べることで、生命現象を明らかにし、環境・生態系を保全していくとともに、人々の暮らしが豊かになることを願って研究を行っています。

■ 陸圏生物生産学講座

人類にとって、農業による食料生産は必要不可欠な営みです。また、安全でおいしい食品の供給や地球環境の保護においても、農業が重要な役割を担っていることはいうまでもありません。私たちの講座では、食料生産の向上と安定を目指した農学の考え方を出発点として、そこから新たに発展した生物科学を様々な視点から追究し、世界的な食料問題の解決や緑豊かな環境の維持に役立つように教育・研究を行っています。

■ 水圏生物生産学講座

海、川、湖などの水圏は、生物にさまざまな環境を提供し、生物はそのなかで多様な生活をしています。水圏生物生産学講座では、魚類、無脊椎動物、海藻、プランクトンなど水圏に生息する生物を、その生物多様性や生態系に配慮しながら、持続的に維持・生産する技術を開発し、食料、医薬用、工業用資源として利用するために、生理・生態・病理・行動・生化学・遺伝子・バイオテクノロジーなどの面から研究・教育します。

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

学科共通科目 環境情報学

社会で求められる力である、情報を積極的に、効率的に、正確に「収集・整理・分析」し、学術的に、正確に、分かりやすく、魅力的に「表現」するスキルを身につけることを目指します。特に、毎週テーマが変わり、1週間の活動成果を仲間に発表することが求められるプレゼンテーション課題の「1分間プレゼンテーション」を半年間やり切ることで、基本的な情報処理能力、さらにはタイムマネジメント、仕事完遂力、コミュニケーション力などのヒューマンスキルを向上させることができます。



STRONG POINTS

共生環境学科のここに注目！

最先端の気象・気候力学 —異常気象や気候変動の解明に挑む—

立花 義裕 教授 地球環境気候学研究室

2011年に紀伊半島に大災害をもたらした台風12号。温暖化時代の台風はどうなるのでしょうか？ 最近の冬は「寒冬」が多く、今年は関東で大雪となりました。どうして寒い冬が続くのでしょうか？ 実は、異常気象の「なぜ？」に対する完全な答えを人類はまだ得ていないのです。

当研究室では、バルーンに取り付けた気象観測装置を上空に飛ばして上空の気流の流れや気温湿度を観測し、気象現象の解明を目指しています。一方では高速な計算機を駆使して地球全体の大気の流れや気温の変化のシミュレーションや解析もおこなっております。日本を含むアジア地域の気象はもとより、北極や南極の海水と気象、アフリカの干ばつなど、地球規模での気象・気候研究を行っています。



特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

生命機能科学講座 生物有機化学

有機化学反応を電子移動の矢印で書く勉強法で酵素反応を解説する講義。1つ1つの矢印の理由を知ると、酵素のすばらしさ・生物の不思議さが判ると思うものです。独自の講義資料が充実、ペン型マウスで投影画面に書き込んで説明、授業の要点を説明した動画がMoodleで配信されるなど、学生満足度の高い、手作り型マルチメディア授業です。



STRONG POINTS

生物圏生命科学科のここに注目！

練習船 勢水丸～洋上の動く実験・研究室～

「勢水丸」は、本格的な調査・観測を行うことができる、東海地方では唯一の練習船です。

実習・調査海域は、伊勢湾・三河湾などの内湾域から、沿岸域の熊野灘・遠州灘、また、黒潮流域や東シナ海、南西諸島、小笠原諸島の外洋に至るまで幅広く、その観測内容も多岐にわたっています。

また、2010年度からは文部科学省により教育関係共同利用拠点に指定され、全国の大学にむけてその実習航海を公開しています。



将来のVISION ～生物資源学部で目指す主な進路～

進学・就職状況／過去2年間の卒業生の進路

【資源循環学科】

国税庁、三重県、愛知県、鈴鹿市、名古屋市、岡崎市、三重大学、JA愛知中央会、JA三重中央会、JA全農岐阜、JF三重漁連、タキイ種苗、わかば農園、クラギ、辻製油、日本サングリアビバレッジカンパニー、山崎製パン、太陽化学、丸美屋食品工業、日本食品分析センター、アース環境サービス、イオンリテール、JR西日本、第三銀行、損保ジャパン、他

【共生環境学科】

国土交通省、三重県、愛知県、岐阜県、大阪府、奈良県、静岡県、香川県、津市、四日市市、名古屋市、大津市、三重県公立学校、三重大学、JR東海、中日本航空、東京メトロ、JR東海建設、クボタ、サセキ東海、タカキタ、八神製作所、パロマ、CKD、デンソーITソリューションズ、豊通シスコム、ニッカホーム、一条工務店、大和ハウス工業、日本銀行、三重銀行、中日新聞社、他

【生物圏生命科学科】

三重県、愛知県、兵庫県、四日市市、松阪市、公立学校（三重県、大阪府、京都府）、三重県警察、三重大学、井村屋、敷島製パン、マस्या、アピ、名古屋製酪、フタムラ化学、ホーユー、辻製油、ミヨシ油脂、ゼリア新薬、明治製菓ファルマ、日本全薬工業、中北薬品、日本メナード化粧品、鳥羽水族館、青森県浅虫水族館、JF三重漁連、JA鈴鹿、サカタのタネ、伊藤忠飼料、三井住友海上保険、東海物産、他

【大学院進学】（3学科分を、まとめて記載）

三重大学大学院、京都大学大学院、名古屋大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、北海道大学大学院、東京海洋大学大学院、広島大学大学院、鹿児島大学大学院、沖縄科学技術大学院大学、University of Tasmania など

大学院で学ぶ

学部から大学院まで通すキャリア形成

生物資源学部を卒業する学生の30～40％は、大学院に進学して、さらに研究を続けています。卒業研究に取り組める時間は、長くても1年少ししかありません。より専門的な知識を習得しながら、問題点を探し、それを自分で解決するのは大学院でのひとつの醍醐味といえるでしょう。研究者を目指す人は、「博士号」を有していることが最近ではほぼ条件になっています。自分の進路選択のひとつとして、大学院という道も検討してみてください。

〈大学院入学者の出身校〉

三重大学、富山大学、愛媛大学、奈良教育大学、石川県立大学、福井県立大学、名城大学、近畿大学、東海大学、鈴鹿国際大学、京都外国語大学、スリウィジャヤ大学、バジャラン大学、ポゴール農科大学、アングラス大学、上海海洋大学、北京化工大学、吉林大学、天津師範大学、河南師範大学、バングラデシュ農科大学、東京大学大学院、名古屋大学大学院、千葉大学大学院、タマサート大学大学院、安徽農業大学大学院 など

大学生活は高校生活よりも自分の興味を活動に反映しやすい期間です

生物資源学部では学部名から連想される生物学だけでなく、物理学・化学・社会学・情報科学といった幅広い分野から農林水産資源の開発・利用・保全について学んでいます。そのため、自分が興味をもつ視点から資源について考えることができます。私が現在所属している「土壌圏循環学研究室」では、物理学の知識を用いて土壌中の水分・化学物質・熱の移動について研究を行っています。シミュレーティングソフトを用いて土中水分の移動を予測したり、実際に外に出て測定を行ったりしています。具体的には植物根の吸水、土の凍結による凍上、土壌浸食等が挙げられます。近年で言えば原発事故によって引き起こされた放射性物質による土壌汚染の問題、汚染水への対策として注目される凍土壁にも関連しています。

また、大学生活は専門的な研究を行うだけではありません。大学内には多彩な活動を行う部活・サークルが数多くあります。自分が魅力的に感じる活動に参加することで、今まで知らなかった体験をすることができたり、共感できる友人と出会えたりすることができます。大学生活には長い休みも存在します。友人との遊び、一人旅、ボランティア活動、サークル活動、免許合宿、リゾートバイト等できることはいくつもあります。

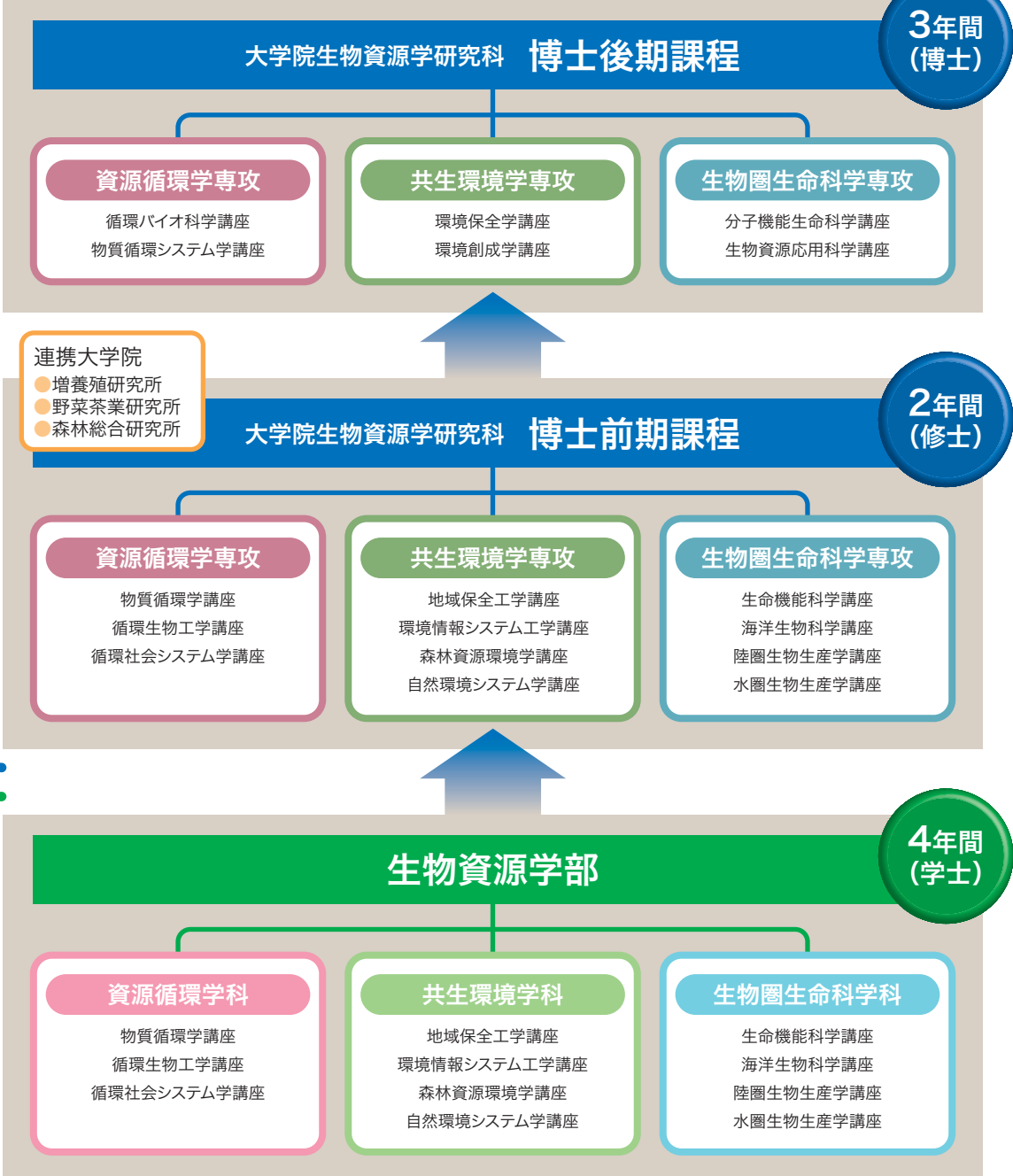
学生生活中に何を勉強し、ほかにどんな活動するかは自分次第です。自分のやりたいことに挑戦すればするほど道は広がっていきます。積極的に行動して有意義な大学生活を生物資源学部で送りましょう！



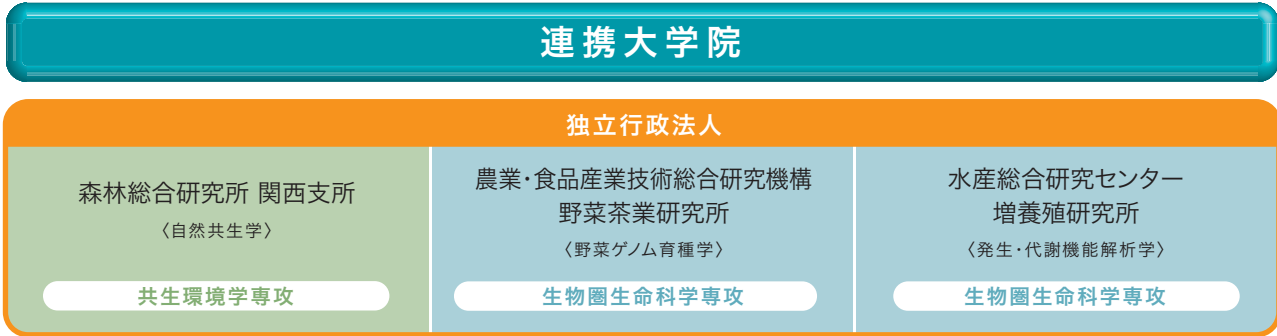
資源循環学科 4年 伴 俊和 さん

VOICE 学生からのメッセージ

大学院



学部



大学院 地域イノベーション学研究科

地域発のイノベーションを起こす人財になろう



アドミッション・ポリシー

このような人を求めます

- ◎地域の問題について自ら感じ(感じる力)、問題解決方法を考え(考える力)、社会を発展させる(生きる力)意欲のある人。
- ◎幅広い知識と語学能力を持ち、さらに国際的に通用する基礎的研究能力およびコミュニケーション力を修養する意欲のある人。
- ◎多面的な視野に立った研究シーズの発掘とプロジェクト・マネジメントに興味があり、新規事業を起業し、地域社会の発展と国際社会の協調に関心がある人。

このような人を育てます

博士前期課程

専門分野における研究開発を担当者として遂行できる能力(研究者としての能力)および研究開発プロジェクトを担当者として遂行できる能力(マネジメントに関する能力)を兼ね備えた人を育てます。

博士後期課程

自立した研究者として国際レベルの研究開発を責任者として遂行できる能力(研究者としての能力)および研究開発並びに研究開発を基にした新事業開拓(製品化)を責任者として遂行できる能力(マネジメントに関する能力)を兼ね備えた人を育てます。



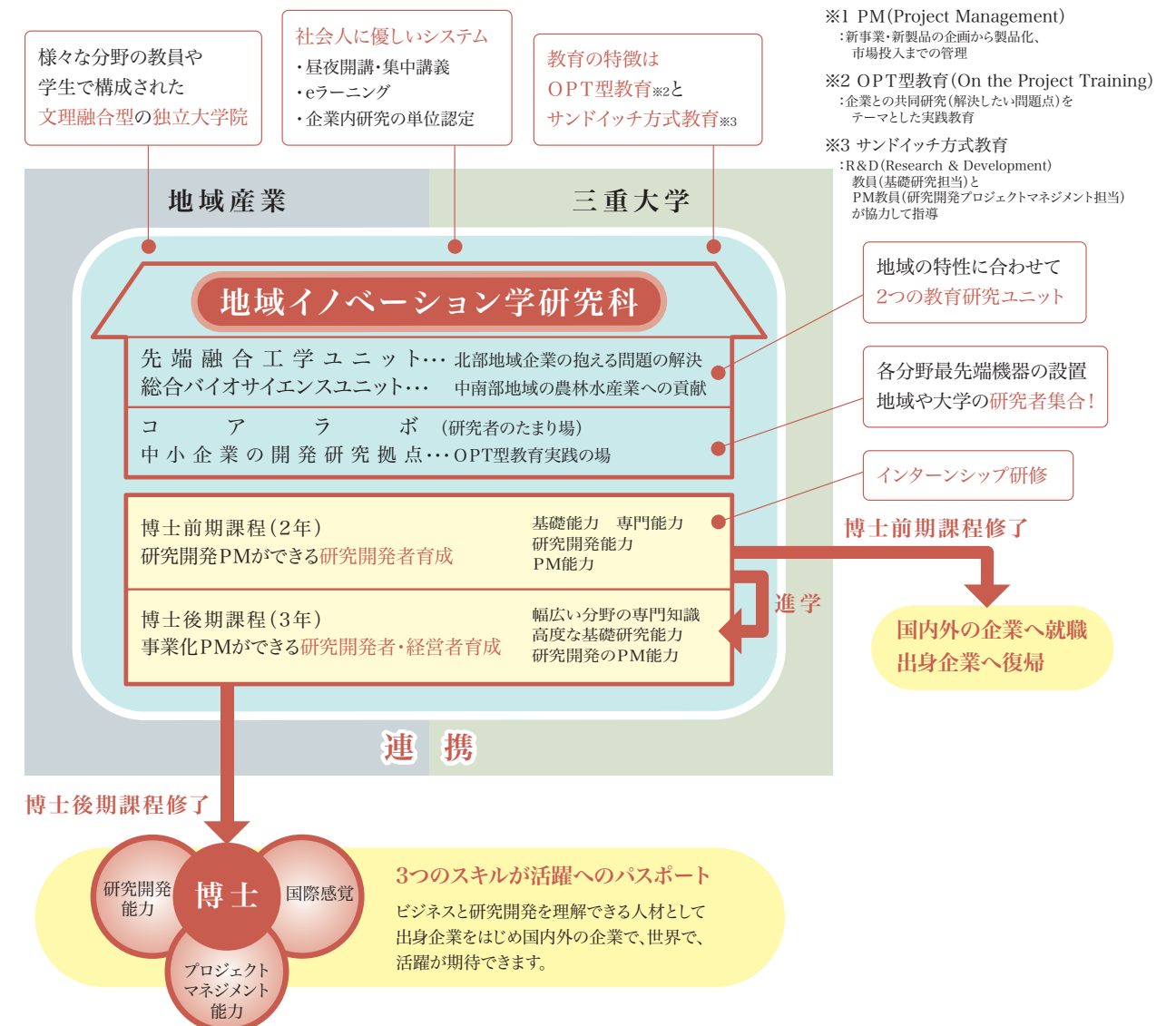
大学院地域イノベーション学研究科長 小林 一成

地域イノベーション学研究科は、最先端の高度な研究開発能力と共に、新事業・新製品の企画から製品化までを担当できる「プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材」を育成することを目的に、平成21年4月に設立された学部を持たない文理融合型の独立研究科です。本研究科では企業との共同研究プロジェクトを通して(「OPT(On the Project Training)型教育」)、研究開発能力の養成を担当するR&D(Research and Development)教員とプロジェクト・マネジメント能力の養成を担当するPM(Project Management)教員とによる「サンドイッチ方式教育」により実践的な教育を行う日本初の新しいタイプの大学院で、どの学部の卒業生でも入学できます。

2+3年間の学び

～どんな事を学ぶのか～

日本初!! 企業との共同研究を通して実践的に研究開発とPM※1(プロジェクトマネジメント)が同時に学べる大学院!



学びの特色

サンドイッチ方式教育

基礎研究能力の養成を担当する Research & Development (R&D) 教員とプロジェクト・マネジメント能力の養成を担当する Project Management (PM) 教員が協力して1人の学生を指導するサンドイッチ方式教育により、それぞれの専門分野で活躍する「プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材」を育成します。

OPT型教育

産業界で求められる実践的能力の養成のため、地域企業との共同研究プロジェクトを「特別研究」の題材として活用する「On the Project Training(OPT)型教育」を実施します。

研究科の目的・設置の背景

プロジェクト・マネジメント能力の養成と地域発イノベーションの誘発

21世紀型新産業社会のビジネス・フィールドでは、研究開発能力だけでなく、種々多様な情報を基に、新事業・新製品の企画から製品の市場への投入までを完結できるプロジェクト・マネジメント能力を持つ人材が求められています。地域イノベーション学研究科は、そのような社会のニーズに応えるために「プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材」の育成を目指し、国内外のグローバル企業に活躍の場をもつだけでなく、地域産業をリードし、地域発イノベーションを誘発できる人材として送り出すことを目指しています。

就職情報

万全のサポート体制で卒業後の進路選択をバックアップ

キャリア支援(就職支援)

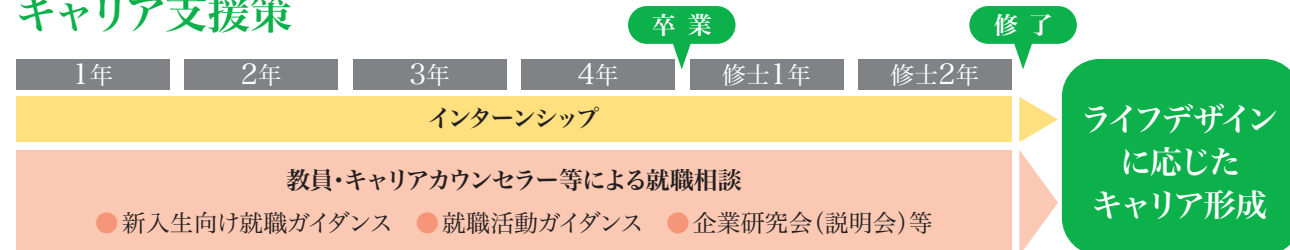
キャリア支援センター

学生が低学年から主体的に進路が選択できるよう、全学的な立場から、キャリア教育、インターンシップ及び就職支援等を推進することを目的としてキャリア支援センターが設置されています。

キャリア支援の
三本柱

- 1 キャリア教育
- 2 インターンシップ
- 3 就職支援

キャリア支援策



キャリア教育

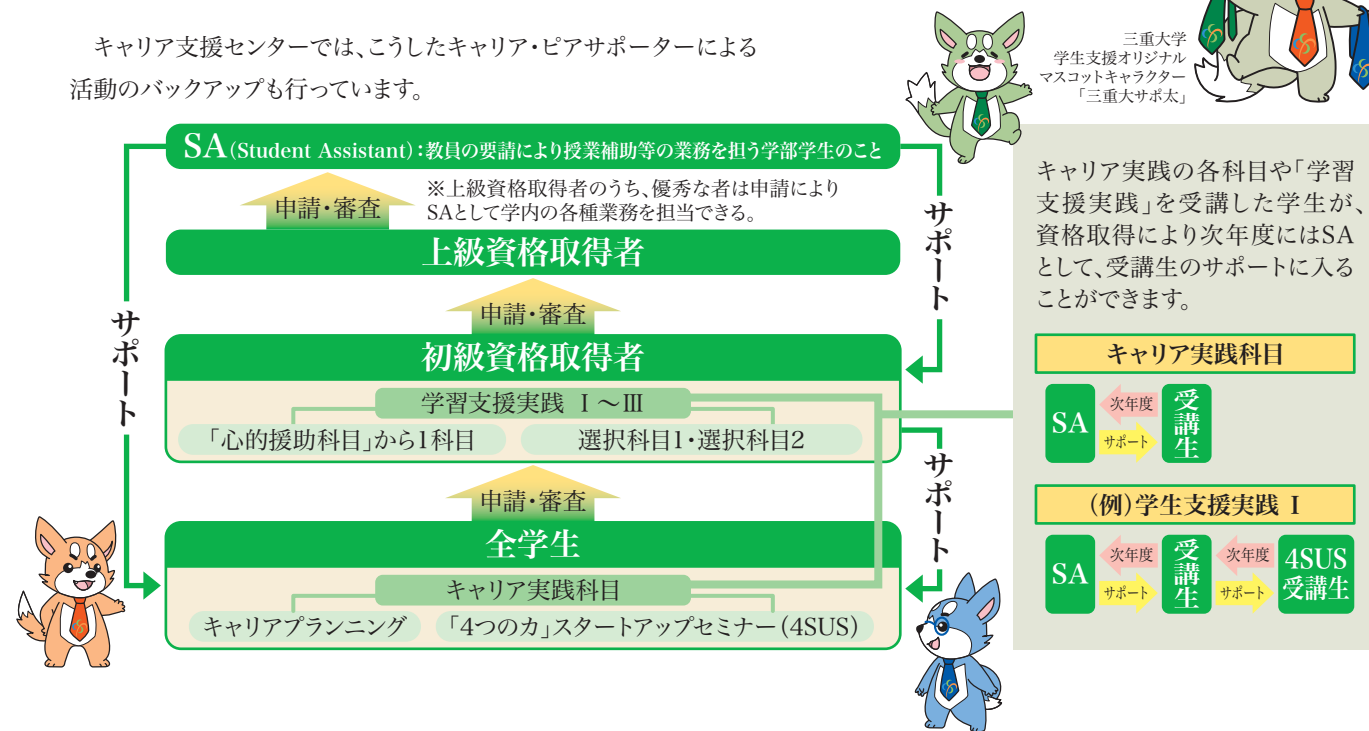
学生自らが人生の在り方を考え、それを将来の職業、そして生活へと結びつけていくことを可能にするために、学生のキャリア形成並びに修学を支援する授業科目を開講しています。平成26年度には30科目開講しています。

キャリア・ピアサポーター

キャリア・ピアサポーター資格を取得した学生(キャリア・ピアサポーター)が、次のような業務を通して、三重大学生の学生生活をサポートしています。

- 大学生活に関して学生同士で相談できる窓口を開設
- ／
- 学内の各種学生団体とのコラボレーション
- 学生同士の交流や大学活性化、キャリア支援を目的としたイベント開催
- ／
- 修学支援企画を実施

キャリア支援センターでは、こうしたキャリア・ピアサポーターによる活動のバックアップも行っています。



インターンシップ

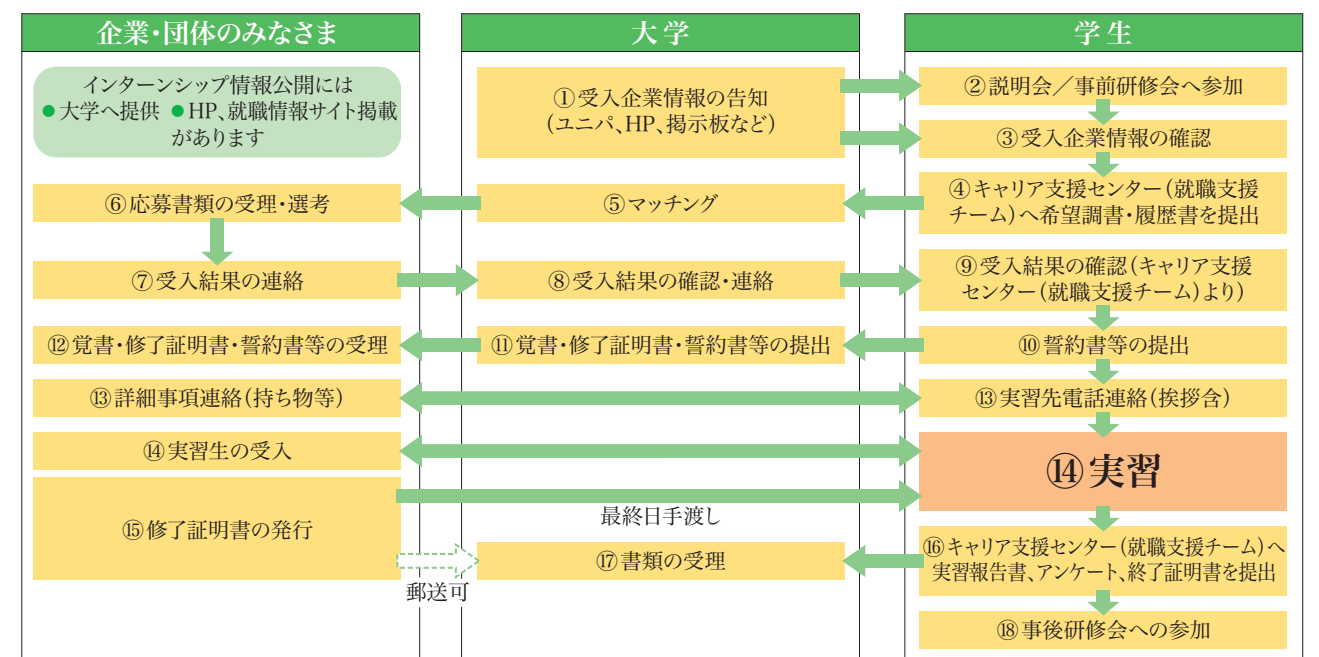
インターンシップとは、自らの興味・関心や将来の進路(キャリア)を考えるために、企業・団体などの場で実際の仕事を体験し、働くとはどんなことを体験する場です。

キャリア支援センターでは、キャリア教育の一環としてインターンシップを推進するため、説明会／事前研修会、事後研修会の開催および受入企業の開拓・マッチング等支援を行っています。

インターンシップのスケジュール

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	受入依頼	告知・事前研修会 募集	選考諸手続き		実習		事後研修会

インターンシップ実施の流れ



インターンシップ参加者数(平成25年度)

平成26年1月31日現在

所 属	学 部						大学院			合計
	1年	2年	3年	4年	研究生等	小計	修士	博士	小計	
人 文 学 部	4	10	38			52			0	52
教 育 学 部	6		30	1		37			0	37
医 学 部						0			0	0
工 学 部	1	1	44	8		54	30	1	31	85
生 物 資 源 学 部	19	15	39			73	11	1	12	85
地域イノベーション学研究科						0	12		12	12
国際交流(研究生等)					2	2			0	2
合 計	30	26	151	9	2	218	53	2	55	273

インターンシップ受入企業一覧(平成25年度)

アイシン高丘株式会社、愛知機械工業株式会社、朝日新聞社、一般財団法人食品分析開発センターSUNATEC、株式会社アドヴィックス、株式会社アルペン、株式会社伊賀の里モクモク手づくりファーム、株式会社第三銀行、株式会社東海テクノ四日市分析センター、株式会社トーエネック、株式会社トピア、株式会社光機械製作所、株式会社百五銀行、株式会社フローラ、株式会社マスヤ、株式会社三重銀行、株式会社ミルボン、全国農業協同組合連合会三重県本部、中外医薬生産株式会社、中部電力株式会社、デンソーテクノ株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、東邦ガス株式会社、凸版印刷株式会社、トヨタ自動車株式会社、農業・食品産業技術総合研究機構野菜茶業研究所、万協製菓株式会社、三重県、三重テレビ放送株式会社、三重労働局、愛知県経済農業協同組合連合会、株式会社ZTV、株式会社名古屋銀行、津市、名古屋市

就職支援

キャリア支援センター(就職支援チーム)において、就職ガイダンス、
校内企業研究会、就職情報の提供、就職相談等を行っています。

[就職ホームページ](#)
<http://www.mie-u.ac.jp/employment/>

就職情報コーナー

就職及びインターンシップに関する情報を提供しています。
学生が、自由に使えるパソコン及び資料を設置しています。

- ◎企業等の求人情報
- ◎公務員募集要項
- ◎合同企業説明会等案内
- ◎就活参考書等
- ◎就職ガイダンス資料及び貸出用DVD
- ◎インターンシップ情報
- ◎他大学大学院等入学案内
- ◎学生用パソコン4台

※環境・情報科学館2階にも就職支援コーナーを設けております。



就職相談コーナー

キャリア・カウンセラーが学生に対する個別の進路・就職相談に応じています。

- ◎進路に迷っている。
- ◎自分はどんな仕事に向いているのかわからない。
- ◎エントリーシートの添削をして欲しい。
- ◎面接指導をして欲しい。
- など



就職ガイダンス等

本学では企業就職志願者対象の就職ガイダンスを開催しています。その他三重大学生協とタイアップした各種資格取得講座等も開講しています。

前期分	5月	公務員試験対策講座(大学生協と共催) 就活スケジュール等、就職活動について ★インターンシップ説明会／事前研修会
	6月	筆記(SPI)試験対策
	7月	職務適性検査および業界・企業・職種説明 保護者向け「就職活動」についての説明会
後期分	10月	日経新聞の読み方講座／ワークグループディスカッション ★インターンシップ事後研修会
	11月	先輩に聞く就活の仕方／ワーク企業研究 社会人としての身だしなみとマナー
	12月	OB・OGに聞くパネルディスカッション
	12,1月	ワーク エントリーシート対策
	1月	就活直前!これだけは知っておこう就活ノウハウ 公務員等説明会
	3月	校内企業研究会まわり方講座 校内企業研究会
	4月	面接対策

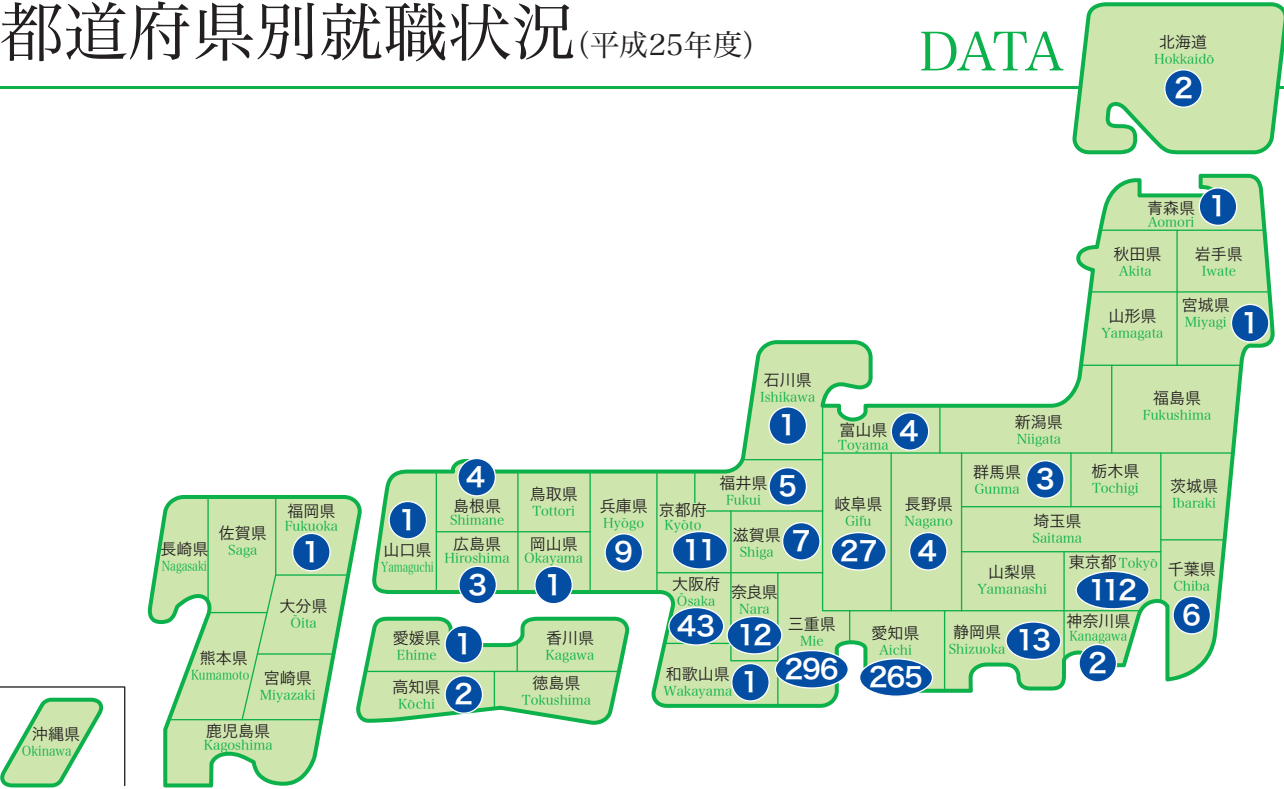


①～③.就職ガイダンスの様子 ④.校内企業研究会の様子

学部別主な就職先一覧(平成25年度)

	人文学部	教育学部	医学部 (看護学科)	工学部	生物資源学部	大学院 地域イノベーション学 研究科
県内	企業名 北伊勢上野信用金庫 三交不動産株式会社 全国農業協同組合連合会三重県本部 (JA全農みえ) 株式会社第三銀行 トヨタ部品三重共販株式会社 株式会社百五銀行 株式会社三重銀行 三重県厚生農業協同組合連合会 (JA三重厚生連) 三重県信用農業協同組合連合会 (JAバンク三重信連) 株式会社三重電子計算センター	企業名 有限会社飯田商事 社会福祉法人津市社会福祉協議会 学校法人津田学園 株式会社百五銀行 株式会社Believe (安藤塾) 三重トヨタ自動車株式会社 株式会社ライフ・テクノサービス	医療機関名 日本赤十字社伊勢赤十字病院 三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院 三重大学医学部附属病院 独立行政法人 国立病院機構三重病院 市立四日市病院	企業名 株式会社赤塚植物園 三交不動産株式会社 スズカファイン株式会社 住友電装株式会社 デンソートリム株式会社 東芝産業機器製造株式会社 ボルグワナー・モールステック・ ジャパン株式会社 株式会社三重電子計算センター 株式会社安永 株式会社UL Japan	企業名 伊賀北部農業協同組合 (JAいんほくふ) 株式会社交洋 鈴鹿農業協同組合(JA鈴鹿) 太陽化学株式会社 株式会社タカキタ 津安芸農業協同組合(JA津安芸) 辻製油株式会社 株式会社マサグループ本社 三重県農業共済組合連合会 (NOSA1三重) 三重県農業協同組合中央会 (JA三重中央会)	企業名 東海物産株式会社
県外	企業名 愛知県厚生農業協同組合連合会 (JA愛知厚生連) イオンリテール株式会社 住友生命保険相互会社 中部電力株式会社 TIS株式会社 東邦ガス株式会社 日本生命保険相互会社 公益財団法人日本ライフ協会 株式会社八神製作所 株式会社山西	企業名 愛知製鋼株式会社 株式会社オービック 近畿日本鉄道株式会社 東邦液化ガス株式会社 日本管財株式会社 日本郵便株式会社 株式会社パロマ 株式会社三菱東京UFJ銀行 ユニー株式会社 リゾートトラスト株式会社	医療機関名 愛知県立城山病院 大阪医科大学附属病院 大阪市立大学医学部附属病院 大阪大学医学部附属病院 医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 トヨタ記念病院 名古屋市立大学病院 名古屋大学医学部附属病院 半田市立半田病院 藤田保健衛生大学病院	企業名 愛三工業株式会社 アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 アイシン・コムルーズ株式会社 アイシン精機株式会社 株式会社ジェイテクト CKD株式会社 スズキ株式会社 高砂熱学工業株式会社 株式会社トーエネック 三菱電機ビルテクノサービス株式会社	企業名 あいち豊田農業協同組合 (JAあいち豊田) アース環境サービス株式会社 天野エンザイム株式会社 株式会社クボタ ジェイアール東海建設株式会社 株式会社システムリサーチ ツキオカフィルム製菓株式会社 財団法人日本食品分析センター フジグリーン工業株式会社 明治製菓ファルマ株式会社	企業名 株式会社HGSTジャパン 王子マネジメントオフィス株式会社 株式会社九電工 三洋機工株式会社 ツキオカフィルム製菓株式会社 日本特殊陶業株式会社
公務員	官公庁 国立大学法人三重大学 三重県 四日市市(三重県) 名古屋市(愛知県) 愛知県警察	官公庁 三重県公立学校(小学校) 三重県公立学校(中学校) 三重県公立学校(高等学校) 愛知県公立学校(小学校) 愛知県公立学校(中学校)	官公庁 三重県 四日市市(三重県) 玉城町(三重県) 三重県公立学校 津島市(愛知県)	官公庁 松阪市(三重県) 名古屋市(愛知県) 愛知県警察 名古屋港管理組合 奈良県	官公庁 国立大学法人三重大学 三重県 四日市市(三重県) 愛知県 国土交通省中部地方整備局	官公庁 愛知県公立学校(高等学校)

都道府県別就職状況(平成25年度)



就職状況(平成25年度)

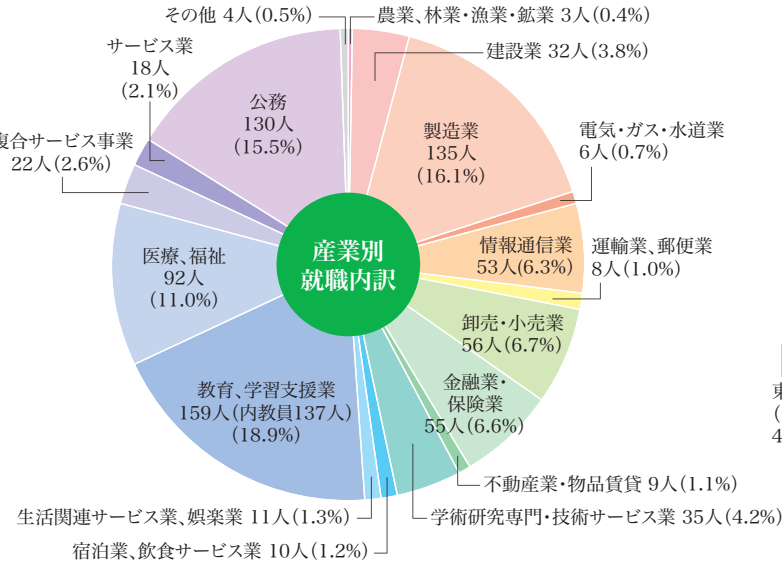
DATA

三重大学卒業者の就職状況

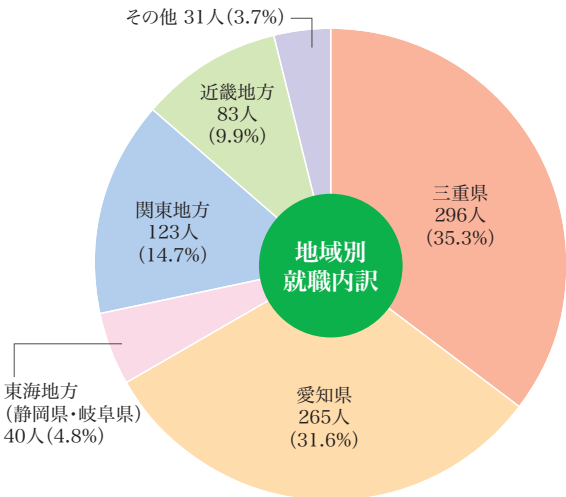
区分		学 部		医学部		工学部	生物資源学部	合計
		人文学部	教育学部	医学科	看護学科			
卒業生数		287(169)	222(127)	109(34)	94(87)	418(49)	262(103)	1,392(569)
卒業生内訳	就職者数	245(144)	182(104)		82(77)	170(28)	159(74)	838(427)
	進学者数	13(8)	28(17)		2(2)	232(19)	77(19)	352(65)
	臨床研修医			106(34)				106(34)
	その他	29(17)	12(6)	3(0)	10(8)	16(2)	26(10)	96(43)
	計	287(169)	222(127)	109(34)	94(87)	418(49)	262(103)	1,392(569)
就職者の産業別内訳	農業・林業・漁業・鉱業					1(1)	2(1)	3(2)
	建設業	6(5)	1(1)			18(1)	7(1)	32(8)
	製造業	21(17)	5(4)			78(5)	31(16)	135(42)
	電気・ガス・水道業	2(0)				2(0)	2(1)	6(1)
	情報通信業	14(10)	4(4)			26(5)	9(6)	53(25)
	運輸業・郵便業	4(3)	1(1)				3(1)	8(5)
	卸売・小売業	26(15)	5(5)			9(3)	16(7)	56(30)
	金融業・保険業	49(31)	2(2)				4(3)	55(36)
	不動産業・物品賃貸	3(3)	1(1)			4(2)	1(0)	9(6)
	学術研究専門・技術サービス業	10(6)	4(2)			14(5)	7(4)	35(17)
	宿泊業、飲食サービス業	2(1)	1(1)				7(5)	10(7)
	生活関連サービス業、娯楽業	7(4)	1(0)				3(3)	11(7)
	教育、学習支援業	17(12)	131(68)		1(1)	2(1)	8(3)	159(85)
	(内、教員数)	5(4)	127(66)			1(1)	4(2)	137(73)
	医療、福祉	13(7)	6(6)		71(66)		2(2)	92(81)
	複合サービス事業	6(2)	1(1)				15(6)	22(9)
	サービス業	8(3)	1(0)			3(1)	6(3)	18(7)
	公務	54(23)	17(8)		10(10)	13(4)	36(12)	130(57)
	その他	3(2)	1(0)					4(2)
	計	245(144)	182(104)	0(0)	82(77)	170(28)	159(74)	838(427)
就職先地域	三重県	84(49)	97(55)		47(44)	28(5)	40(14)	296(167)
	愛知県	76(39)	49(27)		15(14)	71(14)	54(29)	265(123)
	東海地方(静岡県・岐阜県)	13(9)	7(3)		2(2)	6(1)	12(5)	40(20)
	関東地方	45(28)	10(7)		4(3)	35(5)	29(14)	123(57)
	近畿地方	19(12)	10(5)		10(10)	24(2)	20(10)	83(39)
	その他	8(7)	9(7)		4(4)	6(1)	4(2)	31(21)
計		245(144)	182(104)	0(0)	82(77)	170(28)	159(74)	838(427)

()内は女子を内数で示す

産業別就職状況



地域別就職状況



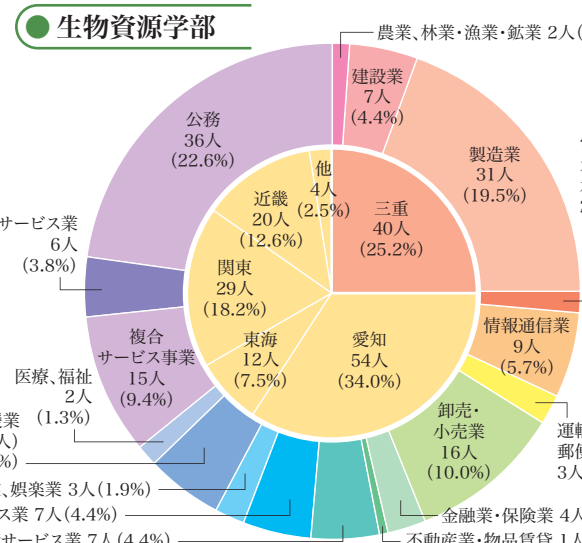
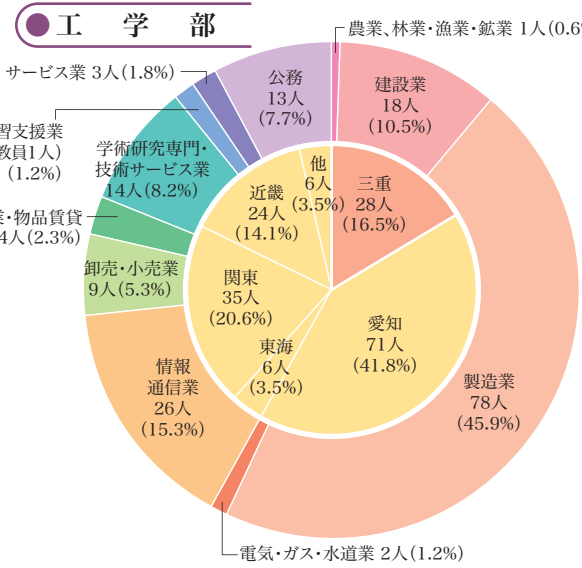
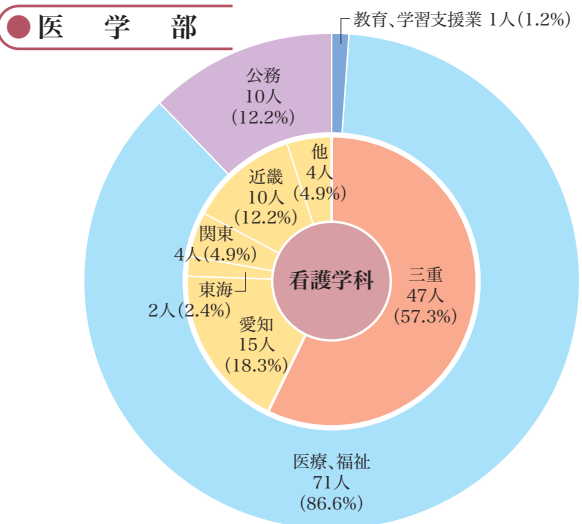
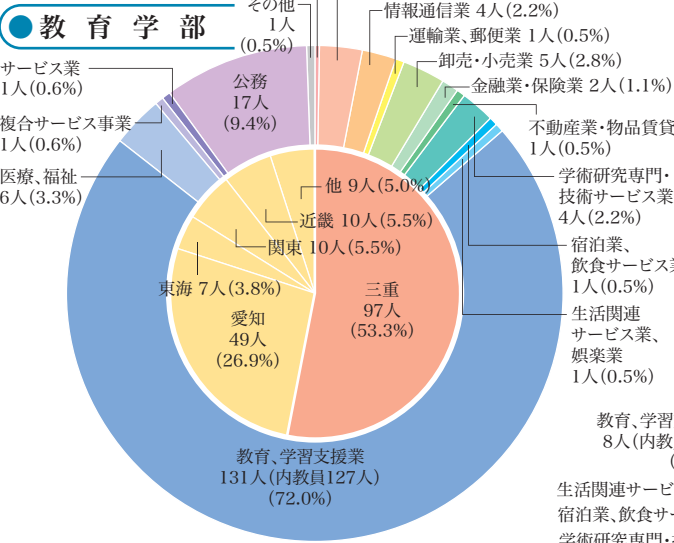
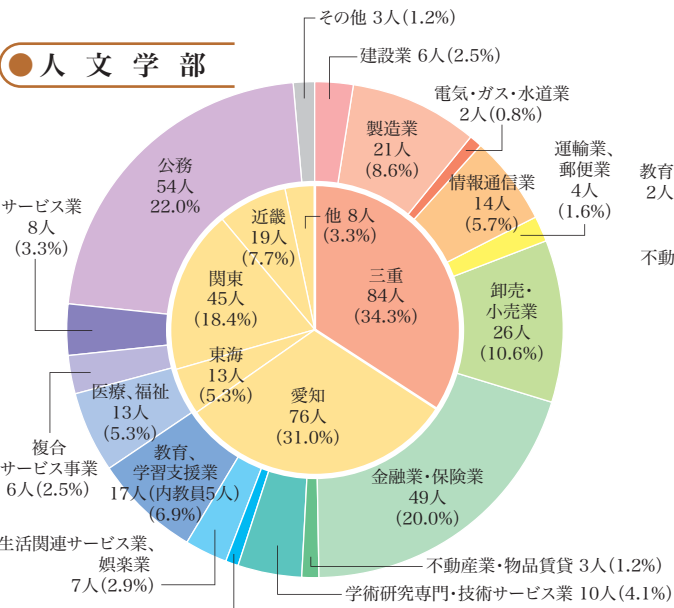
学部別就職状況(平成25年度)

DATA

就職率

96.9%
を達成！

※就職率とは、就職希望者に占める就職者の割合です。



国際交流

国際交流センターは、三重大学の国際化の要となることを目指し、2005（平成17）年10月1日に留学生センターを改編し、学内共同教育研究施設として設置されました。

外国人留学生のための日本語教育、英語による国際教育の他、海外の学術交流協定校と連携して、学生の派遣・受入や国際共同研究を行っています。



◎大学間協定締結校 57

●学部間協定締結校 33

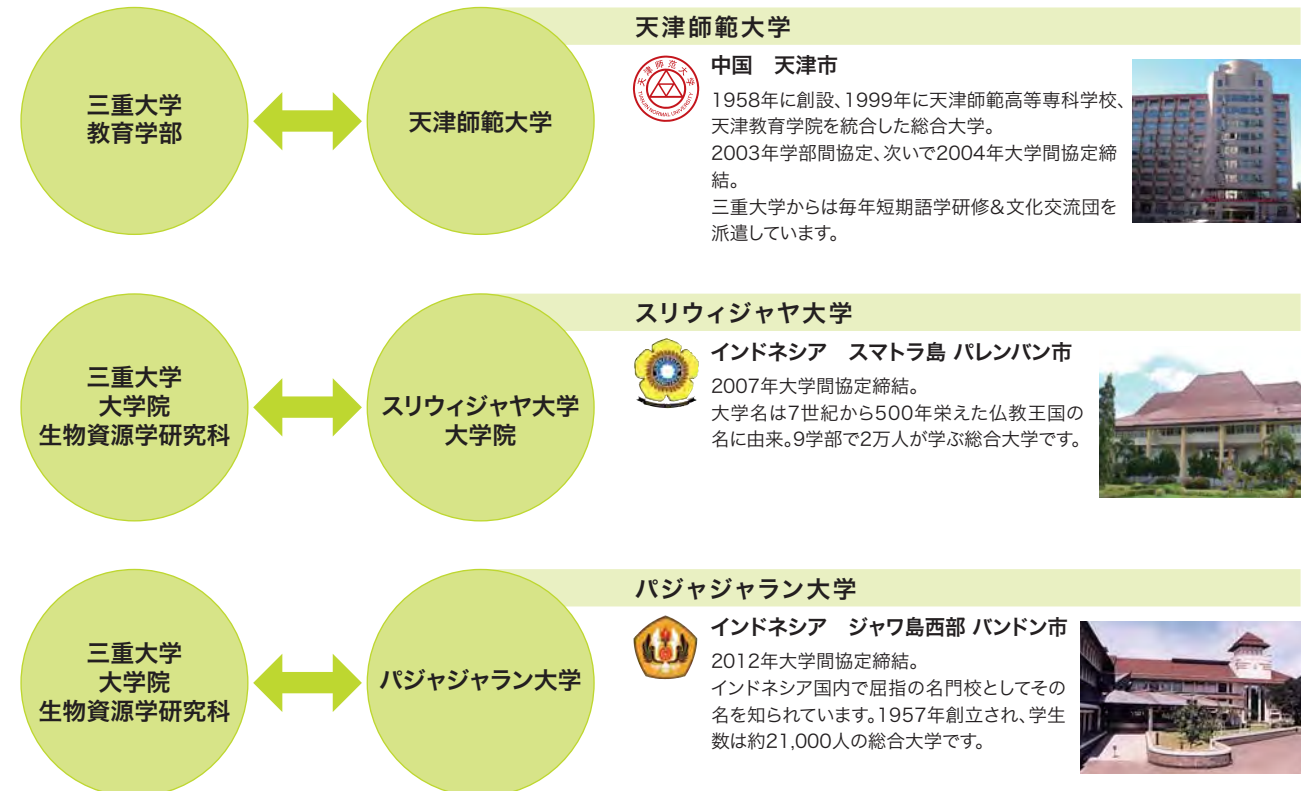
ダブルディグリープログラム（複数学位制度）

国際感覚、広い視野と専門知識を備えたグローバルな人材を育成します。

本学は海外の大学と学位授与に関する協定を結び、両大学の学生が双方の大学に在籍し、必要な単位を修得することにより両大学の学位を取得するダブルディグリープログラムを、学部レベルで天津師範大学（中国）と、大学院レベルでスリウィジャヤ大学及びバジャジャラン大学（インドネシア）との間に実施しています。

ミッション

- 1 双方の大学の学位を修得
- 2 異文化体験を通じて国際感覚を養う
- 3 海外体験を通じて実践的な語学能力の向上
- 4 キャンパスの国際化を加速



国際交流協定締結校 International Partner Universities

平成26年4月1日現在

大学間協定締結校

- | | | | |
|----------------------------|---------------------|-------------------------|--------------------------|
| ◎ ネブラスカ大学リンカーン校〈アメリカ〉 | ◎ CSEM社〈スイス〉 | ◎ 延辺大学〈中国〉 | ◎ フラウンホーファー研究機構〈ドイツ〉 |
| ◎ ノースカロライナ大学ウィルミントン校〈アメリカ〉 | ◎ ジャウメプリメル大学〈スペイン〉 | ◎ 河南師範大学〈中国〉 | ◎ ボーフム大学〈ドイツ〉 |
| ◎ ハワイパシフィック大学〈アメリカ〉 | ◎ バレンシア州立工芸大学〈スペイン〉 | ◎ 江蘇大学〈中国〉 | ◎ ライプツヒ大学〈ドイツ〉 |
| ◎ シャルジャ大学〈アラブ首長国連邦〉 | ◎ アジア工科大学院〈タイ〉 | ◎ 江南大学〈中国〉 | ◎ バングラデシュ農業大学〈バングラデシュ〉 |
| ◎ スリウィジャヤ大学〈インドネシア〉 | ◎ カセサート大学〈タイ〉 | ◎ 上海海洋大学〈中国〉 | ◎ ビサヤ州立大学〈フィリピン〉 |
| ◎ バジャジャラン大学〈インドネシア〉 | ◎ コンケン大学〈タイ〉 | ◎ 西安理工大学〈中国〉 | ◎ サボア大学〈フランス〉 |
| ◎ ハルオレオ大学〈インドネシア〉 | ◎ スラナリー工科大学〈タイ〉 | ◎ 天津師範大学〈中国〉 | ◎ ホーチミン市師範大学〈ベトナム〉 |
| ◎ ボゴール農科大学〈インドネシア〉 | ◎ タマサート大学〈タイ〉 | ◎ 内モン工業大学〈中国〉 | ◎ 外国貿易大学〈ベトナム〉 |
| ◎ タシケント国立法科大学〈ウズベキスタン〉 | ◎ チェンマイ大学〈タイ〉 | ◎ 南開大学〈中国〉 | ◎ カジェタノ・エレディア大学〈ペルー〉 |
| ◎ カーディフ大学〈英国〉 | ◎ メジョー大学〈タイ〉 | ◎ 南京工業大学〈中国〉 | ◎ 国立ラ・モリーナ農業大学〈ペルー〉 |
| ◎ セントラルランカシャー大学〈英国〉 | ◎ 国立高雄師範大学〈台湾〉 | ◎ 北京外国語大学〈中国〉 | ◎ タチ大学〈マレーシア〉 |
| ◎ タスマニア大学〈オーストラリア〉 | ◎ 安徽農業大学〈中国〉 | ◎ 廣西大学〈中国〉 | ◎ プトラマレーシア大学〈マレーシア〉 |
| ◎ 世宗大学校〈韓国〉 | ◎ 雲南大学〈中国〉 | ◎ 瀋陽薬科大学〈中国〉 | ◎ モンゴル国立大学〈モンゴル〉 |
| ◎ 東国大学校〈韓国〉 | | ◎ エアランゲン・ニュルンベルク大学〈ドイツ〉 | ◎ ハバロフスク国立経済法律アカデミー〈ロシア〉 |
| ◎ 梨花女子大学校〈韓国〉 | | ◎ ハイデルベルク大学〈ドイツ〉 | |

学部間協定締結校 ※印のついている大学は、授業料等を徴収する協定大学

- | | | |
|-----------------------------|--|---------------------------------|
| 「人文学部」 | ● ザンビア大学医学部〈ザンビア〉 | ● アテネ工科大学〈ギリシャ〉 |
| ● ルンド大学〈スウェーデン〉 | ● イェーテボリ大学健康科学部〈スウェーデン〉 | ● モンクット王ラカパン工科大学〈タイ〉 |
| ● サンパウロ大学哲学・文学・人間科学部〈ブラジル〉 | ● ムンビリ健康科学大学医学部〈タンザニア〉 | ● 清華大学熱能工程系及び同大学工務力学系〈中国〉 |
| ※ ● シャル・ド・ゴール リール第3大学〈フランス〉 | ※ ● 上海交通大学医学院〈中国〉 | ● 浙江大学理学院〈中国〉 |
| ● リヨン政治学院〈フランス〉 | ● 蘭州大学第二臨床医学院〈中国〉 | ● パリ工芸大学〈フランス〉 |
| 「教育学部」 | ※ ● 廣西医科大学〈中国〉 | ● ルマン先進素材・機械学高等学院（ISMANS）〈フランス〉 |
| ● オークランド大学〈ニュージーランド〉 | ※ ● ロストック大学医学部〈ドイツ〉 | 「生物資源学研究科」 |
| 「医学系研究科」 | ● ヤンゴン第一医科大学〈ミャンマー〉 | ※ ● 釜慶国立大学校水産科学学部・環境海洋学部〈韓国〉 |
| ※ ● ウェイン州立大学医学部〈アメリカ〉 | ● ラオス健康科学大学〈ラオス〉 | ● モンクット王トンプリ工科大学生物資源学研究科〈タイ〉 |
| ● ニューメキシコ大学医学部〈アメリカ〉 | 「工学研究科」 | ● 温州大学生命環境科学学院〈中国〉 |
| ※ ● マーサー大学医学部〈アメリカ〉 | ● 財団法人クリップランドクリニック 医用生体工学ラーナー研究所〈アメリカ〉 | ● ハッサン2世農獣医学大学〈モロッコ〉 |
| ● ベルジア大学医学部〈イタリア〉 | ● ティラナ工科大学〈アルバニア〉 | |
| ● アムリタ大学医学部〈インド〉 | ● パドヴァ大学〈イタリア〉 | |
| ● ガーナ大学医学部〈ガーナ〉 | | |

キャンパスライフ

美しい三翠に囲まれた三重大キャンパスでは、四季折々たくさんの行事が繰り広げられます。
毎日の講義や実験、実習に加えて、三重大学ならではの数々のイベントが、あなたの学生生活を豊かに彩ります。



三重大学のイベント



4月

April

- 入学式
- 新入生
オリエンテーション
- 前期授業開始

5月

May

- 開学記念日
(5月31日)

6月

June

- 教育実習

7月

July

- 東海地区
国立大学体育大会
- 選抜要項配付開始
- 前期定期試験

8月

August

- オープンキャンパス
- 夏季休業

9月

September

- 推薦入試
募集要項配付開始
- センター試験
受験案内配付開始
- 教育実習
- AO入試(工)
- 三重大学入試相談会

10月

October

- 募集要項(一般入試)
配付開始
- 後期授業開始

11月

November

- 推薦入試
(人・教・生)
- 大学祭

12月

December

- 東海地区
国立大学文化祭
- 冬季休業

1月

January

- 大学入試
センター試験
- 個別学力検査
出願受付開始

2月

February

- 個別学力検査
(前期日程)
- 後期定期試験
- AO入試(工)
- 推薦入試
(人・教・医・生)

3月

March

- 個別学力検査
(後期日程)
- 学位記授与式
- 春季休業



三重大生の一日

三重大学に入学したら、一体どんな生活が待っているのかな？
在学生の暮らしを参考に、自分のスタイルをイメージしてみよう！

人文学部
法律経済学科 2年
中根 崇文 さん



一人暮らしで長時間通学から卒業！学生生活が充実しました



僕は一人暮らしをしています。一人暮らしのメリットは自由に時間を使えることです。

実は、一年生の頃は愛知県から電車通っていました。通学に2時間以上もかかってしまい、勉強、バイト、サークルなどの時間がなかなかとれませんでした。そこで、意を決して下宿を始めたのが、2年生の4月。はじめは、家事がなかなかうまくいかず、洗濯物をためてしまったり、料理ができずに外食ばかりでした。今では、通学につかっていた時間を自分が所属している学祭実行委員会の会議・作業に存分に時間を割くことができたり、勉強、バイトに割くことができたりなど、充実した学生生活をおくることができています。



片道2時間以上かけて名古屋から通っています。移動時間で課題を消化したり、アルバイト先の塾で使用する教材を作ったりします。

講義は専門的になると難度は増しますが、新しいことを学ぶ楽しさや知の幅が広がる実感が得られ、とても充実感があります。

お昼ごはんは親しい友人と。聞いたり話したり、笑いの絶えないなんとも楽しい時間です。

部活は馬術部に所属しています。なかなか行けないときも、あたたかい仲間(と馬たち)にいつも助けられています。

大学は「自分次第」であることが多いです。三重大学で一緒に、自分を伸ばす選択をしましょうか。

生物資源学部
共生環境学科 2年
大嶽 若緒 さん

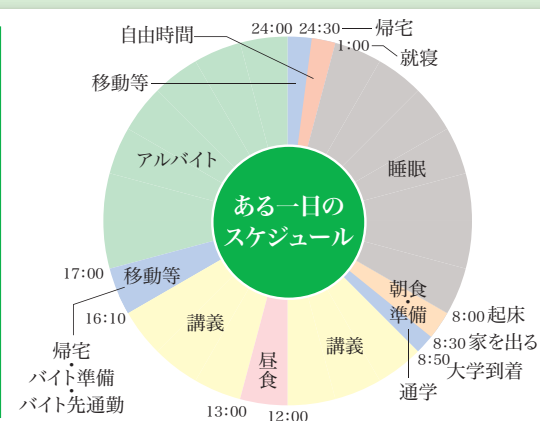


学ぶこと、仲間との時間、楽しい大学生活は「自分次第」！

時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1		生産管理論			経済原論
2		アメリカの民族と文化	社会経済論	産業経済論	経営管理論
3	産業経済論	地域経済論	コーポレートファイナンス	地域経済論	
4	経済原論	商取引法		マーケティング演習	憲法制度論
5					

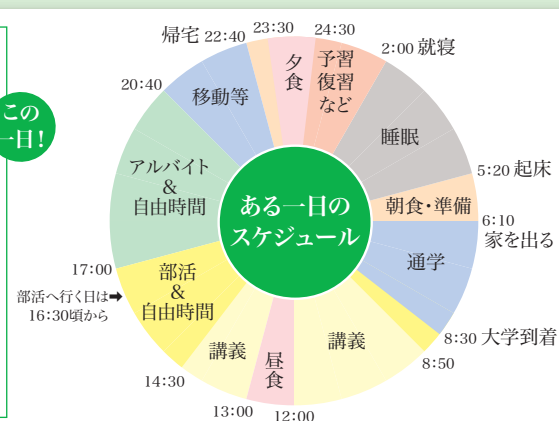
※この時間割は一例であって、すべての学部がこのようになるわけではありません。



時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	応用地質学	環境保全生態学		森林有機化学	測量学
2	藻類学概論	森林植物学	木質資源環境工学	森林環境保全論	森林利用システム学
3	木材組織学	生態系微生物学		測量学実習	環境解析基礎
4					
5					

※この時間割は一例であって、すべての学部がこのようになるわけではありません。



学生寮・アパート

学生寄宿舍

三重大大学には、3つの学生寄宿舍があります。
入寮の募集等は、掲示板、三重大大学ホームページ等で随時お知らせします。
なお、入学予定者への募集人数及び申請期間等の詳細は、入学試験合格者へ大学から郵送する「入学手続要項」においてご案内します。

概要	所在地	建物		収容 人数	居室		寄宿料	食堂	その他
		構造	面積		一室収容	面積			
男子寮 (安濃津)	津市栗真中山町 166番地	鉄筋コンクリート 4階	3,851㎡	109人	1人	14㎡	8,000円	無し (補食室有り)	徒歩約15分
女子寮 (清和)	津市栗真町屋町 字中新畑561番地	鉄筋コンクリート 3階	1,245㎡	60人	1人	9㎡	7,100円	無し (補食室有り)	徒歩約3分
国際女子寮 (碧海)	津市江戸橋 2丁目174番地	鉄筋コンクリート 4階	2,137㎡	75人	1人	13㎡	5,900円	無し (補食室有り)	キャンパス内

※男子寮の入居許可期間は、入学の日から2年間となっています。



男子寮



女子寮



国際女子寮



アパート・下宿 <http://mucoop.jp/support/house.html>

下宿・アパート・マンション等の案内は、三重大学生生活協同組合が年間を通して斡旋しています。
多くがキャンパス周辺にあり、現地まで案内をしています。
部屋の設備は風呂、トイレ、キッチン、エアコン、高速インターネット対応等を完備した物件が大半を占めています。

種類	6帖	8帖～10帖
下宿	8,000円～20,000円	
アパート	20,000円～	35,000円～
マンション	30,000円～	40,000円～

※なお、この料金の他に共益費・水・光熱費などが必要です。

福利厚生施設・設備

三重大学生生活協同組合 <http://mucoop.jp/>

本学キャンパス内に、生活協同組合の店舗や食堂があり、学生、院生、教職員の福利厚生施設として、勉強研究や日常生活をサポートしています。
レジ袋の削減にも取り組んでいます。



食 堂

キャンパス内に2つの食堂とレストランがあります。
栄養バランスのとれた豊富なメニューで安心安全な食生活を提供しています。

第1食堂



生物資源学部とにりあるメイン食堂(学食)です。教職員のみならずも利用します。
お昼にはすごい行列ができます。一見の価値あります。セルフサービスのカフェテリアスタイルの食堂です。サンプルケースで食べた

いものを決めたらトレイ、お箸、湯のみを持ってカウンターへ並んで注文します。自分の食べたいものがそろったらレジで精算です。キャンパスペイプリペイドだと早く精算できます。サラダバーは1グラム1.29円で利用できます。朝食・昼食・夕食の三食を食べることができる食堂です。

第2食堂



工学部の西側、講堂三翠ホールと医学部看護学科校舎の間にある平屋の白い建物です。第1食堂同様、もうひとつのメイン食堂です。こちらは医学部、工学部の方がたくさん利用しています。セルフサービスのカフェテリアタイプの食堂です。サイドメニューも充実しています。

第2購買書籍店

第2食堂内に併設された医学部、工学部向けの店舗です。医学書、工学書をはじめ、聴診器、製図用品などを取り扱っています。弁当、ドリンク、お菓子などの取り扱いもしています。

レストラン「ばせお」



「ばせお」とはスペイン語で散歩道の意味です。
翠陵会館2階にある隠れ家的存在のレストランです。お財布と時間にちよつと余裕がある方にはおすすすめです。このレストランはフルサービスで利用いただけます。

購 買

翠陵店は図書館西隣、翠陵会館1階にある、購買・書籍のお店です。コンビニフロアでは、文具用品をはじめ、大学での研究活動に必要な商品を販売しています。パソコン本体・周辺機器販売、サポートを行っています。食事は、お弁当、おにぎり、パン、サンドイッチ、飲料、デザート、菓子、食品を販売しています。書籍フロアでは、専門書(人文・社会・法経・政治・教育・自然科学)、文芸一般、語学書、文庫、新書雑誌、資格書、パソコン書、洋書など販売しています。

書 籍

書籍フロアでは話題の新刊やベストセラー、大学の講義ゼミ等に必要な参考書や専門書を揃えています。授業開講にあわせて教科書を販売します。



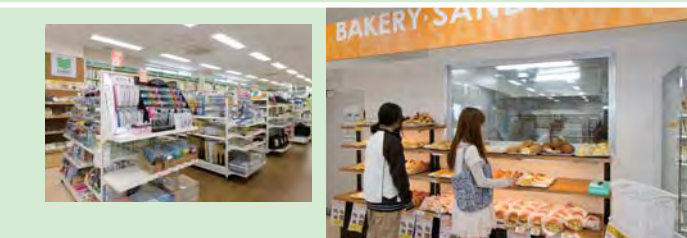
トラベル・交通機関・キャリア

旅行や帰省のチケット手配、交通機関や宿泊の予約、語学研修やホームステイ、自動車学校の斡旋、各種資格検定の受付を行っています。



ミニストップ三重大学店

全国ではじめてレジ袋を置かないコンビニとして注目され、太陽光発電やLED照明設備など環境にも配慮されています。



住まいの斡旋

アパート・マンションの住まいを斡旋しています。大学周辺で約4,000室の物件を取り扱っています。10,000円～58,000円の物件が中心です。



共済・保険 アルバイト紹介

アルバイト紹介は、年間で家庭教師など約350件取り扱っています。ほかにも学生総合共済や保険を取り扱っています。



三重大学附属図書館



附属図書館は、延面積8,276㎡、閲覧座席数741席を備え、約95万冊の図書を所蔵しています。

平成25年春、改修工事によりリニューアルした附属図書館は、多様な学習の場面に対応できるフロア構成になっています。1階は、ラーニングcommonsというグループ学習のエリアです。commonsとは共有空間を意味します。学生同士で相談しあったり、ディスカッションをしながら学習することができます。机やイスは可動式なので利用者自身が必要な学習空間を自分たちでデザインできます。各種新聞を閲覧できる新聞コーナー、DVDなどを鑑賞できる視聴覚コーナーもあります。2階は、学習用図書や辞書や事典があるエリアです。大学院生と学部最終学年の学生は研究用個室を利用することもできます。また、パソコンを利用できるコーナーがあり、ここで図書館主催の講習会も行っています。3階は、静かに学習するエリアです。パソコンの利用も禁止するなど、完全に静粛な学習空間となっています。

附属図書館における 情報リテラシー教育について

附属図書館では、皆さんの学部あるいは大学院での学習・研究活動を支援するために、資料の収集や情報サービスの充実に努めています。なかでも、コンピューターとネットワークによる学術的情報の収集発信(読み書き)能力を主とした情報リテラシー育成を支援する活動には力をいれています。

■ 図書館利用ガイダンス

- 図書館ツアー
- 書庫利用ガイダンス

■ 情報検索講習会

- 蔵書検索入門
- 国内文献検索講習会
- 海外文献検索講習会

■ その他

- 授業内容に関連した講習会など



開館時間

- 平日(月～金) 8:45～21:45
- 土・日・祝日 9:00～18:30
- 春・夏・冬季休業期(月～金) 8:45～17:00

休館日

- 入学試験日(一般入試)、年末年始(12月28日から1月4日)
- 夏季一斉休業日、春・夏・冬季休業中の土・日・祝日
- システムメンテナンスに必要な日

図書館利用券について

- 学生証を「図書館利用券」として使用できます
- カードを閲覧室入口のカードリーダーに読みとらせるとゲートが開き、入館できます
- 本人以外の使用はできません

図書館利用に関するお問い合わせ

- 三重大学附属図書館 利用者サービス担当
- TEL : 059-231-9088 (平日 : 9:00-17:00)
- E-mail : lib-service@ab.mie-u.ac.jp



環境・情報科学館〈メープル館〉 Mie Environmental & Informational Platform : MEIPL



■ スマートキャンパス・コミュニティの情報発信

■ 情報社会の中での学習環境の整備充実

■ 教職員・学生・地域住民の交流館

環境・情報科学館は、メープル館(MEIPL:Mie Environmental&Informational Platform)とも呼ばれ、環境学習の充実や相方向的な学習・教育研究を図ることを目的とした鉄筋3階建ての建物です。

環境・情報科学館は、アカデミックcommonsの一角として、2階の連絡通路でつながっている附属図書館と一体化して、学生による新しい知の創出と共有の場となることを想定しています。

また建物には太陽光パネル、屋上緑化、LED照明、CO₂センサーなどの自然光の活用やエネルギーを削減する工夫など、様々な環境配慮技術が施されており、1階展示ホールのマルチディスプレイシステムの周りには、本学の生物資源学研究科附帯施設演習林の間伐材を再利用しています。

3階

授業やゼミのための新しい教室空間



PBL演習室、ティーチングcommons

■ 人材育成機能

廊下側の壁がないオープン・スクール形式の教室空間では、それぞれのプライバシーを確保しながら、お互いの気配を感じることによって、刺激しあえる空間となっています。可動式の椅子やテーブルを備えていますので、多様な教育方法に対応できます。電子黒板というコミュニケーションツールを使ってみんながアイデアや意見をまとめることもできます。

2階

利用者自身がデザインする学習空間



ラーニングcommons

■ 能動的学修支援機能

利用者間の情報共有や新しい発想を促すために、可動式の椅子やテーブル、ホワイトボード、本棚を備えています。利用者自身が必要とする学習空間をデザインできます。PCステーションでは、必要な情報資源にアクセスしたり、入手した情報を分析・整理したりできます。また、よりプライベート感をもって課題探究活動ができるグループ学習室、ゆったりくつろいだり、談話したり、休憩したりするためのソーシャル・スペースもあります。

1階

環境情報の発信拠点



展示ホール

■ 企画・展示機能

世界一の環境先進大学及び社会貢献度日本一を目指すために、環境に関する取組や研究成果を分かりやすく展示し、環境を学べるコーナーや交流スペースを設けて、環境団体や企業、自治体などと連携して環境教育・研究等の情報発信を行う拠点(プラットフォーム)となります。また、地域との協働の場とするために、地域コミュニティとの交流を行います。

学びのサポート

学生支援システム

大学に入り学生生活を送る上で、勉学上、健康上及び経済上等、さまざまな問題が発生する場合があります。本学では学生が快適な学園生活を過ごせるよう種々の支援を行っています。

学生総合支援センター

本学学生の修学、就職、生活及び健康等への支援体制を充実し、快適な学生生活の実現を図ることを目的として、平成18年4月に「学生総合支援センター」が設置されました。

学生総合支援センターは、①学生支援の総合的推進、②センター内各施設(学生生活支援室、障がい学生支援室、学生なんでも相談室、キャリア支援センター)間の連携・調整、③その他学生の支援に関する業務を行います。

学生なんでも相談室

学生なんでも相談室は、学生生活を送る上で困ったことや、分からないことが起きた時に気軽に相談できることです。学業・友人関係・将来の進路・健康のこと・日常生活の問題など、なんでもどんな相談でも受け付けており、スタッフと一緒に解決策を考えていくことができます。長い大学生活の中では、一人で考えてもうまいかないこと、友達には相談しづらいこと、友達と相談しても解決できないことがたくさん出てくることでしょう。そんな場合には、遠慮なくお気軽に相談室をご利用ください。また、在学中のお子様に関する保護者からのご相談も承っております。相談内容の秘密は厳守します。相談をご希望される方は、直接相談室へ来て頂くか、電話またはメール(sodan@ab.mie-u.ac.jp)などで連絡してください。

■場 所／総合研究棟Ⅱ 1階

■開設日／月曜日～金曜日(祝日は閉室します)

■時 間／10:00～13:00及び14:00～17:00

インテーカー(受付担当)がお話をうかがって、相談内容によってカウンセラーや相談員の先生を紹介します。

■相談申込み方法

予約優先ですが、スタッフの時間が空いていれば、その場で相談することも可能です。

予約受付は、来室、電話、FAX、Eメールでも行っていますが、その場合は必ず所属学部、学年、氏名、連絡先等をお知らせください。折り返し連絡します。

TEL.059-231-9783／FAX.059-231-9783

URL <http://www.mie-u.ac.jp/life/consultation/index.html>

ピアサポート

キャリアピアサポーター資格(「共通教育」参照)を取得した学生(キャリアピアサポーター)が、次のような業務を通して、三重大学生の学生生活をサポートしています。

◎大学生活に関して学生同士で相談できる窓口の開設。

◎学生同士の交流や大学活性化、キャリア支援を目的としたイベントの開催。

◎修学支援企画を立案・実施。

◎学内の各種学生団体とのコラボレーション

学生総合支援センターでは、こうしたキャリアピアサポーターによる活動のバックアップも行っています。

保健管理センター

保健管理センターは、保健に関する専門的業務を行うところで、皆さんの健康の保持増進を図ることを目的として、医師・保健師・看護師及び心理カウンセラーが専門的な立場から“こころ”と“からだ”両面の相談に応じています。特に心の健康は充実した学生生活を送る上で大変重要なことです。

心の悩みや不安、進路問題、友人関係での悩み等、また、身体の異常や病気の相談等、気軽に話し合える場所として積極的に利用してください。

業務内容は、定期及び臨時の健康診断、健康相談応急処置、精神衛生相談、生活上の諸問題についての相談、各種の医学的検査、その他心身の健康保持増進についての必要な指導及び調査研究、健康診断書の発行等を行っています。

保健管理センターの利用案内は下記のとおりです。また、日程表のとおり専門医による相談も設けられています。

■場 所／保健管理センター

■開室日／月曜日～金曜日(休業日を除く)

■時 間／9:00～17:00

■相談申込み方法

保健管理センター内事務室へ申し出てください。

利用者の氏名、相談の内容等については秘密を厳守します。

TEL.059-231-9068／FAX.059-231-9049

相談日程表

相談内容	相 談 日 時	担当医師等	相談場所
こころ	月 9:30～11:30	精神科医	完全予約制 Online (電話でも予約可)
	水 14:00～16:00		
	金 9:30～11:30		
	水 12:00～15:00 木 14:00～17:00	心理 カウンセラー	完全予約制 (電話でも予約可)
からだ	内科 月～金 9:00～17:00	内科医	予約不要
	外科・眼科・耳鼻科・皮膚科・ 整形外科・婦人科・泌尿器科	医療機関 紹介	
	健康面全般 月～金 9:00～17:00	保健師・看護師	

主な年間予定

月	行 事
4月	新入生健康診断
	在来生健康診断
	新入生に対するGHQスクリーニング及びメンタルヘルスの保健指導
5月	医学部2年生 B型肝炎3回目ワクチン接種
6月	電離放射線健康診断(春季)
7月	保健体育科実習前心電図検査
10月	医学部1年生 B型肝炎1回目ワクチン接種
11月	秋季入学生健康診断
	医学部1年生 B型肝炎2回目ワクチン接種
12月	電離放射線健康診断(秋季)
	保健体育科駅伝参加者心電図検査
1月	医学部1年生ツベルクリン反応検査
2月	次年度卒業修了予定者及び医学部・大学院医学系研究科在来生健康診断
3月	卒業生に対するメンタルヘルスの保健指導

学びのサポート

経済援助システム

奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金の他に、地方公共団体及び民間育英団体からも募集があります。

I 日本学生支援機構奨学金

奨学金の種類		第一種奨学金		第二種奨学金	
特 徴		① 貸与奨学金 ※給付ではないので、卒業後に分割して返還します			
		② 無利子 ※貸与総額のみを返還		② 有利子(利率上限 年3.0%)※貸与総額に利息も併せて返還	
		③ 貸与月額とは2種類から選択		③ 貸与月額を選択できます(貸与開始後に月額の変更も可能)	
		④ 家計基準は二種より厳しい		④ 家計基準は一種より緩やか	
		⑤ 学力は高校評定値が3.5以上必要		⑤ 学力基準は一種より緩やか	
奨学金の月額	学部生	自 宅 通 学	30,000円、45,000円から選択	3万円、5万円、8万円、10万円、12万円から選択	
		自 宅 外 通 学	30,000円、51,000円から選択		
	大学院生	修士・博士前期	50,000円、88,000円から選択	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択	
		博士後期・博士医	80,000円、122,000円から選択		
貸与始期	学部生	4月から		4月～9月の間で希望する月から	
	大学院生	4月から			
貸 与 方 法		申込時に指定した金融機関口座へ毎月11日頃に振り込まれます			
入学時特別増額貸与		上記何れかの奨学金貸与を受ける新入生(編入学者を含む)は、一定の条件を満たす場合に限り、希望により、奨学金の初回振込時に入学時特別増額(10万、20万、30万、40万、50万円から選択)(有利子)を貸与を受けることができます。			

II その他の奨学金(地方公共団体や民間団体等の奨学金)

① 各団体から「募集案内」が届きますので、各学部掲示板に「募集内容の一覧」を掲示してお知らせします。募集は4月に集中しています。

② 各団体ごとの募集の有無や募集人数は、年度によって異なります。

③ 各団体とも募集人数は多くありません。

④ 日本学生支援機構の奨学金を貸与される学生には、奨学金を貸与しない団体もあります。

⑤ 三重大学へは「募集案内」が届いていなくても、自分の出身地の県や市町村が募集している場合があります。自分で調べてみることも必要です。

大学独自の奨学金

■看護学生奨学金制度について

対 象 者：医学部看護学科に在学中の方で、免許取得後、本学医学部附属病院の看護師・助産師として勤務を希望する方(2年生以上)

貸 与 額：月額50,000円

貸 付 期 間：貸与を決定された年度の4月から卒業する月まで

返還の免除：卒業後、看護師・助産師の免許を取得され、本院に採用となり、一定期間勤務されたときは奨学金の返還が免除

【問い合わせ先】TEL 059-231-5046

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp> <http://www.hosp.mie-u.ac.jp/nurse/recruit/scholar/>

■渡邊文二奨学金

渡邊文二氏(三昌物産取締役相談役)による学生の就学を支援する制度対象は、生物資源学部の学生で年額48万円(学部学生)、年額60万円(大学院生)を給付給付された奨学金は、原則として返還を要さない。

採用されると2年間継続して給付を受けることができる。

【問い合わせ先】TEL 059-231-9673

E-mail bio-somu@ab.mie-u.ac.jp

授業料免除制度

経済的理由、その他特別な事情により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績優秀と認められる学生に対して、申請により授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

免除の対象

審査基準(学業成績及び家計困窮度)に合致し、次のいずれかに該当する場合は、本人からの申請に基づき、選考の上当該期分の授業料の(全額)又は(半額)が免除されます。

ただし、授業料免除許容総額には、上限がありますので「全額免除有資格者」及び「半額免除有資格者」の全員が必ずしも免除されるとは限りません。

なお、審査基準(学業成績及び家計困窮度)等は「授業料免除等申請のしおり」に掲載してありますので参照してください。

1. 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる者
2. 授業料の納期前6ヶ月以内(新入生の前期分は、入学前1年以内)において、学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という)が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け授業料の納付が著しく困難であると認められる場合
3. 2に準ずる場合であって、学長が相当と認める理由がある場合

「授業料免除申請」と「徴収猶予申請」の併願申請はできません。

授業料の徴収猶予

徴収猶予の対象

次のいずれかに該当する場合は、本人からの申請に基づき、選考の上当該期分の授業料の徴収が猶予される制度があります。

1. 経済的理由によって納付期限までに授業料の納付が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる場合
2. 授業料の納期6ヶ月以内(新入生の前期分は、入学前1年以内)において、学資負担者が死亡又は、学生若しくは学資負担者が災害を受け、授業料の納付が困難であると認められる場合
3. その他やむを得ない事情があると認められる場合

徴収猶予の申請手続

徴収猶予の申請書類は、学務部学生サービスチームへ提出してください。
※1及び2の場合の申請手続及び選考等は、全て授業料免除に準じます。

Activities, Clubs and Circles



課外活動

課外活動は、学生が自主的・自立的に行う正課教育外の諸集団活動です。

大学教育においては、学力の養成と人格の形成をその目的にする授業が重要であることはいうまでもありませんが、同時に課外活動も重要です。広く友を得、先輩や後輩との交流を通じて正課では得られない経験や知識・技能が習得出来るだけでなく、連帯感や協調性を育て、また判断力・創造力等を養う等、本学の教育目的である「感じる力」・「考える力」・「生きる力」の涵養のためにも果たす役割は大きなものがあります。

本学には多くのクラブ・サークル等が活動していますので、大学生活を豊かにするためにも積極的に参加し、意義のある学生生活を送ってください。

自治会活動

本学には、各学部学生自治会が組織されています。その目的は、学生の自主的活動によって、より豊かで明るい学生生活を期するところにあります。

大学が学生の自主的活動を認めているのは、学生生活における自立性のかん養、社会性の陶冶あるいは学生相互の啓発等の教育的意義から、学生の人間形成に役立つものであると考えるからです。

学生はこの点を十分理解し、その運営に当たっては、健全にしかも学生の総意が正しく反映されるように積極的に参加するよう期待しています。



サークル活動

サークル加入率

2013(平成25)年度

	サークル数	加入者数
体育系	79	2,379
文科系	71	1,966
計	150	4,345

学部の学生数 6,171人

学部学生に対する
加入者比率 **70.4%**





Activities, Clubs and Circles

体育系の課外活動 〈クラブ・サークル一覧〉

陸上競技部
水泳部
硬式野球部
準硬式野球部
サッカー部
ラグビー部
アメリカンフットボール部
馬術部
硬式テニス部
ソフトテニス部
ハンドボール部
バレーボール部
バスケットボール部
バドミントン部
卓球部
体操競技部
ダンス部
柔道部
剣道部
空手道部
少林寺拳法部
日本拳法部
合気道部
ワンダーフォーゲル部
ゴルフ部
弓道部
アーチェリー部
ヨット部
端艇部(カッター部)
自動車部
トライアスロン部
応援団
テニスサークルBEANS
球技サークルMARIMO
極津(よさこい・女子)
BLUE MARINE(スキndaビング)
バスケットボール同好会
ボウリング部
狩る!マッチョ(サッカー)

ブルーロゼット(テニス)
天狗う(よさこい)
まいのり(テニス・バドミントン)
WILL(テニス)
ハンドボールサークルFTH
Wild Geese(アウトドア)
サイクリングサークル
ラインブレイク(釣り)
ダイビングサークル
ジャグリアーノ(ジャグリング、大道芸)
ネクスト(ストリートダンス)
Links(ソフトテニス)
Hoop(バスケット)
フラメンコサークル OLe!
PLUS STYLE(筋力・体力トレーニング)
RED HAPPINESS(軟式野球)
合気道・武の道
すまっしゅ(卓球)

体育系(医学部)

陸上競技部
硬式テニス部
ソフトテニス部
卓球部
バドミントン部
バスケットボール部
バレーボール部
サッカー部
ラグビー部
ハンドボール部
剣道部
野球部
ゴルフ部
準硬式野球部
弓道部
山岳部
競技スキー部
空手道部
水泳部

文化系の課外活動 〈クラブ・サークル一覧〉

管弦楽団
吹奏楽団
ギターマンドリンクラブ
ギタークラブ
邦楽部
室内楽団
合唱団
写真部
美術部
ESS(英語研究会)
軽音楽部
めばえサークル(ボランティア関連)
人形劇団つくし
KLUB KLAVIER(ピアノ同好会)
表千家茶道部
裏千家茶道部
小原流華道部
万葉旅行の会
TRPG同好会
卓上文化研究会
創作活動サークル リカゲル
かめつぷり(ウミガメ・スナメリ保全)
HELLO FM!(ラジオ放送活動)
囲碁・将棋部
漫画倶楽部
ねこサークル
エレクトーンサークル23
みえシネマアーカイブ(映画制作)
SOLA(天文サークル)
Pioneer(アカペラ)
ヴァンパイア(献血推進サークル)
落語研究会
ジョイア(学習支援ボランティア)
書道サークル心太(ところてん)
劇団クレスト
ユネスコクラブ
Transfer(編入生サポート)
聖書研究会
鳥人間サークル Pa-Tan!!

ぶらり旅サークル
カードゲームサークルDUEL
DTMサークル JACK(コンピューター使用による作曲)
START(外国人への支援)
MUS-net(三重大学災害ボランティア)
BBS(教育ボランティア)
アンビシャスカード(マジック)
ビッスモサークル
Silhouette(ジャズ)
Brass band(楽器演奏)
アンサンブルサークル「ぶるさあ。」
クッキングアシスト
食農サークル農らく
FREe STyLe(ボランティア)
つくしんぼサークル(子供ボランティア)
てらこや(留学生支援)
ぞくよん(病院ボランティア)

文化系(医学部)

軽音楽部
ロック部
美術部
東洋医学研究会
医療 学生研究会
SessionサークルBAG
きゅうめい部
BJ -よき医療者をめざす会-
子どもと一緒に小児医療を考える会
MIT(国際保健医療)
U-cam(小児糖尿病サマーキャンプ)



劇団クレスト



合気道部

2013年度 主要成績・実績

■ヨット部

春季中部学生ヨット選手権大会
■団体 1位
■国際スナイプクラス 第1位

■バドミントン部

第62回東海地区国立大学体育大会
■男子団体 優勝

■アーチェリー部

第62回東海地区国立大学体育大会
■男子団体 1位
■女子個人 1位
2013年 東海学生アーチェリー個人選手権大会
■女子トーナメント 1位

■水泳部

第62回東海地区国立大学体育大会
■男子 100m自由形 200m自由形
100mバタフライ 200mバタフライ 各1位

■剣道部

第62回東海地区国立大学体育大会
■女子 1位

■少林寺拳法部

第62回東海地区国立大学体育大会
■組演武 最優秀賞 2組
優秀賞 1組
■単独演武 最優秀賞 2名

■サッカー部

東海学生サッカー三岐リーグ
■優勝

■カッター部

第26回大阪港カッターレース大会
■一般の部 1位

世界一の 環境先進大学を 目指して



第17回環境コミュニケーション大賞受賞

平成26年3月、環境省及び財団法人地球・人間環境フォーラムが主催する「第17回環境コミュニケーション大賞」の「【報告書部門】環境配慮促進法特定事業者賞」を受賞しました。

この環境コミュニケーション大賞は、優れた環境報告書等や環境活動レポート及びテレビCMを表彰することにより、事業者等の環境経営及び環境コミュニケーションへの取組を促進するとともに、環境情報開示の質の向上を図ることを目的とする表彰制度です。

本学の受賞は5回目となります。



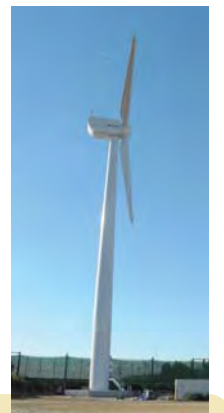
経済産業省 次世代エネルギー技術実証事業【平成23～25年度】

三重大学スマートキャンパス(MIESC)実証事業

スマートキャンパス実証事業は、風力発電、太陽光発電ガスを利用したコージェネレーションシステム(発電時に発生する排熱を、温水や蒸気として回収し、附属病院で利用するシステム)、電力を安定的・効率的に蓄放電する蓄電池、全体を一体化して運用するためのEMS(エネルギー・マネジメント・システム)を稼働し、それらを有効に活用しながら学内の多様なコミュニティから排出されるCO2を削減する取り組みです。

本学で得られた再生可能エネルギー需要を分析し、これらの成果を他大学や他のコミュニティで活用できるようにモデルを作成しています。

世界一の環境先進大学としての三重大学の取り組み、今後の展開にご注目ください。



第5回 エコ大学ランキング (2013年)総合1位獲得

エコ大学ランキングとは、NPO法人エコ・リーグCampus Climate Challenge実行委員会が、全国の国公立大学751大学の二酸化炭素排出状況などを調査し、温暖化対策に取り組む大学を表彰するものです。

三重大学は、環境教育やスマートキャンパス実証事業の推進などが評価され、2013年(第5回)において、第2回に引き続き2度目の1位獲得となりました。



入試情報

平成27年度

平成27年度入試日程

1月		2月		3月	
1月17日(土)	大学入試センター試験	1月26日(月)	個別学力検査出願期間	3月7日(土)	前期日程合格発表
1月18日(日)		2月4日(水)		3月12日(木)	個別学力検査後期日程
		2月25日(水)		3月23日(月)	後期日程合格発表
		2月26日(木)	”(医学部のみ)		

平成27年度入学定員(募集人員)

学部	学科・課程・コース		入学定員	募集人員						
				一般入試		AO入試	特別入試			
			前期日程	後期日程			推薦入試	帰国生徒	社会人	
人文学部	文化学科		100	67	25			3	5	
	法律経済学科		165	100	37		20	3	5	
	学 部 計		265	167	62		20	6	10	
教育学部	学校 教育 教員 養成 課程	国語教育コース	初等教育選修	15	6	2				
			中等教育選修		5	2				
		社会科教育コース	初等教育選修	16	7	2				
			中等教育選修		5	2				
		数学教育・ 情報教育 コース	数学教育専攻	30	初等教育選修	7	3			
			情報教育専攻		中等教育選修	7	3			
		理科教育コース	初等教育選修	18	5			4		
			中等教育選修			9				
		音楽教育コース	初等教育選修	9	3	3				
			中等教育選修			3				
		美術教育コース	初等教育選修	8	5					
			中等教育選修			3				
		保健体育コース	初等教育選修	16	5	3				
			中等教育選修			5	3			
		技術・ものづくり教育 コース	初等教育選修	9	4					
			中等教育選修			4			1	
		家政教育コース	初等教育選修	12	4			3		
			中等教育選修			5				
		英語教育コース	初等教育選修	10	3					
			中等教育選修			7				
		特別支援教育コース		18	11	7				
		幼児教育コース		10	10					
		学校教育コース		9	7			2		
		計		180	137	33		10		
		科学 人間 発達 課程	人間発達科学コース	10	7			3		
			日本語教育コース	10	10					
			計	20	17			3		
		学 部 計		200	154	33		13		
医学部	医学科		125	75	10		40			
	看護学科		80	55	10		12		3	
	学 部 計		205	130	20		52		3	
工学部	機械工学科		80	45	13	22				
	電気電子工学科		80	46	22	12				
	分子素材工学科		100	45	40	15				
	建築学科		40	30	10					
	情報工学科		60	30	25	5				
	物理工学科		40	30	10					
	学 部 計		400	226	120	54				
生物資源 学部	資源循環学科		60※	30※	10※		18※	1	1	
	共生環境学科		85※	45※	17※		21※	1	1	
	生物圏生命科学科		95※	55※	15※		23※	1	1	
	学 部 計		240	130※	42※		62※	3	3	
合 計			1,310	807	277	54	147	9	16	

[注] 1. 生物資源学部は、平成27年度入試において各学科入学定員の変更を予定しています(上記は変更前の数字)。新定員数については、文部科学省認可後、ただちにホームページ等で情報提示します。
2. 推薦入試で欠員が生じた場合の欠員補充は、人文学部、教育学部は前期日程で、医学部、生物資源学部は一般入試で行います。
3. 帰国生徒特別入試及び社会人特別入試で欠員が生じた場合の欠員補充は、人文学部は後期日程で、生物資源学部は一般入試で行います。
4. 人文学部法律経済学科の推薦入試における募集人員の内訳は、推薦A5名、推薦B5名、推薦C10名です。
5. 医学部医学科の前期日程における募集人員には、三重県地域医療枠5名程度を含みます。
6. 医学部看護学科の社会人特別入試で欠員が生じた場合の欠員補充は、一般入試で行います。
7. 医学部医学科の推薦入試における募集人員には、地域枠A25名程度、地域枠B5名程度を、医学部看護学科の推薦入試における募集人員には、地域枠5名程度を含みます。
8. アドミッション・オフィス入試で欠員が生じた場合の欠員補充は、前期日程で行います。

入試状況

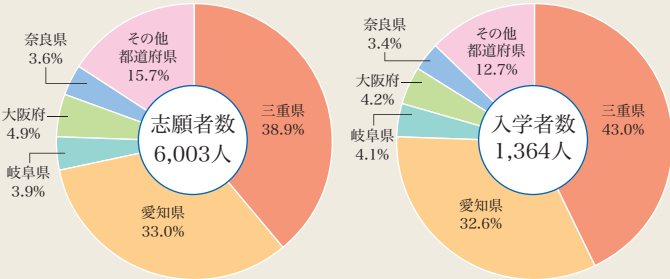
平成26年度及び過去4年間の一般入試志願者・合格者

区分	学部学科等	前期日程								後期日程							
		平成26年度				過去4年間の倍率				平成26年度				過去4年間の倍率			
		募集人員	志願者	倍率	合格者	25年度	24年度	23年度	22年度	募集人員	志願者	倍率	合格者	25年度	24年度	23年度	22年度
人文学部	文化学科	67	150	2.2	81	3.2	2.6	3.0	2.5	25	248	9.9	35	13.2	13.0	9.4	18.7
	法律経済学科	100	393	3.9	125	3.3	3.6	3.6	3.3	37	399	10.8	53	7.2	8.6	7.9	12.7
	計	167	543	3.3	206	3.2	3.2	3.4	3.0	62	647	10.4	88	9.6	10.3	8.5	15.1
教育学部	学校教育教員養成課程	137	503	3.7	149	4.7	3.9	4.1	4.1	33	362	11.0	33	17.3	12.3	18.1	12.9
	人間発達科学課程	17	48	2.8	19	4.2	8.9	3.6	4.6								
	計	154	551	3.6	168					33	362	11.0	33	17.3	12.3	18.1	12.9
医学部	医学科	75	414	5.5	77	6.6	4.4	5.2	5.5	10	142	14.2	10	21.3	21.7	15.9	20.8
	看護学科	55	133	2.4	59	2.6	2.3	1.9	2.5	10	91	9.1	15	10.5	10.4	6.7	8.7
	計	130	547	4.2	136	4.9	3.5	3.8	4.2	20	233	11.7	25	15.9	16.1	11.3	13.5
工学部	機械工学科	45	166	3.7	52	2.9	4.2	2.2	2.9	13	123	9.5	17	9.3	6.8	7.9	5.3
	電気電子工学科	46	128	2.8	48	3.1	3.3	2.4	2.4	22	272	12.4	27	8.5	6.9	8.1	7.2
	分子素材工学科	45	127	2.8	50	3.3	4.1	2.8	2.8	40	250	6.3	53	6.1	6.3	8.1	7.7
	建築学科	30	155	5.2	33	4.4	4.2	3.4	3.2	10	78	7.8	11	7.6	4.5	7.3	6.1
	情報工学科	30	93	3.1	30	3.4	3.7	3.4	3.0	20	186	9.3	25	12.4	5.9	16.7	8.9
	物理工学科	30	54	1.8	36	3.1	3.0	1.8	2.8	10	104	10.4	10	24.4	14.5	7.6	13.2
生物資源 学部	計	226	723	3.2	249	3.3	3.8	2.7	2.8	115	1,013	8.8	143	9.7	7.0	9.2	7.8
	資源循環学科	30	73	2.4	39	4.4	1.5	4.6	2.7	10	107	10.7	13	7.5	6.5	8.7	3.3
	共生環境学科	45	72	1.6	48	2.4	3.2	1.8	3.0	17	107	6.3	42	4.6	4.5	6.7	3.3
	生物圏生命科学科	55	190	3.5	67	4.0	3.1	3.6	2.5	15	242	16.1	35	7.1	5.2	7.7	3.5
計		130	335	2.6	154	3.5	2.8	3.2	2.8	42	456	10.9	90	6.2	5.2	7.5	3.4
合 計		807	2,699	3.3	913	3.8	3.6	3.3	3.5	272	2,711	10.0	379	10.0	8.7	9.3	9.6

平成26年度 特別入試等志願者・合格者

区 分			定員	志願者	合格者
・アドミッション ・オフィス(AO)	工学部	機械工学科	22	75	22
		電気電子工学科	12	40	11
		分子素材工学科	15	42	15
		建築学科			
		情報工学科	10	28	10
		物理工学科			
	合 計		59	185	58
推薦入試	人文学部	法律経済学科	20	68	20
		計	20	68	20
	教育学部	学校教育教員養成課程	10	43	10
		人間発達科学課程	3	11	3
	医学部	計	13	54	13
		医学科	40	131	38
		看護学科	12	28	12
	生物資源学部	計	52	159	50
		資源循環学科	18	35	13
		共生環境学科	21	22	18
		生物圏生命科学科	23	61	12
		計	62	118	43
	合 計		147	399	126
帰国生徒特別入試	人文学部	文化学科	3	2	0
		法律経済学科	3	0	0
		計	6	2	0
	生物資源学部	資源循環学科	1	0	0
		共生環境学科	1	0	0
		生物圏生命科学科	1	0	0
		計	3	0	0
	合 計		9	2	0
社会人特別入試	人文学部	文化学科	5	1	1
		法律経済学科	5	0	0
		計	10	1	1
	医学部	看護学科	3	6	1
		計	3	6	1
	生物資源学部	資源循環学科	1	0	0
		共生環境学科	1	0	0
		生物圏生命科学科	1	0	0
		計	3	0	0
合 計		16	7	2	

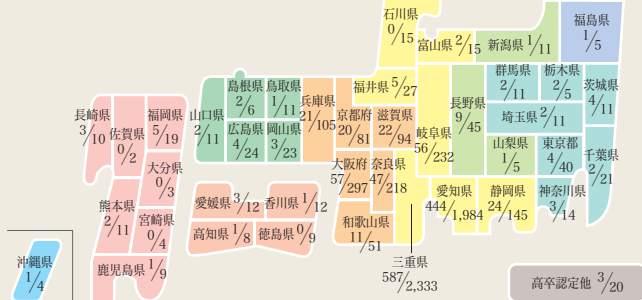
平成26年度 出身県別志願者・入学者の状況



平成26年度 都道府県別 志願者及び入学状況(学部)

全体	入学者	1,364人
	志願者	6,003人
	入学者	1,111人(全体の81.5%)
東海4県(三重、 愛知、岐阜、静岡)の計	志願者	4,694人(全体の78.2%)

図は、出身高等学校等が所在する都道府県別数で、
上段は合格者数、下段は入学志願者数を示す。



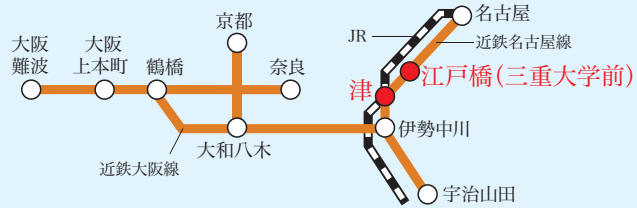
三重大学へのアクセス

交通案内

東京方面から

JR「新幹線のぞみ」で
東京より JR東京駅 約100分 JR名古屋駅 JR名古屋駅からはJR、近鉄とも利用出来ます。

名古屋、大阪、京都方面から



近鉄電車「急行」で

名古屋より 近鉄名古屋駅 約60分 江戸橋(三重大学前) 徒歩 約15分
京都・大阪より 伊勢中川駅 約15分

近鉄電車「特急」で

名古屋より 近鉄名古屋駅 約50分 江戸橋(三重大学前) 徒歩 約15分
大阪より 大阪難波駅 約90分 江戸橋(三重大学前) 徒歩 約10分
京都より 京都駅 約110分 江戸橋(三重大学前) 徒歩 約10分

JR「快速みえ」で

名古屋より JR名古屋駅 約50分 江戸橋(三重大学前) 徒歩 約10分

周辺交通案内

江戸橋(三重大学前)駅から
徒歩約15分

津駅から

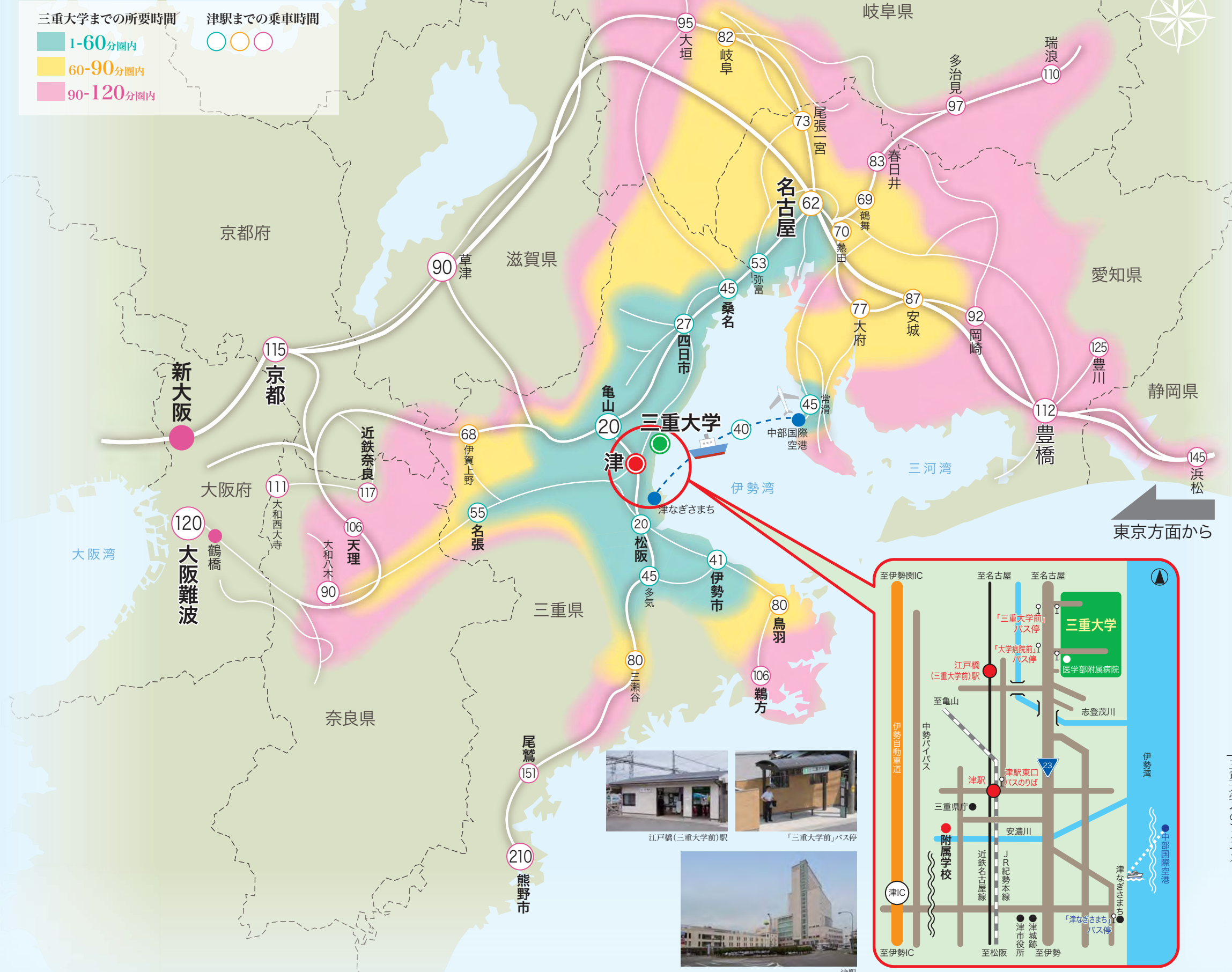
- 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで「白塚駅」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「三重大学前」下車。(附属病院、医学部、工学部へは「大学病院前」下車)
バスで約10分
- タクシーで約10分

中部国際空港(セントレア)から

- 津エアポートライン(船)で津なぎさまちへ40分
- 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
 - 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分

本学の最新情報等が携帯電話で閲覧することが出来ます。

<http://daigakuje.jp/mie-u/>
パソコンからも見る事ができます。



学生募集要項等の入手方法

インターネット(パソコン、携帯電話)又は電話で請求する場合

テレメールを利用



モバっちょを利用



1 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。



インターネット(パソコン・スマホ・携帯電話)
http://telemail.jp



※パソコン、携帯電話とも共通アドレスです。
※スマホ・携帯電話なら、ケータイ用バーコードを読み取るだけでアクセスできます。

スマホ・携帯電話でケータイ用バーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。

ケータイ用バーコード



自動音声応答電話
IP電話 050-8601-0101 (24時間受付)

※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。
※住所・氏名等の登録時は、ゆっくり・はっきりとお話ください。
登録された音声ที่ไม่鮮明な場合は資料をお届けできない場合があります。

2 資料請求番号(6桁)をプッシュ又は入力してください。

資 料 名	資料請求番号
大学案内	564380
入学者選抜要項	584380
入学者選抜要項・大学案内	564350
学生募集要項(一般入試)	584350
学生募集要項(一般入試)・大学案内	544350
推薦入試学生募集要項	584360
推薦入試学生募集要項・大学案内	544360
人文学部案内	584370
教育学部案内	564370
医学部医学科案内	544370
医学部看護学科案内	544380
工学部案内	544390
生物資源学部案内	564570

3 以降はガイダンスに従ってください。

- * 受付から2〜3日後に発送されます。
ただし、発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送いたします。
- * 資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

上記請求方法についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター
TEL 050-8601-0102 (9:30~18:00)

1 下記の方法でモバっちょにアクセスしてください。



インターネット(携帯電話・パソコン)
http://djcmie.jp/mie-u2/



※パソコン、携帯電話とも共通アドレスです。
※携帯電話なら、ケータイ用バーコードを読み取るだけでアクセスできます。

ケータイ用バーコード

2 以降はガイダンスに従ってください。

- * 受付から1〜3日程度で発送されます。
ただし、発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送いたします。

上記請求方法についてのお問い合わせ先

モバっちょカスタマーセンター
TEL 050-3540-5005 (平日10:00~18:00)

郵便局で請求する場合 (10月より案内開始)

お近くの郵便局(普通局、特定局)に設置されている「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項(願書)請求申込書」(郵便局用願書請求カタログ)に必要な事項を記入の上、送料と払込手数料130円を添えて、最寄りの郵便局の窓口で申し込んでください。

受付から約1週間程度で資料がお手元に届きます。

お問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター
TEL 050-8601-0102 (9:30~18:00)

大学へ直接請求する場合

宛名を記入した返信用封筒(角形2号、切手貼付(学生募集要項のみの場合250円))を同封し、表書きに「○○○○○○○○○○請求」と朱書きし、三重大学学務部入試チーム宛に郵便で請求してください。

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
三重大学 学務部 入試チーム
TEL 059-231-9063

学生納付金一覧表

学 費

全 学 部		
入学料		282,000円
授業料	前期	267,900円
	後期	267,900円

* 本学では、授業料を学生または保護者(保証人)名義の預金口座から引き落として納付する方法(預金口座振替)を導入しています。
この方法は、電気・ガス等公共料金の支払いに広く利用されておりますように、本学指定の取扱銀行が、授業料を学生または保護者(保証人)名義の預金口座から引き落として大学へ納付する仕組みです。

